



美しくあれ。

第7期美唄市総合計画 後期基本計画

市民と一緒に まちづくりの取組一覧

(第Ⅲ期事務事業インデックス)

令和8年度～令和10年度

令和8年3月

美 唄 市

目 次

1	ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり〔福祉・保健・医療〕	
	〔1〕誰ひとり置き去りにしない、安心して暮らせる地域社会の形成	
	（1）地域コミュニティ	1
	（2）障がい者福祉	7
	（3）高齢者福祉	13
	〔2〕健康で安心して暮らせる保健・医療環境の充実	
	（4）保健	19
	（5）地域医療	25
2	地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり	
	〔農業・食と観光・商工業・移住・定住〕	
	〔1〕地域資源を生かした「にぎわい」づくり	
	（6）商工業振興	29
	（7）雇用対策	35
	（8）観光・交流	39
	〔2〕いのちを育む食と農の振興	
	（9）農業振興	45
	〔3〕移住・定住の促進	
	（10）移住・定住	51
3	地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり〔子育て・教育・文化〕	
	〔1〕安心して子育てできる環境の充実	
	（11）子ども・子育て支援	55
	〔2〕生きる力を育む教育と次代を担う人材育成	
	（12）平和施策	61
	（13）学校教育	65
	〔3〕文化・芸術を育む活動と生涯学習・スポーツの振興	
	（14）生涯学習・スポーツ	71
	（15）文化・芸術	77

4 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔自然・環境・都市基盤・安全安心〕

〔1〕豊かな自然環境の保全と共生

(16) 自然保護	83
(17) 循環型社会	85

〔2〕快適な都市空間の形成

(18) 都市基盤整備	89
(19) 都市空間と住環境の形成	95
(20) 景観・緑づくり	101
(21) 公衆衛生と活環境	105
(22) 公共交通	109

〔3〕安全・安心なまちづくり

(22) 防災	113
(24) 防犯・交通安全・消費者保護	117
(25) 消防・救急	121

5 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり〔協働・行政改革〕

〔1〕性別や年齢、障がいに関係なく、誰もが活躍できる社会の形成

(26) 協働のまちづくり	125
(27) 共生社会（人権・多文化ジェンダー平等の推進）	131

〔2〕暮らしに根ざした行財政改革の推進

(28) 地域 ICT 化	133
(29) 行財政運営	139

第7期美唄市総合計画と

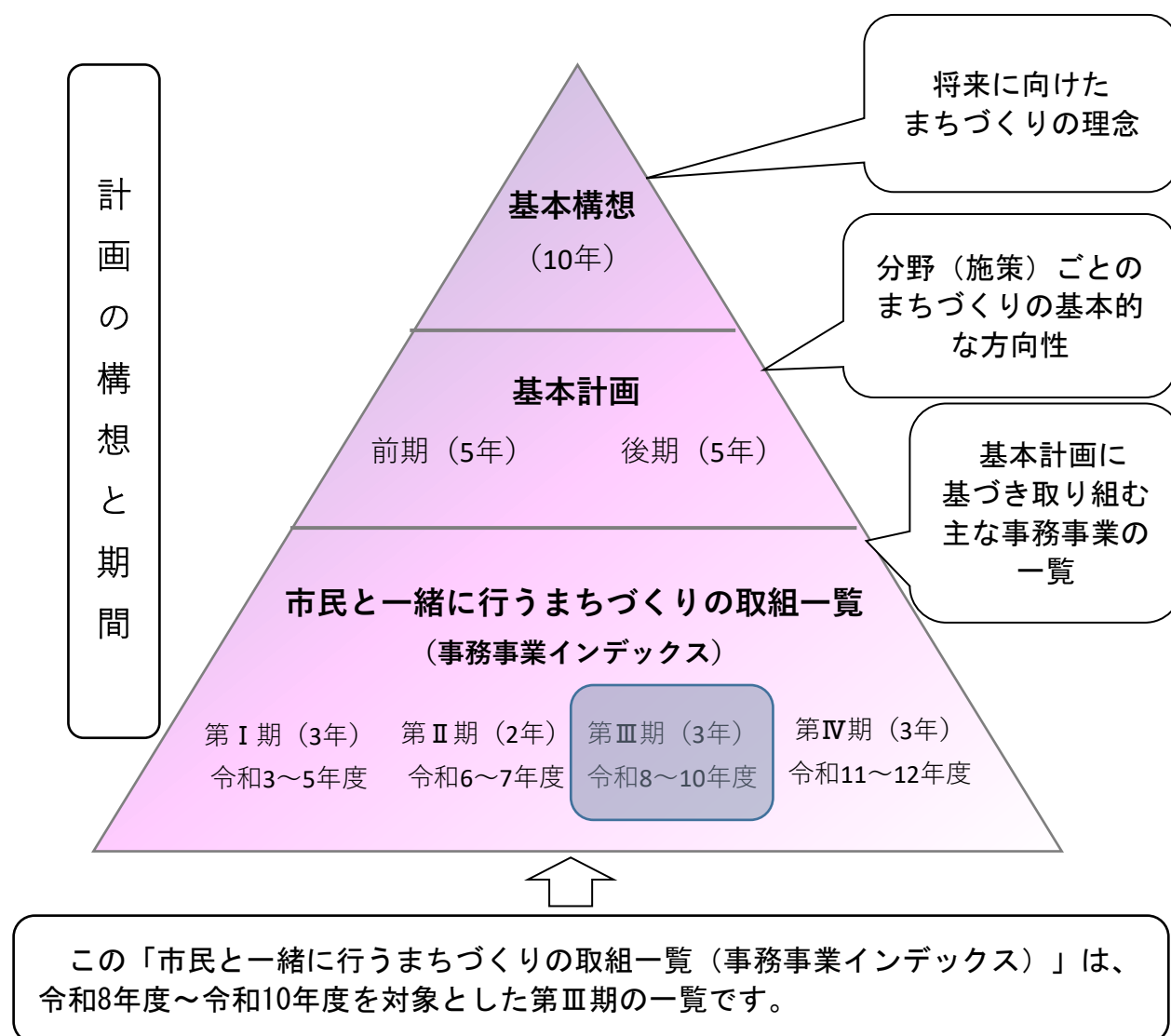
「市民と一緒にいるまちづくりの取組一覧（事務事業インデックス）」

第7期美唄市総合計画は、市のまちづくりの基本的な方向性を総合的に示した計画で、将来に向けたまちづくりの理念を示した「基本構想」と、基本構想の実現に向けた市の施策を示す「基本計画」、基本計画に示す施策の目指す姿の実現に向け、市が実施する事務事業を示す「市民と一緒にいるまちづくりの取組一覧（事務事業インデックス）」により構成しています。

総合計画を効果的かつ円滑に推進するためには、事務事業を評価・検証し、内容の改善や見直しを図りながら、成果を着実に生み出していくことが必要です。

このため、計画期間を3年とする事務事業インデックスにおいて、取り組む内容や成果を測る指標などを示し、施策の目指す姿の実現に向け、毎年度、事務事業を評価・検証しながら、より実効性のある事業の推進を図ります。

当初、実施計画の第Ⅱ期はR6～R8としていましたが、令和8年度から始まる「後期基本計画」と始期を整合させるため、期間区分を見直しました。これにより第Ⅱ期をR7までとし、後期計画の開始に合わせてR8～R10を「第Ⅲ期」、R11～R12を「第Ⅳ期」として再設定しています。



市民と一緒に行うまちづくりの取組一覧（事務事業インデックス）の構成

第7期美唄市総合計画後期基本計画では、まちづくりの基本的な方向性を、地域コミュニティ、地域医療、商工業振興、農業振興、子育て支援、都市基盤整備などの分野（施策）別に分類して示しており、この「市民と一緒に行うまちづくりの取組み一覧（事務事業インデックス）」においても、基本計画に基づき取り組む主な事務事業を分野（施策）ごとに一覧化しています。



施策名

目指す姿	施策の目指す姿を記載しています。
------	------------------

成果指標	指標名	指標の説明	現状値(R7)	目標値(R10)
	施策の成果指標を記載しています。			

施策の展開方向

①地域のつながりを大切にできる地域づくり	
住民が主体となり、安心して暮らせる地域を共創していくため、地域に既に存在する社会資源の活用や現役世代にも負担がかからない住民参加の形を構築し、民生委員・集落支援員・行政職員のほか関係する機関との情報共有及び連携を促進します。	
目指す姿の実現に向けて取り組む施策の展開方向を記載しています。	

展開方向					
事業名		担当課			
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
主な事業の目的、内容、事業計画、事業費など、R8～R10年までの目標値について記載しています。					
事業の内容	事業費				
	アウトプット	指標名			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
	アウトカム	指標名			
		基準値（R7）	R8	R9	R10

【 】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
1					
2					
3					

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦 1 とともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり

〔1〕誰ひとり置き去りにしない、安心して暮らせる地域社会の形成

(1) 地域コミュニティ

目指す姿	地域に暮らす一人ひとりが、顔の見える関係の中で日々の暮らしの悩みを相談し、互いに支え合いながら、安心して生き生きと暮らすことのできる温かい地域コミュニティが実現しています
------	---

成果指標	指標名	指標の説明	現状値	目標値
	民生委員・児童委員の充足率	民生委員・児童委員の定数に対し、実際に委嘱されている人数の割合で、地域住民への支援体制がどの程度充実しているかを測る指標	88%	100%
	地域活動への参加率	町内会や自治会等地域の行事に参加している住民の割合で、地域の繋がりや活力を測る指標	44.2%	46.7%
	町内会・自治会活動の必要性を認識している住民の割合	地域住民が町内会や自治会の活動を必要だと感じている割合で、地域の繋がりやコミュニティ意識の強さを測る指標	55.6%	61.0%

施策の展開方向

① 地域のつながりを大切にできる地域づくり

住民が主体となり、安心して暮らせる地域を共創していくため、地域に既に存在する社会資源の活用や現役世代にも負担がかからない住民参加の形を構築し、民生委員・集落支援員・行政職員のほか関係する機関との情報共有及び連携を促進します。

② 地域コミュニティ施設の充実

地域コミュニティの活動拠点を維持することで、交流促進や課題解決のネットワーク構築ができるよう、地域福祉会館など地域の拠点施設の利用促進や、地域イベントの支援、施設維持の活動など、行政と地域が連携して進めます。

③ 生活困窮者等の支援体制の充実

経済的な困窮をはじめとして、社会的な孤立など様々な要因により困窮する世帯の解決策が見いだせるよう、市と民生委員や社会福祉協議会等と連携し、要支援者の情報収集と把握を行い、支援機関と共に自立に向けた支援を行います。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		①地域のつながりを大切にできる地域づくり			
事業名	地域福祉ネットワーク事業		担当課	地域福祉課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
住民相互の支え合い活動を活性化させ、制度の狭間にある生活課題への対応力強化と、誰もが安心して暮らせる地域づくりを図る。	事業計画	・市民ささえあい推進委員会運営支援事業 ・福祉のまちづくり事業補助金による地行福祉活動費の助成	・市民ささえあい推進委員会運営支援事業 ・福祉のまちづくり事業補助金による地行福祉活動費の助成	・市民ささえあい推進委員会運営支援事業 ・福祉のまちづくり事業補助金による地行福祉活動費の助成	
事業の内容	事業費	224千円	224千円	224千円	
「市民ささえあい推進委員会」や「懇談会」の開催を通じ、地域課題の共有と解決策の検討を行うとともに、地域福祉推進大会により市民の意識啓発を図る。また、住民主体の福祉活動に対し「福祉のまちづくり事業補助金」を交付し、活動の自立と継続を支援する。	アウトプット	指標名	地域福祉推進推進大会開催回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1回	1回	1回	1回
	アウトカム	指標名	推進大会参加者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		60人	60人	80人	100人

展開方向		①地域のつながりを大切にできる地域づくり			
事業名	地域支え合い推進事業		担当課	地域福祉課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
国の「集落支援員制度」を活用し、地域コミュニティの弱体化防止と再生を図るとともに、地域事情に精通した支援員が「つなぎ役」となり、住民自らが課題解決に取り組む体制（共助）を再構築することで、持続可能な地域社会を実現する。	事業計画	・ 集落支援員の委嘱・配置及び活動調整 ・ 集落支援員定例会の開催	・ 集落支援員の委嘱・配置及び活動調整 ・ 集落支援員定例会の開催	・ 集落支援員の委嘱・配置及び活動調整 ・ 集落支援員定例会の開催	
事業の内容	事業費	13,378千円	13,378千円	13,378千円	
専任及び兼任の集落支援員を配置し、行政の手が届きにくい地域課題の掘り起こしと解決支援を行う。単なる御用聞きにとどまらず、地域行事の復活や新たな支え合い活動の企画立案、次世代の担い手発掘に対し、人的・技術的な伴走支援を実施する。	アウトプット	指標名	集落支援員の人数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		19名	18名	18名	18名
	アウトカム	指標名	集落支援員定例会開催回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		12回	12回	12回	12回

展開方向		②地域コミュニティ施設の充実			
事業名	地域福祉会館管理運営事業		担当課	地域福祉課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
身近な地域福祉活動や住民自治の拠点として、安全で快適な活動環境を提供する。地域住民による自主管理（指定管理者制度）を通じて、地域コミュニティの活性化を図る。	事業計画	・ 市内15の地域福祉会館の指定管理 ・ 建設度20年以上経過した施設の修繕等を行う。	・ 市内15の地域福祉会館の指定管理 ・ 建設度20年以上経過した施設の修繕等を行う。	・ 市内15の地域福祉会館の指定管理 ・ 建設度20年以上経過した施設の修繕等を行う。	
事業の内容	事業費	7,080千円	7,080千円	7,080千円	
市内15館の管理運営について、各地域の運営委員会等を指定管理者とし、地域の実情に応じた柔軟な運営を行う。利用料金制の導入により、使用料収入を運営経費に充当させることで、受益者負担の適正化と市の財政負担軽減（低コスト運営）を両立する。	アウトプット	指標名	管理している会館数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		15館	15館	15館	15館
	アウトカム	指標名	利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		14,952人	13,457人	13,457人	13,457人

展開方向		②地域コミュニティ施設の充実			
事業名		総合福祉センター管理運営事業		担当課	地域福祉課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
地域福祉の中核拠点として、高齢者や障がい者の社会参加と交流を促進する場を提供するとともに、社会福祉協議会による専門的な管理運営を通じて、ボランティア活動の活性化と市民相互の支え合い（地域共生社会）の実現を図る。		事業計画	・ 指定管理者の指定手続き及び協定・仕様書の管理 ・ 指定管理業務のモニタリング及び事業報告の評価	・ 指定管理者の指定手続き及び協定・仕様書の管理 ・ 指定管理業務のモニタリング及び事業報告の評価	・ 指定管理者の指定手続き及び協定・仕様書の管理 ・ 指定管理業務のモニタリング及び事業報告の評価
事業の内容		事業費	9,422千円	9,422千円	9,422千円
地域福祉のノウハウを持つ市社会福祉協議会を指定管理者とし、福祉相談やボランティア支援と一体となった施設運営を行う。	アウトプット	指標名	対象施設		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1施設	1施設	1施設	1施設
	アウトカム	指標名	利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		8,636人	8,636人	10,318人	12,000人

展開方向		③生活困窮者等の支援体制の充実			
事業名		生活困窮者自立支援事業		担当課	地域福祉課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給を行い、支援利用者には包括的かつ継続的な支援をすることにより、生活再建と自立意欲を図る。また、直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者及び被保護者に対し、一般就労の準備として、基礎能力の形成支援を行う。		事業計画	・生活困窮者が抱える多様な課題の適切な支援	・生活困窮者が抱える多様な課題の適切な支援	・生活困窮者が抱える多様な課題の適切な支援
事業の内容		事業費	13,515千円	13,515千円	13,515千円
自立相談支援事業(必須事業 対象者：生活困窮者) 住宅確保給付金支給(必須事業 対象者：生活困窮者) 就労準備支援事業(任意事業 対象者：生活困窮者及び被保護者)を実施	アウトプット	指標名	新規相談受理件数		
		基準値 (R7)	R8	R9	R10
		48件	48件	48件	48件
	アウトカム	指標名	就労人員		
		基準値 (R7)	R8	R9	R10
		14人	14人	14人	14人

展開方向		③生活困窮者等の支援体制の充実			
事業名		民生児童委員活動事業			
		担当課	地域福祉課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動基盤を保障し、住民の身近な相談相手としての活動を促進することにより、福祉課題の早期発見と行政への確実な「つなぎ」を行い、孤立死や虐待のない安心安全な地域社会を維持する。		事業計画	・ 民生委員児童委員活動軽費の一部を負担 ・ 民生委員児童委員の推薦会開催	・ 民生委員児童委員活動軽費の一部を負担 ・ 民生委員児童委員の推薦会開催	・ 民生委員児童委員活動軽費の一部を負担 ・ 民生委員児童委員の推薦会開催
事業の内容		事業費	7,773千円	7,773千円	7,773千円
民生委員・児童委員協議会連合会に対し活動費交付金を支給し、独居高齢者宅への訪問見守りや相談支援活動を支える。また、研修会の開催による資質向上や、民生委員推薦会の適正運営による欠員補充・後継者確保を行い、持続可能な地域見守り体制を堅持する。 民生委員・児童委員(定数76名)、主任児童委員(定数10名)計86名	アウトプット	指標名	民生委員の延べ活動日数		
		基準値 (R7)	R8	R9	R10
		16,870件	15,540件	15,540件	15,540件
	アウトカム	指標名	民生委員・児童委員の充足率		
		基準値 (R7)	R8	R9	R10
		81%	81%	81%	100%

【(1) 地域コミュニティ】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
7	社会福祉協議会運営補助事業	地域福祉課	18,466	18,466	18,466
8	応急生活資金貸付事業	地域福祉課	3,000	3,000	3,000
9	社会福祉一般管理事務	地域福祉課	1,644	1,644	1,644
10	生活保護事務	地域福祉課	21,400	21,400	21,400
11	生活保護扶助事業	地域福祉課	703,976	703,976	703,976
12	地域つながりサポート事業	地域福祉課	3,000	3,000	3,000
13	地域福祉会館整備事業	地域福祉課	1,595	1,595	1,595

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦 1 とともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり

〔1〕誰ひとり置き去りにしない、安心して暮らせる地域社会の形成

(2) 障がい者福祉

目指す姿	障がい者の自己決定の尊重と意思決定支援を基本とした地域共生社会の実現に向けた取組、地域移行支援・障がい者の社会参加を支える取組を行う地域になっています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	地域で生活する障がい者の割合	障がい者の総数に対する施設入所していない障がい者の割合で、障がい者が地域社会で自立した生活を送れている度合いを示す指標	94.3%	95.4%
	入所施設からの地域移行者数	障害者支援施設に入所している方が、地域での生活へ移行できた人数で、どのくらい地域移行が進んでいるかを測る指標	0人	2人
	就労支援による一般就労移行者数	福祉サービスの利用者が、就労支援を通じて一般企業等での就労へと移行できた人数で、社会参加や自立を促すための施策が、どの程度成果を上げているかを測る指標	4人	4人

施策の展開方向

① 自己決定の尊重と意思決定の支援

障がい者（児）が意思決定の際には、主体的に選択でき、本人の意思が適切に理解・尊重される成年後見制度の利用を促進し、日常生活を送ることに不安や困難がある人に代わって、本人の権利・尊厳を守るほか、ネットワークの構築や後見人の育成、制度の周知及び理解の促進を図ります。

② 地域共生社会の実現に向けた取組

日常生活に関する様々な相談に対応するため、障がい者基幹相談支援センターをはじめ、関係機関との情報共有・連携を行うことにより、円滑な地域移行支援、就労支援及び市内の移動支援など、公的な福祉サービスと協働して助け合って暮らすことができる「地域共生社会」の実現を目指し、在宅生活の課題解決に向けた支援体制の充実を図ります。

③ 社会参加の支援

地域で暮らす一員として認識を持つことや、地域住民に存在を知ってもらうため、地域が主催する行事等へ参加を促し、地域住民と共に活動ができる。また、地域住民へ障がいに対する理解や差別解消の啓発活動を行い、誰もが参加しやすい地域社会の構築を推進します。

④ 地域移行支援・地域定着支援の強化

施設入所、福祉施設を利用している障がい者が、入所施設から居宅生活へ、就労支援等から一般就労に至るまで、退所・退院して地域で継続的に生活が可能になるよう、地域移行・地域定着支援を活用した支援活動を行います。

令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		①自己決定の尊重と意思決定の支援				
事業名		障がい者相談支援事業		担当課	地域福祉課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
障がい者（児）の自己決定権を尊重し、地域共生社会の実現に寄与するため、基幹相談支援センター等による専門的な相談・権利擁護体制を確保し、地域生活への円滑な移行及び持続可能な定住環境を構築する。		事業計画	・中核基幹（成年後見支援センター）運営事業（委託） ・基幹相談支援センター運営事業（委託） ・障がい者等理解、促進研究、促進事業 ・美明市成年後見制度利用支援事業 ・障がい者相談対応	・中核基幹（成年後見支援センター）運営事業（委託） ・基幹相談支援センター運営事業（委託） ・障がい者等理解、促進研究、促進事業 ・美明市成年後見制度利用支援事業 ・障がい者相談対応	・中核基幹（成年後見支援センター）運営事業（委託） ・基幹相談支援センター運営事業（委託） ・障がい者等理解、促進研究、促進事業 ・美明市成年後見制度利用支援事業 ・障がい者相談対応	
			事業費	45,292千円	45,292千円	45,292千円
事業の内容						
障がい者又は障がい児の保護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、その他の障がい福祉サービスの利用支援を行う。より専門的な相談に対応するため、基幹相談支援センター、中核機関（成年後見支援センター）の運営を委託。成年後見制度の申立及び費用等に関する支援。虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整、権利擁護のための支援を行う。		アウトプット	指標名	基幹相談支援センター設置数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
		アウトカム	指標名	相談者数（延）		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			749人	749人	749人	749人

展開方向		②地域共生社会の実現に向けた取組			
事業名		障がい者居宅介護等事業		担当課	地域福祉課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
障がい者の重度化や高齢化が進む中、身体介護や家事援助等の必要なサービスを提供し、住み慣れた地域での自立生活と社会参加を保障する。併せて、家族の介護負担軽減と就労維持を図り、施設入所への早期移行（社会的入院等）を未然に防止する。		事業計画	・ 介護員の派遣による在宅支援 ・ 全身性障がい者に対する通院時の外出の付き添い	・ 介護員の派遣による在宅支援 ・ 全身性障がい者に対する通院時の外出の付き添い	・ 介護員の派遣による在宅支援 ・ 全身性障がい者に対する通院時の外出の付き添い
事業の内容		事業費	31,521千円	31,521千円	31,521千円
認定審査会による厳正な障害支援区分認定に基づき、個々のニーズに応じたサービス等利用計画を作成し、ホームヘルプ（身体・家事）、同行援護、短期入所等の支給決定を行う。	アウトプット	指標名	居宅介護等サービス利用者数及び派遣延時間		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		82人 4,283時間	82人 4,283時間	82人 4,283時間	82人 4,283時間
	アウトカム	指標名	在宅生活継続率（施設入所への移行抑制）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%

展開方向		③社会参加の支援			
事業名	障がい者在宅支援事業		担当課	地域福祉課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
手話・朗読奉仕員の計画的な養成により意思疎通支援の担い手を確保して情報格差を解消するとともに、日中一時支援の提供により家族の介護負担を軽減し、地域での持続可能な在宅生活を保障する。	事業計画	・手話・朗読奉仕員養成講座等の委託 ・日中一時支援事業者の指定及び給付費支給事務 ・視聴覚障害者向け情報提供（声の広報等）の実施	・手話・朗読奉仕員養成講座等の委託 ・日中一時支援事業者の指定及び給付費支給事務 ・視聴覚障害者向け情報提供（声の広報等）の実施	・手話・朗読奉仕員養成講座等の委託 ・日中一時支援事業者の指定及び給付費支給事務 ・視聴覚障害者向け情報提供（声の広報等）の実施	
事業の内容	事業費	1,494千円	1,494千円	1,494千円	
事業委託により、手話・朗読奉仕員養成講座や教養講座を開催し地域支援体制を強化するほか、日中一時支援事業により障害者の日中活動の場を確保し、見守り及び社会適応訓練を実施する。	アウトプット	指標名	奉仕員養成講座修了者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		5人	5人	5人	5人
	アウトカム	指標名	新規ボランティア登録者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		3人	3人	3人	4人

展開方向		③社会参加の支援			
事業名	障がい者スポーツ大会参加補助事業		担当課	地域福祉課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
スポーツ基本法に基づき、障害者スポーツ大会への参加機会を保障することで、障害者の体力向上及び精神的な充実を図るとともに、社会参加の促進による共生社会の実現を図る。	事業計画	・全道障がい者スポーツ大会への参加費を補助	・全道障がい者スポーツ大会への参加費を補助	・全道障がい者スポーツ大会への参加費を補助	
事業の内容	事業費	197千円	197千円	197千円	
全道規模以上の障害者スポーツ大会等へ派遣される選手団及び障害者団体に対し、予算の範囲内で参加負担金、旅費及び宿泊費等の一部を補助し、経済的負担の軽減と継続的な競技活動を支援する。	アウトプット	指標名 補助金交付団体			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1団体	1団体	1団体	1団体
	アウトカム	指標名 大会参加者数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		5人	6人	7人	8人

展開方向		④地域移行支援・地域定着支援の強化			
事業名	障がい者グループホーム支援事業		担当課	地域福祉課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
障がい者の「施設から地域へ」の移行を促進し、共同生活援助（グループホーム）の提供を通じて、住み慣れた地域での自立生活を実現する。	事業計画	・ 共同生活援助の相談対応 ・ 申請の受付及び決定	・ 共同生活援助の相談対応 ・ 申請の受付及び決定	・ 共同生活援助の相談対応 ・ 申請の受付及び決定	
事業の内容	事業費	193, 199千円	193, 199千円	193, 199千円	
障害者総合支援法に基づき、共同生活援助（グループホーム）の支給決定及び給付費の適正な審査支払を行う。世話人による日常生活支援や夜間支援体制を保障し、単なる住居提供にとどまらず、利用者の自己決定と地域社会での自立を包括的にサポートする。	アウトプット	指標名	グループホーム利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		115人	117人	118人	119人
	アウトカム	指標名	施設等からの地域移行者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1人	2人	3人	4人

【(2)障がい者福祉】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	補装具給付事業	地域福祉課	9,469	9,469	9,469
7	日常生活用具等給付事業	地域福祉課	9,515	9,515	9,515
8	障がい者在宅福祉一般管理事務	地域福祉課	2,531	2,531	2,531
9	手話通訳者設置・派遣事業	地域福祉課	334	334	334
10	障がい者移動支援等事業	地域福祉課	2,313	2,313	2,313
11	施設利用支援事業	地域福祉課	865,737	865,737	865,737
12	精神障がい者地域生活支援事業	地域福祉課	706	706	706
13	障がい者福祉一般管理事務	地域福祉課	12,847	12,847	12,847
14	特別障がい者手当等支給事業	地域福祉課	9,897	9,897	9,897
15	更生医療給付事業	地域福祉課	49,798	49,798	49,798
16	恵愛団地集会所管理運営事業	地域福祉課	210	210	210
17	特定疾患患者等支援事業	地域福祉課	225	225	225

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦 1 とともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり

〔1〕誰ひとり置き去りにしない、安心して暮らせる地域社会の形成

(3) 高齢者福祉

目指す姿	自宅等の住み慣れた生活の場で最期まで豊かに自分らしい生活を送っています
------	-------------------------------------

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	要介護認定率【年齢補正】	高齢化の影響を除くために年齢補正した要介護認定率で、介護予防施策の効果を測る指標	21.7%	23.7%
	地域での支え合いの仕組みの数	組織的に支え合いを行っている地域数で、高齢者が安心して暮らせるよう、地域での支え合いの仕組みがどれだけ広がっているかを測る指標	5グループ	8グループ
	認知症カフェへの本人・家族の参加人数	認知症カフェの参加者全体のうち、認知症の人と家族が参加する人数で、地域の中で孤立せず、安心して交流できる場が提供されているかを測る指標	557人	600人

施策の展開方向

① 介護予防の推進

65歳以上の方が、要介護や要支援の状態にならないよう、貯筋体操の自主グループ活動で転倒予防などに取り組み、できるだけ長い期間、自分の足で出かけることができ、自分らしい毎日を過ごすことができるよう介護予防を推進します。

② 認知症施策の推進

認知症の人と家族が、認知症になっても、安心して現在の住まいで暮らすことができるよう、認知症カフェなどの参加の場があり、認知症サポーター養成講座に参加した方々が認知症の人を支援することができる環境を整えます。

③ 住民主体の支え合いの仕組みづくり

65歳以上の高齢者が、多世代の市民から見守りを受けることで安心して地域で生活できるよう、地域のサロンや懇談会等の集まりを続け、支え合いの取組を地域に増やすとともに、地域課題の検討を行います。

④ 利用しやすい介護保険サービスと福祉サービスの構築

第一号被保険者と第二号被保険者が現在の機能を維持し、よりよい生活を送ることができるよう、その人の状態にあった在宅サービスや施設サービスを、望んだ時に利用することができるようサービス内容を整えます。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		①介護予防の推進			
事業名		一般介護予防事業			
		担当課	地域包括ケア推進課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
介護保険法に基づき、住民主体の介護予防活動の育成及び普及啓発を行うことで、高齢者の社会参加と健康づくりを一体的に推進し、健康寿命の延伸及び将来的な介護給付費の抑制を図る。		事業計画	・ 出前講座の開催 ・ 介護予防リーダー（ボランティア）養成研修の実施 ・ 自主グループの活動の支援	・ 出前講座の開催 ・ 介護予防リーダー（ボランティア）養成研修の実施 ・ 自主グループの活動の支援	・ 出前講座の開催 ・ 介護予防リーダー（ボランティア）養成研修の実施 ・ 自主グループの活動の支援
			事業費		
			5, 504千円		
			5, 504千円		
事業の内容		5, 504千円			
介護予防のための個々人の取り組みを日々の生活として定着させるとともに、介護予防に資する自主的な活動が広く実施され、高齢者が積極的に活動に参加し、介護予防に向けた取り組みを実施する地域社会の構築を目指し、出前講座、介護予防リーダーの育成、自主グループ活動の支援を行う。	アウトプット	指標名	リーダー育成事業開催数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		4回	4回	4回	4回
	アウトカム	指標名	活動自主グループ数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		30グループ	30グループ	30グループ	30グループ

展開方向		②認知症施策の推進			
事業名	認知症施策の推進事業		担当課	地域包括ケア推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
「認知症基本法」に基づき、認知症の早期診断・早期対応体制の構築及び地域住民への普及啓発を推進することで、認知症になっても尊厳を保持し、希望を持って住み慣れた地域で暮らせる「共生社会」を実現する。	事業計画	・ 認知症初期集中支援チームの運営 ・ 認知症サポーター養成講座の開催 ・ SOSネットワーク（おれんじセーフティネット）の構築・運用等	・ 認知症初期集中支援チームの運営 ・ 認知症サポーター養成講座の開催 ・ SOSネットワーク（おれんじセーフティネット）の構築・運用等	・ 認知症初期集中支援チームの運営 ・ 認知症サポーター養成講座の開催 ・ SOSネットワーク（おれんじセーフティネット）の構築・運用等	
事業の内容	事業費	18,229千円	18,229千円	18,229千円	
認知症初期集中支援チームによる早期介入、地域支援推進員を中心としたサポーター養成やカフェ等の地域資源整備を行う。併せて、見守りシール（QR）等のDX活用による搜索模擬訓練やSOSネットワークを構築し、安全な地域づくりを進める。	アウトプット	指標名	認知症カフェ開設日数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		48回	48回	48回	48回
	アウトカム	指標名	認知症カフェ利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1,000人	1,000人	1,000人	1,000人

展開方向		③住民主体の支え合いの仕組みづくり		
事業名		生活支援体制整備事業		
		担当課	地域包括ケア推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
介護保険制度では提供できない生活支援サービスや介護認定を受ける前の段階の高齢者に対する生活支援の充実を図るとともに、介護予防・日常生活総合事業の担い手を確保するなど、地域で支え合う体制づくりを推進する。	事業計画	・生活支援コーディネーター（SC）の配置及び活動支援 ・協議体の開催及び地域課題の分析・共有 ・生活支援サービスの担い手発掘・育成及びマッチング支援	・生活支援コーディネーター（SC）の配置及び活動支援 ・協議体の開催及び地域課題の分析・共有 ・生活支援サービスの担い手発掘・育成及びマッチング支援	・生活支援コーディネーター（SC）の配置及び活動支援 ・協議体の開催及び地域課題の分析・共有 ・生活支援サービスの担い手発掘・育成及びマッチング支援
事業の内容	事業費	4,208千円	4,208千円	4,208千円
多様な関係者（団体）等や生活支援サービスを担う事業等と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的に、①生活支援コーディネーター、②協議体と連携を図りながら地域ニーズに合わせた生活支援体制の構築を図る。	アウトプット	指標名	協議体の開催	
		基準値（R7）	R8	R9
		12回	12回	12回
	アウトカム	指標名	新たに活動する団体数	
		基準値（R7）	R8	R9
		2団体	2団体	2団体

展開方向		④利用しやすい介護保険サービスと福祉サービスの構築		
事業名		介護保険事業		
		担当課	地域包括ケア推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
介護保険法に基づき、被保険者の資格管理、保険料の適正な賦課・徴収、及び公平公正な要介護認定を行うことで、制度の財政基盤を確立し、持続可能で信頼性の高い介護保険制度の運営を担保する。	事業計画	・被保険者資格管理及び介護保険料の賦課・収納・滞納整理 ・要介護認定調査の実施及び介護認定審査会の運営 ・介護保険事業計画の策定及び制度運営に係る企画調整	・被保険者資格管理及び介護保険料の賦課・収納・滞納整理 ・要介護認定調査の実施及び介護認定審査会の運営 ・介護保険事業計画の策定及び制度運営に係る企画調整	・被保険者資格管理及び介護保険料の賦課・収納・滞納整理 ・要介護認定調査の実施及び介護認定審査会の運営 ・介護保険事業計画の策定及び制度運営に係る企画調整
事業の内容	事業費	93,752千円	93,752千円	93,752千円
被保険者資格の得喪管理及び所得に応じた保険料の賦課・収納対策を行うとともに、介護認定審査会の運営による厳正な要介護認定、及び第9期介護保険事業計画の策定・進捗管理を統括する。	アウトプット	指標名	第1号被保険者	
		基準値（R7）	R8	R9
		8,278人	8,278人	8,278人
	アウトカム	指標名	保険料収納率（現年分）	
		基準値（R7）	R8	R9
		98.5%	98.5%	98.5%

展開方向		④利用しやすい介護保険サービスと福祉サービスの構築		
事業名		間口除雪事業		
事業の目的		区分	R8	R9
除雪車の通過に伴い発生する雪塊の処理が困難な高齢者・障害者世帯に対し、間口除雪による移動経路の確保を行うことで、冬期間の外出抑制や社会的孤立を防ぎ、安全で安心な在宅生活を保障する。		事業計画	- 要件の緩和（要支援・要介護認定を受けている人のみを削除） - 利用申請の受付及び現地調査に基づく受給資格決定 - 間口除雪業務の委託発注及び運行管理	- 利用申請の受付及び現地調査に基づく受給資格決定 - 間口除雪業務の委託発注及び運行管理
		事業費	14,941千円	14,941千円
事業の内容		R10		
除雪が困難な70歳以上の方で構成されている世帯及び重度の障がい者で構成されている世帯等を対象に、除雪車が通過した後、間口の残雪処理を行う。		アウトプット	指標名	受付件数
			基準値（R7）	R8
			170件	170件
		アウトカム	指標名	実施件数
			基準値（R7）	R8
			170件	170件

【(3) 高齢者福祉】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	老人クラブ運営補助事業	地域包括ケア推進課	2,327	2,327	2,327
7	シルバー人材センター補助事業	地域包括ケア推進課	10,473	10,473	10,473
8	地域包括支援センター運営事業	地域包括ケア推進課	13,428	13,428	13,428
9	緊急通報システム管理運営事業	地域包括ケア推進課	4,773	4,773	4,773
10	福祉スポーツ大会事業	地域包括ケア推進課	308	308	308
11	老人福祉施設入所措置事業	地域包括ケア推進課	82,603	82,603	82,603
12	恵風園生活事務	恵風園	47,268	47,268	47,268
13	恵風園管理事務	恵風園	55,345	55,345	55,345
14	介護サービス事業	恵祥園	292,949	292,949	292,949
15	社会福祉法人等利用者負担軽減事業	地域包括ケア推進課	1,093	1,093	1,093
16	移送サービス事業	地域包括ケア推進課	556	556	556
17	福祉除雪事業	地域包括ケア推進課	559	559	559
18	福祉灯油事業	地域包括ケア推進課	1,914	1,914	1,914
19	老人福祉一般管理事務	地域包括ケア推進課	145	145	145
20	東地区生活支援センター整備事業	地域包括ケア推進課	500	22,390	22,390
21	介護予防マネジメント事業	地域包括ケア推進課	39,945	39,945	39,945
22	介護保険給付事業	地域包括ケア推進課	2,826,256	2,826,256	2,826,256
23	介護予防把握事業	地域包括ケア推進課	31,471	31,471	31,471
24	食事サービス事業	地域包括ケア推進課	231	1,210	0
25	認知症高齢者やすらぎ支援訪問員派遣事業	地域包括ケア推進課	251	251	251
26	高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	地域包括ケア推進課	6,968	6,968	6,968
27	生活支援短期宿泊事業	地域包括ケア推進課	686	686	686
28	家族介護用品支給事業	地域包括ケア推進課	792	792	792
29	家族介護者交流事業	地域包括ケア推進課	320	320	320
30	介護給付適正化事業	地域包括ケア推進課	368	368	368
31	在宅医療・介護連携推進事業	地域包括ケア推進課	5,398	5,398	5,398
32	成年後見制度利用支援事業	地域包括ケア推進課	2,045	2,045	2,045
33	介護予防支援事業	地域包括ケア推進課	6,645	6,645	6,645
34	高額介護相当サービス費等事業	地域包括ケア推進課	300	300	300
35	通所型サービス事業	地域包括ケア推進課	41,580	41,580	41,580
36	訪問型サービス事業	地域包括ケア推進課	20,000	20,000	20,000
37	後期高齢者医療事業	国保年金課	941,090	941,090	941,090

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦 1 とともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり

〔2〕健康で安心して暮らせる保健・医療環境の充実

(4) 保健

目指す姿	人々が互いに支え合い、つながりを感じながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、また、心身ともに健康な状態を維持し、生涯元気に過ごせるような地域になっています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	自分が健康だと思っている市民の割合	まちづくり市民アンケート調査で、健康であると思うと回答した市民の割合で、健康づくりの取組により、自分が健康だと思う市民がどの程度いるかを見る指標	67.8%	75.0%
	1年以内の健康診断受診率	まちづくり市民アンケート調査で、過去1年間に健康診断を受診したと回答した市民が全体に占める割合で、市民の健康づくりに対する意識や行動を測る指標	75.5%	76.0%
	喫煙習慣のある成人市民の割合	まちづくり市民アンケート調査で、喫煙していると回答した20歳以上の市民の割合で、成人が習慣的に喫煙しているかを見る指標（目標値は健康日本21（第3次）の目標値）	21.8%	12.0%

施策の展開方向

① 健康づくりの推進

子どもから高齢者まで健康な状態を維持できるよう乳幼児期から高齢期の各時期に応じた予防に関する健康教育の充実により意識啓発を図ります。

また、美唄市健康づくり推進委員会とともに、市民・関係団体・行政が一体となって健康づくりを推進します。

② 疾病予防対策の充実

生活習慣病の発症予防や歯科保健の充実を図るために、健康診査や各種がん検診、歯科健診等の受診率の向上とともに、医師会・歯科医師会等との連携を強化し、食生活の改善や運動の習慣化による健康づくり及び禁煙・受動喫煙対策を推進します。

③ こころの健康づくり

地域における孤立を防ぎ、地域のソーシャルキャピタルの醸成が推進されるよう、身近な相談体制の充実とともに、育児や就労、介護等様々な状況から、誰にでも起こり得る心の不調に対し早期に気づく仕組みづくり、また、自殺予防対策の充実に努めます。

④ 健康危機に備えた体制整備

市民が、健康危機の知識や理解を深め、平時から予防活動を意識できるよう健康危機に関する周知啓発とともに、定期予防接種を実施するほか、感染症のまん延時には「美唄市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき対策を推進します。

令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		①健康づくりの推進			
事業名	中高年健康づくり事業		担当課	健康推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
「ライフコースアプローチ」に基づき、生活習慣病予防等の正しい知識普及と実践を通じ、中高年期の健康状態を維持・改善することで、市民が住み慣れた地域で生涯元気に自立して暮らせる状態を実現する。	事業計画	・健康手帳の交付 ・生活習慣病、歯周疾患、骨粗しょう症等病気の予防 ・健康づくりについての健康講話や実践 ・心身の健康に関することや生活・介護などの健康相談	・健康手帳の交付 ・生活習慣病、歯周疾患、骨粗しょう症等病気の予防 ・健康づくりについての健康講話や実践 ・心身の健康に関することや生活・介護などの健康相談	・健康手帳の交付 ・生活習慣病、歯周疾患、骨粗しょう症等病気の予防 ・健康づくりについての健康講話や実践 ・心身の健康に関することや生活・介護などの健康相談	
事業の内容	事業費	437千円	437千円	437千円	
40歳から64歳の市民を対象に、保健師等の専門職が生活習慣病や疾病の予防に関する健康教育・相談を実施する。健康手帳の交付や講話を通じて個々の課題に応じた具体的な実践方法を提示し、市民自らが健康管理に取り組む行動変容を促すことで、疾病の発症や重症化を防ぐ。	アウトプット	指標名	健康教育実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		16回	17回	18回	20回
	アウトカム	指標名	減塩に取り組む人の増加		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		21.8%	25.0%	30.0%	35.0%

展開方向		①健康づくりの推進			
事業名	健康づくり組織活動推進事業		担当課	健康推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
健康づくり組織の活動が推進されることで、市民が自然と健康になれる環境・地域づくりを構築する。	事業計画	・保健推進員：健診の周知啓発、研修会の企画実施、健康相談や介護予防教室への協力、協議会運営 ・食生活改善推進員：幼児への食育活動、成人期や高齢者への食生活習慣へのアプローチ、食の健康づくりの啓発等 ・運動推進員：びー助体操等の企画運営	・保健推進員：健診の周知啓発、研修会の企画実施、健康相談や介護予防教室への協力、協議会運営 ・食生活改善推進員：幼児への食育活動、成人期や高齢者への食生活習慣へのアプローチ、食の健康づくりの啓発等 ・運動推進員：びー助体操等の企画運営	・保健推進員：健診の周知啓発、研修会の企画実施、健康相談や介護予防教室への協力、協議会運営 ・食生活改善推進員：幼児への食育活動、成人期や高齢者への食生活習慣へのアプローチ、食の健康づくりの啓発等 ・運動推進員：びー助体操等の企画運営	
事業の内容	事業費	750千円	750千円	750千円	
市と各推進員組織（保健・食生活改善・運動）が連携し、ライフコースに応じた健康づくりにつながる取組みを推進する。	アウトプット	指標名	活動実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		211回	210回	220回	230回
	アウトカム	指標名	活動参加者数（各推進員含めた活動参加延人数）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2,000人	2,100人	2,200人	2,300人

展開方向		②疾病予防対策の充実		
事業名		乳幼児健康増進事業		
		担当課	健康推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
乳幼児期から生活習慣の確立を目指した支援や疾病の早期発見・早期支援を行うことで、こどもの健やかに成長・発達を促し、保護者が安心して子育てできる。	事業計画	- 各種健診の実施（5歳児健診新規実施） - 乳児期から生活習慣病に関する啓発を実施 - 新生児聴覚検査費用（全額）の助成 1か月児健康診査支援事業の実施	- 各種健診の実施（5歳児健診新規実施） - 乳児期から生活習慣病に関する啓発を実施 - 新生児聴覚検査費用（全額）の助成 1か月児健康診査支援事業の実施	- 各種健診の実施（5歳児健診新規実施） - 乳児期から生活習慣病に関する啓発を実施 - 新生児聴覚検査費用（全額）の助成 1か月児健康診査支援事業の実施
事業の内容	事業費	4,492千円	4,492千円	4,492千円
市内の新生児・乳幼児を対象に、保健師・管理栄養士・歯科衛生士等の専門職が連携し、各健康診査を通じた個別指導や生活習慣病の啓発を実施する。	アウトプット	指標名	実施回数	
		基準値（R7）	R8	R9
		35回	35回	35回
	アウトカム	指標名	受診率	
		基準値（R7）	R8	R9
		98.5%	100%	100%

展開方向		②疾病予防対策の充実		
事業名		中高年疾病予防事業		
		担当課	健康推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
壮年期・高齢期の市民が、がん・生活習慣病の予防ならびに、疾病を早期発見・早期治療することで、市民の健康寿命の延伸を図る。	事業計画	- 効率的ながん検診・各種検査の実施・運営 - 個別受診勧奨ハガキによる未受診者対策 - 重点対象者への訪問支援および個別健康指導	- 効率的ながん検診・各種検査の実施・運営 - 個別受診勧奨ハガキによる未受診者対策 - 重点対象者への訪問支援および個別健康指導	- 効率的ながん検診・各種検査の実施・運営 - 個別受診勧奨ハガキによる未受診者対策 - 重点対象者への訪問支援および個別健康指導
事業の内容	事業費	13,455千円	13,455千円	13,455千円
40歳以上の市民を主対象として、各種がん検診や肝炎・骨粗鬆症検査等の多角的な早期受診を支援する。	アウトプット	指標名	がん検診受診者数（受診率）	
		基準値（R7）	R8	R9
		3.4%	3.5%	3.6%
	アウトカム	指標名	精密検査受診率	
		基準値（R7）	R8	R9
		80%	85%	90%

展開方向		③こころの健康づくり			
事業名	健康づくり啓発事業		担当課	健康推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
市民が健康に関心を持ち、ライフコースに応じた取組みを推進し、健康づくりに自然と取り組める環境・地域を構築する。	事業計画	・食の健康づくりの啓発 ・喫煙・受動喫煙防止対策 ・び～助健康体操体験会 ・自殺防止対策 ・世代間交流事業の開催	・食の健康づくりの啓発 ・喫煙・受動喫煙防止対策 ・び～助健康体操体験会 ・自殺防止対策 ・世代間交流事業の開催	・食の健康づくりの啓発 ・喫煙・受動喫煙防止対策 ・び～助健康体操体験会 ・自殺防止対策 ・世代間交流事業の開催	
事業の内容	事業費	1,286千円	1,286千円	1,286千円	
市民一人ひとりの健康意識の向上と具体的な予防行動（検診受診や運動習慣化）の定着を支援する。	アウトプット	指標名	喫煙防止教育実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2回	2回	3回	4回
	アウトカム	指標名	喫煙習慣のある成人市民の割合（喫煙率）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		19.2%	18%	16%	15%

展開方向		③こころの健康づくり				
事業名		健康づくり組織活動推進事業		担当課	健康推進課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
健康づくり組織の活動が推進されることで、市民が自然と健康になれる環境・地域づくりを構築する。		事業計画	・保健推進員：健診、健康の周知、研修会、健康相談や介護予防教室への協力等 ・食生活改善推進員：食育活動、生活習慣改善への支援、食の健康づくりの啓発等 ・運動推進員：すこやかウォーキング、びー助体操等の企画運営	・保健推進員：健診、健康の周知、研修会、健康相談や介護予防教室への協力等 ・食生活改善推進員：食育活動、生活習慣改善への支援、食の健康づくりの啓発等 ・運動推進員：すこやかウォーキング、びー助体操等の企画運営	・保健推進員：健診、健康の周知、研修会、健康相談や介護予防教室への協力等 ・食生活改善推進員：食育活動、生活習慣改善への支援、食の健康づくりの啓発等 ・運動推進員：すこやかウォーキング、びー助体操等の企画運営	
事業の内容		事業費	750千円	750千円	750千円	
市と各推進員組織（保健・食生活改善・運動）が連携し、ライフコースに応じた健康づくりにつながる取組みを推進する。		アウトプット	指標名	活動実施回数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			211回	210回	220回	230回
		アウトカム	指標名	活動参加者数（各推進員含めた活動参加延人数）		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			2,000人	2,100人	2,200人	2,300人

展開方向		④健康危機に備えた体制整備		
事業名		定期予防接種事業		
事業の目的		区分	R8	R9
ワクチン接種によって、感染症の発症と重症化を予防するとともに社会全体の集団免疫によってまん延防止をめざす。		事業計画	・接種対象者への確実な個別通知・勧奨の実施 ・定期予防接種の実施	・接種対象者への確実な個別通知・勧奨の実施 ・定期予防接種の実施
事業の内容		事業費	60,477千円	60,477千円
予防接種法に基づき、対象となる乳幼児から高齢者に対し、全額公費負担（A類）または一部公費負担（B類）にて、市内外の指定医療機関と連携した個別接種体制を整備・提供する。		指標名	集団接種実施回数	
		基準値（R7）	R8	R9
		6回	6回	6回
		指標名	A類予防接種延べ人数	
		基準値（R7）	R8	R9
		1,320人	1,300人	1,250人

展開方向		④健康危機に備えた体制整備		
事業名		感染症予防対策事業		
事業の目的		区分	R8	R9
感染症の早期発見と適切な治療を促進し、市民の疾病重症化リスクを低減することで、健康寿命の延伸を図る。また、中学生を対象にピロリ菌検査・除菌治療を実施し、ピロリ菌による胃の病気を予防することができる。		事業計画	・エキノコックス症検診等の計画的実施 ・中学生ピロリ菌検査・治療費助成の執行 ・感染症情報の発信と予防接種の勧奨強化	・エキノコックス症検診等の計画的実施 ・中学生ピロリ菌検査・治療費助成の執行 ・感染症情報の発信と予防接種の勧奨強化
事業の内容		事業費	285千円	285千円
小学校3年生以上を対象としたエキノコックス症検診や、胃がん等リスクの低減を目的とした「中学生ピロリ菌検査・治療費助成」を実施する。感染症まん延時には、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、迅速な情報提供、予防接種等の対応を行う。		指標名	周知・啓発回数（広報・ホームページ）	
		基準値（R7）	R8	R9
		2回	2回	2回
		指標名	エキノ受診者数	
		基準値（R7）	R8	R9
		44人	40人	40人

【(4) 保健】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
9	保育所フッ化物洗口推進事業	こども未来課	130	130	130
10	幼小フッ化物洗口推進事業	学務課	243	243	243
11	妊産婦健康増進事業	健康推進課	5,549	5,549	5,549
12	保健衛生管理事務	健康推進課	2,292	2,292	2,292
13	高齢者健康づくり事業	健康推進課	1,201	1,201	1,201
14	親子の健康づくり事業	健康推進課	334	334	334
15	保健センター管理運営事務	健康推進課	5,614	6,571	6,571
16	ひとり親家庭等医療費助成事業	国保年金課	7,605	7,605	7,605
17	重度心身障がい者医療費助成事業	国保年金課	63,695	63,727	63,727
18	国民健康保険事業	国保年金課	2,682,866	2,682,866	2,682,866

挑戦 1 とともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり

〔2〕健康で安心して暮らせる保健・医療環境の充実

(5) 地域医療

目指す姿	市民一人ひとりが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、持続可能で質の高い医療を受けられる体制が構築されています。
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	地域医療に対する満足度	まちづくり市民アンケート調査で、医療提供について満足していると回答した市民の割合で、市民が地域の医療サービスにどの程度満足しているかを測る指標	56.4%	60.0%
	市立美唄病院における看護師の離職率	地域医療の継続性や医療サービスの質が維持・向上のため、看護師のキャリアアップ支援が定着に貢献しているかを評価する指標	6.12%	現状値より低下させる

施策の展開方向

① 治し支える医療の充実

医療を必要とする市民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、市立美唄病院が地域医療の中核を担い、市内医療機関、介護施設等と連携し、急性期から回復期、在宅医療まで切れ目のない医療の提供を行います。

② 医師会、近隣中核病院と連携した救急医療の充実

必要なときに、必要な医療を受けることができるよう医師会や近隣中核病院との連携を強化し、救急搬送や救急医療提供体制の充実を図ります。救急医療に関する周知啓発を行います。

③ 医療従事者の確保

地域に根ざし、継続的に医療に従事する人材が安定的に確保されるよう、市立美唄病院や医師会、歯科医師会等と連携し、医育大学、看護職育成校等の学生・研修医の受入れを積極的に行います。多職種連携等により地域包括ケアシステムの推進と人材育成を図ります。
また、市立美唄病院では看護師確保に向け、院内研修や認定看護師、特定行為研修などキャリアアップ支援体制を充実します。

令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 治し支える医療の充実			
事業名		市立美唄病院事業			
		担当課	病院事務局		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
救急医療、小児医療、透析医療など不採算部門や地域に欠かすことのできない医療及び地域医療構想に基づく役割を担い、市民が住み慣れた地域で安心して生活を継続できる医療体制を提供する。		事業計画	・診療業務（外来7科、透析治療及び入院（一般病棟43床、うち地域包括ケア15床、療養病棟32床）） ・24時間体制の救急医療 ・健診、予防医療 ・施設、医療機器等の維持管理 ・経営管理、人材育成	・診療業務（外来7科、透析治療及び入院（一般病棟43床、うち地域包括ケア15床、療養病棟32床）） ・24時間体制の救急医療 ・健診、予防医療 ・施設、医療機器等の維持管理 ・経営管理、人材育成	・診療業務（外来7科、透析治療及び入院（一般病棟43床、うち地域包括ケア15床、療養病棟32床）） ・24時間体制の救急医療 ・健診、予防医療 ・施設、医療機器等の維持管理 ・経営管理、人材育成
事業の内容		事業費	2,758,750千円	2,605,700千円	2,580,700千円
病院事業管理者（経営主体）のもと、一般・療養病床（計75床）、外来7科、透析診療を運営し、24時間・365日体制で救急医療を提供する。また、経営強化プランに基づき、医療機器の計画的更新や経営管理の効率化、多職種連携による在宅復帰支援を推進し、地域完結型医療の拠点として機能させる。	アウトプット	指標名	入院患者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		17,764人	24,090人	23,725人	23,725人
	アウトカム	指標名	病床利用率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		64.9%	85.0%	85.0%	85.0%

展開方向		① 治し支える医療の充実			
事業名	在宅医療・介護連携推進事業		担当課	地域包括ケア推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
医療と介護の専門職がフラットに連携できる体制を構築し、退院支援や急変時対応を円滑化することで、重度化しても住み慣れた地域で最期まで暮らせる「在宅医療・介護提供体制」を確立する。	事業計画	・ 地域包括ケア講演会の開催	・ 地域包括ケア講演会の開催	・ 地域包括ケア講演会の開催	
事業の内容	事業費	5,398千円	5,398千円	5,398千円	
医療と介護の分野の専門職が集まり、研修会へ参加し、グループワークを実施する中で地域の医療・介護上の課題等の情報を共有し、地域にあった連携体制を作っていく。	アウトプット	指標名	研修会の実施		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1回	1回	1回	1回
	アウトカム	指標名	参加者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20人	20人	20人	20人

展開方向 ② 医師会、近隣中核病院と連携した救急医療の充実				
事業名	救急医療啓発普及事業		担当課	健康推進課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
救急医療体制の確保と適切な利用の周知を図ることで、市民が夜間や休日等に救急医療を受診し、安心して暮らし続けられる状態にする。	事業計画	・救急診療に携わる医師の派遣調整 ・救急医療及び病気の重症化予防の普及啓発事業 ・救急医療意見交換会等の開催を委託 ・美唄歯科医師会に休日における診療 ・歯科保健の普及啓発を行う事業を委託	・救急診療に携わる医師の派遣調整 ・救急医療及び病気の重症化予防の普及啓発事業 ・救急医療意見交換会等の開催を委託 ・美唄歯科医師会に休日における診療 ・歯科保健の普及啓発を行う事業を委託	・救急診療に携わる医師の派遣調整 ・救急医療及び病気の重症化予防の普及啓発事業 ・救急医療意見交換会等の開催を委託 ・美唄歯科医師会に休日における診療 ・歯科保健の普及啓発を行う事業を委託
事業の内容	事業費	4,755千円	4,755千円	4,755千円
市が美唄市医師会及び歯科医師会に対し、休日・夜間の救急診療体制の維持を委託する	アウトプット	指標名 救急診療開設日数		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	365日	365日	365日	365日
	アウトカム	指標名 救急による搬送件数		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	1,110件	1,200件	1,200件	1,200件

展開方向 ③ 医療従事者の確保				
事業名	市立美唄病院事業		担当課	病院事務局
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
救急医療、小児医療、透析医療など不採算部門や地域に欠かすことのできない医療及び地域医療構想に基づく役割を担い、市民が住み慣れた地域で安心して生活を継続できる医療体制を提供する。	事業計画	・診療業務（外来7科、透析治療及び入院（一般病棟43床、うち地域包括ケア15床、療養病棟32床）） ・24時間体制の救急医療 ・健診、予防医療 ・施設、医療機器等の維持管理 ・経営管理、人材育成	・診療業務（外来7科、透析治療及び入院（一般病棟43床、うち地域包括ケア15床、療養病棟32床）） ・24時間体制の救急医療 ・健診、予防医療 ・施設、医療機器等の維持管理 ・経営管理、人材育成	・診療業務（外来7科、透析治療及び入院（一般病棟43床、うち地域包括ケア15床、療養病棟32床）） ・24時間体制の救急医療 ・健診、予防医療 ・施設、医療機器等の維持管理 ・経営管理、人材育成
事業の内容	事業費	2,758,750千円	2,605,700千円	2,580,700千円
病院事業管理者（経営主体）のもと、一般・療養病床（計75床）、外来7科、透析診療を運営し、24時間・365日体制で救急医療を提供する。また、経営強化プランに基づき、医療機器の計画的更新や経営管理の効率化、多職種連携による在宅復帰支援を推進し、地域完結型医療の拠点として機能させる。	アウトプット	指標名 入院患者数		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	17,764人	23,725人	23,725人	23,725人
	アウトカム	指標名 病床利用率		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	64.9%	85.0%	85.0%	85.0%

展開方向		③ 医療従事者の確保			
事業名	在宅医療・介護連携推進事業			担当課	地域包括ケア推進課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
医療と介護の専門職がフラットに連携できる体制を構築し、退院支援や急変時対応を円滑化することで、重度化しても住み慣れた地域で最期まで暮らせる「在宅医療・介護提供体制」を確立する。	事業計画	・ 地域包括ケア講演会の開催	・ 地域包括ケア講演会の開催	・ 地域包括ケア講演会の開催	
事業の内容	事業費	5,398千円	5,398千円	5,398千円	
医療と介護の分野の専門職が集まり、研修会へ参加し、グループワークを実施する中で地域の医療・介護上の課題等の情報を共有し、地域にあった連携体制を作っていく。	アウトプット	指標名	研修会の実施		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1回	1回	1回	1回
	アウトカム	指標名	参加者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20人	20人	20人	20人

挑戦２ 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり

〔１〕地域資源を生かした「にぎわい」づくり

（６）商工業振興

目指す姿	地域経済を支える中小企業が活力を高め、中心市街地が賑わいを取り戻すとともに、新しい産業が育まれることで、活気あふれる産業が持続的に展開されています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	製造品出荷額	工業振興の成果を工業統計調査による市内の製造品出荷額の総額で見る指標	14,700,000千円	14,700,000千円
	美唄産農産物を活用し商品化された件数	美唄産農産物を活用し商品化された特産品の累計件数で、地域資源の新たな価値創出と産業間の連携強化の成果を測る指標	13商品	18商品
	中心市街地の活性化に向けた中小企業等振興条例補助金活用件数	中心市街地における空き店舗の活用、新規創業、イベント開催など、活性化に向けた取り組みを支援するために交付された補助金の累計活用件数	19件	85件

施策の展開方向

① 中小企業の活性化と経営基盤の強化

市内の中小企業事業者に対して、市が人材不足や資金面の課題が解消され、安定した経営基盤を確立できるよう補助制度や金融支援の活用促進、人材育成研修や職業訓練の充実、企業間交流会の開催により、資金・人材・連携の面から総合的に事業継続力を高められるよう取り組みます。

② 中心市街地の活性化

中心市街地の事業者や新規創業希望者、地域住民に対して、市が商業と交流機能が融合し、多世代が訪れる賑わいの拠点として再生されるよう空き店舗の利活用支援や創業補助の活用促進、定期的な地域イベントやマルシェの開催支援、事業者・住民が参加するワークショップを通じて、地域主体で持続可能なまちづくりを推進します。

③ 新産業の創出と企業立地の推進

市内事業者やスポーツ関連ビジネスに取り組む企業に対して、市がDXやグリーン成長分野の活用とスポーツを契機としたビジネス展開により、新たな産業が育つようDX導入や再生可能エネルギー関連事業への支援、スポーツを契機とした関連ビジネスの誘発、産学官連携による新技術やサービスの開発支援などを推進します。

④ 農商工連携とブランド化

市内の農業者に対し、品質向上・生産収量の確保、農産物のブランド化が図られるよう、国・道等の支援制度活用しながら、付加価値を付けた新たな商品開発、加工、販売などの取組を支援します。また、関係機関と連携しセミナーの開催や農業者及び食品製造事業者などへ情報提供し、農業者と地元企業の連携に努めます。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 中小企業の活性化と経営基盤の強化			
事業名	中小企業等振興補助事業		担当課	経済観光課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
市内に事業所がある中小企業者等の付加価値が高まる事業に対し必要な支援を行うことにより、中小企業者等の経営基盤を安定させ、地域経済の健全な発展及び市民生活の向上を図る。	事業計画	・補助金の公募・審査・交付事務 ・事業の進捗管理と効果測定 ・経営課題の把握と伴走型支援	・補助金の公募・審査・交付事務 ・事業の進捗管理と効果測定 ・経営課題の把握と伴走型支援	・補助金の公募・審査・交付事務 ・事業の進捗管理と効果測定 ・経営課題の把握と伴走型支援	
事業の内容	事業費	32,000千円	32,000千円	32,000千円	
美唄市中小企業等振興条例に基づき、新商品・新サービス・新技術の開発、新分野進出、販路開拓、人材育成などの必要な助成を行う。	アウトプット	指標名	事業の周知		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1回	5回	5回	5回
	アウトカム	指標名	補助事業予算執行率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		76%	100%	100%	100%

展開方向		① 中小企業の活性化と経営基盤の強化			
事業名	中小企業等振興資金貸付事業		担当課	経済観光課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
企業経営に必要な運転・設備資金等を低利で調達でき、経営の安定化や事業の拡大につなげ、中小企業の振興を図る。	事業計画	・ 融資の斡旋 ・ 金融機関との協調融資 ・ 資金の貸付及び回収	・ 融資の斡旋 ・ 金融機関との協調融資 ・ 資金の貸付及び回収	・ 融資の斡旋 ・ 金融機関との協調融資 ・ 資金の貸付及び回収	
事業の内容	事業費	400,000千円	400,000千円	400,000千円	
美唄市中小企業等振興資金融資制度による融資の原資を指定金融機関に預託し、資金の貸し付けを行い、金融機関との協調融資を行う。市は融資を斡旋し、金融機関は資金の貸付及び回収業務を行う。また、金融機関の実収利回りを確保するため、預託金の調整を行う。運転資金・設備資金など9種の融資がある。	アウトプット	指標名	新規融資斡旋決定件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20件	20件	20件	20件
	アウトカム	指標名	事業継続率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
100%		100%	100%	100%	

展開方向		② 中心市街地の活性化			
事業名	中心市街地元気創出事業		担当課	経済観光課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
中心市街地の活性化を図るため、イベント企画や商店街PR冊子の作成などを行うとともに、中心市街地に誘客するための賑わいの場を創出する。	事業計画	・賑わい創出スペースの開設・運営 ・協力隊によるイベント企画・広報展開	・賑わい創出スペースの開設・運営 ・協力隊によるイベント企画・広報展開	・賑わい創出スペースの開設・運営 ・協力隊によるイベント企画・広報展開	
事業の内容	事業費	35,773千円	35,773千円	35,773千円	
・地域おこし協力隊を配置し、中心市街地をフィールドに各種団体と連携したイベントの実施により賑わいの創出を図る。	アウトプット	指標名 中心市街地におけるイベント開催数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		7回	10回	10回	10回
	アウトカム	指標名 中心市街地における各種イベント参加者数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1,706人	2,000人	2,000人	2,000人

展開方向		③ 新産業の創出と企業立地の推進			
事業名	企業立地活動事業		担当課	経済観光課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
産業クラスターの推進や企業誘致を通じて、地域経済の持続的な成長と良質な雇用の場を確保するとともに、固定資産税等の市税収入の安定的な拡充を図る。	事業計画	・ 空知団地企業誘致推進会議と連携した誘致活動 ・ 企業情報の収集と本市のPRのために展示会等への参加 ・ 企業誘致に向けた企業訪問	・ 空知団地企業誘致推進会議と連携した誘致活動 ・ 企業情報の収集と本市のPRのために展示会等への参加 ・ 企業誘致に向けた企業訪問	・ 空知団地企業誘致推進会議と連携した誘致活動 ・ 企業情報の収集と本市のPRのために展示会等への参加 ・ 企業誘致に向けた企業訪問	
事業の内容	事業費	12, 285千円	12, 285千円	12, 285千円	
空知団地の未利用地の早期解消に向け、企業誘致推進会議と連携した戦略的な活動を展開する。	アウトプット	指標名	企業訪問数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20社	20社	20社	20社
	アウトカム	指標名	企業立地件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1件	1件	1件	1件

展開方向		③ 新産業の創出と企業立地の推進			
事業名	企業立地等振興対策補助事業		担当課	経済観光課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
美唄市内において工場等の新設、増設若しくは用地の取得又はリサイクル設備若しくは新エネルギー装置の導入又は鉱業所の新設をしようとする者に対し、助成又は課税の免除等の措置を行い、産業の振興と雇用の拡大を図る。	事業計画	・ 企業立地及び設備投資への補助金交付 ・ 産業振興条例に基づく税制優遇措置の実施 ・ 市内就業者の増員に向けた雇用支援の展開	・ 企業立地及び設備投資への補助金交付 ・ 産業振興条例に基づく税制優遇措置の実施 ・ 市内就業者の増員に向けた雇用支援の展開	・ 企業立地及び設備投資への補助金交付 ・ 産業振興条例に基づく税制優遇措置の実施 ・ 市内就業者の増員に向けた雇用支援の展開	
事業の内容	事業費	0千円	186,270千円	0千円	
市内で工場等の新設・増設、リサイクル設備や新エネルギー装置の導入を行う事業者に対し、美唄市産業振興条例に基づき、施設新設、用地取得、雇用の必要な助成及び固定資産税の減免を行う。	アウトプット	指標名	誘致企業累計数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1件	3件	4件	5件
	アウトカム	指標名	補助金交付累計数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1件	1件	3件	4件

展開方向		④ 農商工連携とブランド化				
事業名		農商工連携推進助成事業		担当課	経済観光課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
食に関連した試験研究や商品開発に取り組むことで、競争力強化と持続的な収益基盤を確立し、地域資源のブランド化を通じた市内経済の循環と活性化を図る。		事業計画	・ 美唄産農林水産物を活用した商品開発のための試験研究 ・ 商品化までの調査研究 ・ 販路開拓等の取組に対しての補助及び取組支援	・ 美唄産農林水産物を活用した商品開発のための試験研究 ・ 商品化までの調査研究 ・ 販路開拓等の取組に対しての補助及び取組支援	・ 美唄産農林水産物を活用した商品開発のための試験研究 ・ 商品化までの調査研究 ・ 販路開拓等の取組に対しての補助及び取組支援	
事業の内容		事業費	7,492千円	8,492千円	8,492千円	
美唄産農林水産物を活用した新しい商品開発のための試験研究や商品化までの調査研究及び販路開拓等の取組に対して補助を行うこととしている。	アウトプット	指標名	助成件数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10	
		1件	1件	1件	1件	
	アウトカム	指標名	新たに商品化された特産品数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10	
		1件	1件	1件	1件	

【(6)商工業振興】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
7	スポーツビジネス起業化支援事業	経済観光課	60,276	60,276	60,276
8	空知団地管理事業	経済観光課	3,029	3,029	3,029
9	商工振興対策事務	経済観光課	9,655	9,655	9,655
10	美唄ハイテクセンター貸付事業	経済観光課	186,000	186,000	186,000
11	情報化人材育成事業	経済観光課	26,102	26,102	26,102
12	ピパオイの里プラザ管理運営事業	経済観光課	7,794	7,794	7,794

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦２ 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり

〔１〕地域資源を生かした「にぎわい」づくり

(7) 雇用対策

目指す姿	多様な働き手が将来に希望を持って、誰もが安心していきいきと働ける職場となり、企業の安定した雇用と発展に繋がっています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	職業紹介者の就職率	求人情報提供や職業紹介の成果を美唄市ふるさとハローワークで職業紹介を受けた人のうち、実際に就職に結びついた人の割合	59.0%	60.0%
	働き方改革に取り組んでいる企業の割合	労働基本調査で、働き方改革に「取り組んでいる」と答えた企業の割合	57.1%	70.0%

施策の展開方向

① 人材の育成・確保

新規高校卒業者をはじめとする若年者や女性、高齢者、障がい者、外国人が地元企業への就業促進や安定雇用が図られるよう、合同企業説明会や職業体験学習、技能習得等に対する支援を組み込みます。

② 就業環境の整備

非正規労働者や若年労働者が安心して働き、その意欲や能力を十分に発揮できるよう、就労環境等の実態把握に努め、長時間労働の是正や年次有給休暇の円滑な取得をはじめ、勤労者の福利厚生増進、「働き方改革」を促進します。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向 ① 人材の育成・確保				
事業名	地元就職等応援事業		担当課	経済観光課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
少子高齢化に伴う労働力不足を背景に、市内高校生の地元就職率を向上させることで、地域産業の担い手を確保し、若年層の市内定着と地域経済の持続的発展を図る。	事業計画	・市内企業のPR冊子の作成・配布 ・市内企業との説明会や体験実習を開催（市内高校生の社会体験実習、合同企業説明会、お仕事説明会）	・市内企業のPR冊子の作成・配布 ・市内企業との説明会や体験実習を開催（市内高校生の社会体験実習、合同企業説明会、お仕事説明会）	・市内企業のPR冊子の作成・配布 ・市内企業との説明会や体験実習を開催（市内高校生の社会体験実習、合同企業説明会、お仕事説明会）
事業の内容	事業費	781千円	781千円	781千円
市内高校生を対象に、企業PR冊子の配付や職場体験、合同説明会を通じて地元企業の魅力を発信する。	アウトプット	指標名 合同企業説明会への参加生徒数		
		基準値（R7）	R8	R9
		35人	35人	35人
	アウトカム	指標名 市内高校生の市内就職率		
		基準値（R7）	R8	R9
		20%	20%	20%

展開方向 ① 人材の育成・確保				
事業名	地域人材育成事業		担当課	経済観光課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
市内中小企業の生産性向上と労働者の処遇改善を図るため、高度な技能・資格取得を支援することで、安心・安全な雇用条件を確保するとともに、人材育成の拡充を通じて市内中小企業等の経営基盤の強化を図る。	事業計画	・補助金申請の受付・要件審査 ・対象研修機関との連絡調整 ・事業効果の調査・実績管理	・補助金申請の受付・要件審査 ・対象研修機関との連絡調整 ・事業効果の調査・実績管理	・補助金申請の受付・要件審査 ・対象研修機関との連絡調整 ・事業効果の調査・実績管理
事業の内容	事業費	3,219千円	3,219千円	3,219千円
公的研修機関（地域人材開発センター及び美唄自動車学校等）の指定する技能講習、資格取得に対する補助	アウトプット	指標名 制度の周知（HP等）		
		基準値（R7）	R8	R9
		2回	5回	5回
	アウトカム	指標名 年間受講者数		
		基準値（R7）	R8	R9
		152人	150人	150人

展開方向		② 就業環境の整備				
事業名		勤労者共済会補助事業		担当課	経済観光課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
市内中小企業に働く勤労者の福利厚生 の増進を図るとともに従業員の定着と 企業の進行発展に寄与することを目的 とし、給付事業のほか、会員に対する 厚生事業の拡充を図る。		事業計画	・会員企業・勤労者の 福利厚生事業等を支援 ・給付事業（慶弔の給 付等） ・厚生事業（健康診断 助成、スキー場リフト 券割引） ・事業所、会員の新規 加入促進	・会員企業・勤労者の 福利厚生事業等を支援 ・給付事業（慶弔の給 付等） ・厚生事業（健康診断 助成、スキー場リフト 券割引） ・事業所、会員の新規 加入促進	・会員企業・勤労者の 福利厚生事業等を支援 ・給付事業（慶弔の給 付等） ・厚生事業（健康診断 助成、スキー場リフト 券割引） ・事業所、会員の新規 加入促進	
事業の内容		事業費	1,640千円	1,640千円	1,640千円	
美唄市勤労者共済会（事務局：商工会 議所等）に対し、市内中小企業の労働 環境改善を目的とした運営費補助を行 う。		アウト プット	指標名	事業の周知		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			1回	5回	5回	5回
		アウト カム	指標名	給付・厚生事業数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			957人	1,005人	1,005人	1,005人

【(7)雇用対策】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
4	ふるさとハローワーク就労促進支援事業	経済観光課	5,319	5,319	5,319
5	地域人材開発センター運営事業	経済観光課	26,773	13,000	13,000
6	季節労働者通年雇用促進支援事業	経済観光課	123	123	123

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦2 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり

〔1〕地域資源を生かした「にぎわい」づくり

(8) 観光・交流

目指す姿	国内外からたくさんの旅行者が美唄を訪れ、滞在し、交流人口が増えるとともに、地域の賑わい創出と経済の振興が図られています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	観光入込客数	観光振興や地域交流の取り組みの成果を、市内に訪れた観光客や交流人口の総数によって測る指標	39.8万人	60万人
	外国人旅行者満足度	市内を訪れた外国人旅行者を対象としたアンケート調査で、「満足」と回答した人の割合で、観光振興策の成果や地域の魅力度を測る指標	-	60.0%

施策の展開方向

① 情報発信とPR活動の充実

国内外の観光客に魅力的な特産品や炭鉱遺産等の観光資源を知ってもらい、訪れていただけるよう、多言語の観光パンフレットやSNS、デジタル観光マップ等の充実を図ります。また、道内外で開催される観光・物産イベント等のPR活動については、観光関係機関などと一体的に行います。

② 滞在型観光の充実

国内外の観光客に対し、道道美唄富良野線などの地域資源を有効活用し、様々な観光客のニーズに応え、リピーターとしても訪れていただけるよう、観光関係機関などと連携しながら、美唄国設スキー場の通年利用をはじめ多種多様な新たな観光コンテンツ等の造成を行います。

③ 観光関連施設の充実

将来にわたり国内外の観光客に訪れて満足いただけるよう、魅力ある観光関連施設の適正な管理と、さらなる施設の充実を図ります。

④ インバウンド客受入体制の強化

インバウンド観光客が市内を安心して観光できるよう、多言語による案内看板の設置や翻訳システムの導入を進め、観光客だけでなく、市民も安心して暮らせる、より良い環境づくりを推進します。

⑤ 観光客の中心市街地への回遊

国内外の観光客が郊外にある観光関連施設を訪れた際に、その施設で完結するのではなく、中心市街地で賑わいや市民との交流が生まれるよう、中心市街地の飲食店や店舗、さらには新たな観光スポットの魅力を広く発信し、中心市街地への購買力を促します。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向 ① 情報発信とPR活動の充実				
事業名	観光振興事業		担当課	経済観光課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
美唄市の観光・イベント情報発信、特産品のPRを積極的に行うことにより、観光・交流人口の拡大を図るとともに、特産品の販路拡大や消費者の定着を図り、地域全体の活性化につなげる。	事業計画	- 観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 - 観光PR広告の掲載 - 音楽フェスの開催 - 特産品情報発信支援	- 観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 - 観光PR広告の掲載 - 音楽フェスの開催 - 特産品情報発信支援	- 観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 - 観光PR広告の掲載 - 音楽フェスの開催 - 特産品情報発信支援
事業の内容	事業費	29,325千円	31,645千円	31,645千円
観光振興の拡大を図るため、観光パンフレットの作成・配布や特産品PR、広域観光PR事業への参画など観光・交流人口の拡大を図る。	アウトプット	指標名 市内外での観光・特産品PR年間実施回数		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	14回	15回	15回	15回
	アウトカム	指標名 市内開催イベントにおける観光入込客数		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	54,059人	65,000人	75,000人	75,000人

展開方向 ② 滞在型観光の充実				
事業名	地域資源を活用した観光地づくり推進事業		担当課	経済観光課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
国内観光客の旅行形態が団体から小グループや個人旅行へと旅行形態が変化し、海外から北海道を訪れる外国人観光客が増加する中、より多くの観光客に美唄市を訪れてもらうため、総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用するなどし、国内外の観光客のニーズを捉えた観光地づくりを進める。	事業計画	- 地域資源を活用した交流人口の創出・拡大 - インバウンドの増加と受入体制づくり	- 地域資源を活用した交流人口の創出・拡大 - インバウンドの増加と受入体制づくり	- 地域資源を活用した交流人口の創出・拡大 - インバウンドの増加と受入体制づくり
事業の内容	事業費	67,164千円	73,207千円	73,207千円
総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、国内外からの観光客誘致や交流拠点施設・交流施設を利用する交流人口増加に向けて市内事業者と連携したイベントの企画や地域資源を活用した情報発信等の取組を実施し、観光・交流人口の創出を図る。	アウトプット	指標名 新たな観光コンテンツの開発		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	0個	1個	1個	1個
	アウトカム	指標名 新たな観光コンテンツに係る観光入込客数		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	0人	500人	1,000人	1,500人

展開方向		② 滞在型観光の充実			
事業名	ステイびばい交流推進事業			担当課	経済観光課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
市や団体、企業、事業者で構成する組織により、地域資源を最大限に活用した事業を創出・マネジメント活動を展開し、効果的かつ発展的で持続可能な経済活動を推進する。		事業計画	・滞在環境整備 ・滞在体験メニュー創造 ・情報発信・プロモーション ・旅行業の推進	・滞在環境整備 ・滞在体験メニュー創造 ・情報発信・プロモーション ・旅行業の推進	・滞在環境整備 ・滞在体験メニュー創造 ・情報発信・プロモーション ・旅行業の推進
事業の内容		事業費	13,561千円	13,961千円	13,961千円
多様な滞在型体験交流プログラムの創造や滞在コンテンツ造成など、本市の観光資源を活かした居心地の良い滞在環境を構築し、滞在人口やリピーターを含めた観光・交流人口の創出と拡大を図る一般社団法人ステイびばいを支援する。	アウトプット	指標名	滞在型コンテンツ造成		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1コンテンツ	1コンテンツ	1コンテンツ	1コンテンツ
	アウトカム	指標名	市内宿泊者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		27,325人	28,000人	29,000人	30,000人

展開方向		③ 観光関連施設の充実			
事業名		美唄国設スキー場整備事業		担当課	経済観光課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
冬期のアクティビティを楽しめる施設として市内外から多くの人々が訪れ、観光・交流人口の増加に寄与しているため、利用者が安全で快適に利用できるよう建物・設備や機器等の改修・整備を行う。		事業計画	・センターハウスの建設 ・リフト更新 ・駐車場及び外構整備 ・既存建物の解体	・センターハウスの建設 ・リフト更新 ・駐車場及び外構整備 ・既存建物の解体	・センターハウスの建設 ・リフト更新 ・駐車場及び外構整備 ・既存建物の解体
事業の内容		事業費	1,282,484千円	900,273千円	387,362千円
美唄国設スキー場の適切な管理と、利用者の快適な環境を確保するため、施設・設備等の老朽化に伴う改修や整備を実施する。	アウトプット	指標名	施設・設備の更新等		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		3箇所	3箇所	2箇所	2箇所
	アウトカム	指標名	リフト輸送人員		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		203,266人	205,000人	210,000人	215,000人

展開方向		③ 観光関連施設の充実				
事業名		交流拠点施設整備事業		担当課	経済観光課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
平成15年12月の開業以来20年以上が経過し、施設及び設備が老朽化していることから、計画的に補修・改修等を行い、交流拠点施設の適正な管理と利用者の快適な環境を確保する。		事業計画	・維持管理に必要な修繕の実施 ・リニューアル・長寿命化計画の策定	・維持管理に必要な修繕の実施 ・維持管理に必要な備品の購入 ・リニューアル・長寿命化に係る実施設計	・維持管理に必要な修繕の実施 ・維持管理に必要な備品の購入 ・リニューアル・長寿命化に係る工事	
事業の内容		事業費	21,142千円	30,000千円	110,000千円	
ピパの湯ゆ～りん館の適切な管理と、利用者の快適な環境を確保するため、施設・設備の老朽化に伴う改修や修繕を実施する。		アウトプット	指標名	施設改修・備品更新数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			15箇所	6箇所	6箇所	6箇所
		アウトカム	指標名	年間入館者数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			164,876人	165,000人	165,500人	166,000人

展開方向		④ インバウンド客受入体制の強化				
事業名		観光振興事業				
		担当課	経済観光課			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
美唄市の観光・イベント情報発信、特産品のPRを積極的に行うことにより、観光・交流人口の拡大を図るとともに、特産品の販路拡大や消費者の定着を図り、地域全体の活性化につなげる。		事業計画	・観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 ・観光PR広告の掲載 ・音楽フェスの開催 ・特産品情報発信支援	・観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 ・観光PR広告の掲載 ・音楽フェスの開催 ・特産品情報発信支援	・観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 ・観光PR広告の掲載 ・音楽フェスの開催 ・特産品情報発信支援	
			事業費	29,325千円	31,645千円	31,645千円
事業の内容		事業費	29,325千円	31,645千円	31,645千円	
観光振興の拡大を図るため、観光パンフレットの作成・配布や特産品PR、広域観光PR事業への参画など観光・交流人口の拡大を図る。		アウトプット	指標名	市内外での観光・特産品PR年間実施回数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			14回	15回	15回	15回
		アウトカム	指標名	市内開催イベントにおける観光入込客数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			54,059人	65,000人	75,000人	75,000人

展開方向		④ インバウンド客受入体制の強化		
事業名	地域資源を活用した観光地づくり推進事業		担当課	経済観光課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
国内観光客の旅行形態が団体から小グループや個人旅行へと旅行形態が変化し、海外から北海道を訪れる外国人観光客が増加する中、より多くの観光客に美唄市を訪れてもらうため、総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用するなどし、国内外の観光客のニーズを捉えた観光地づくりを進める。	事業計画	・ 地域資源を活用した 交流人口の創出・拡大 ・ インバウンドの増加 と受入体制づくり	・ 地域資源を活用した 交流人口の創出・拡大 ・ インバウンドの増加 と受入体制づくり	・ 地域資源を活用した 交流人口の創出・拡大 ・ インバウンドの増加 と受入体制づくり
事業の内容	事業費	67,164千円	73,207千円	73,207千円
総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、国内外からの観光客誘致や交流拠点施設・交流施設を利用する交流人口増加に向けて市内事業者と連携したイベントの企画や地域資源を活用した情報発信等の取組を実施し、観光・交流人口の創出を図る。	アウトプット	新たな観光コンテンツの開発		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	0個	1個	1個	1個
	アウトカム	新たな観光コンテンツに係る観光入込客数		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	0人	500人	1,000人	1,500人

展開方向		⑤ 観光客の中心市街地への回遊				
事業名		観光振興事業				
		担当課	経済観光課			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
美唄市の観光・イベント情報発信、特産品のPRを積極的に行うことにより、観光・交流人口の拡大を図るとともに、特産品の販路拡大や消費者の定着を図り、地域全体の活性化につなげる。		事業計画	・観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 ・観光PR広告の掲載 ・音楽フェスの開催 ・特産品情報発信支援	・観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 ・観光PR広告の掲載 ・音楽フェスの開催 ・特産品情報発信支援	・観光パンフレット（日本語・外国語）の作成 ・観光PR広告の掲載 ・音楽フェスの開催 ・特産品情報発信支援	
事業の内容		事業費	29,325千円	31,645千円	31,645千円	
観光振興の拡大を図るため、観光パンフレットの作成・配布や特産品PR、広域観光PR事業への参画など観光・交流人口の拡大を図る。		アウトプット	指標名	市内外での観光・特産品PR年間実施回数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			14回	15回	15回	15回
		アウトカム	指標名	市内開催イベントにおける観光入込客数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			54,059人	65,000人	75,000人	75,000人

【(8) 観光・交流】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	美唄観光物産協会補助事業	経済観光課	15,000	15,000	15,000
7	都市と農村の交流共生推進事業	経済観光課	1,472	1,616	1,616
8	観光推進補助事業	経済観光課	5,000	7,000	7,000
9	パークゴルフ場管理事業	経済観光課	13,764	13,765	13,765
10	交流拠点施設管理事業	経済観光課	3,287	3,349	3,349
11	体験交流施設管理事業	経済観光課	5,444	5,444	5,444
12	美唄国設スキー場管理運営事業	経済観光課	11,953	16,499	16,499
13	「美味しい！びばい」農産物ブランド化推進事業	経済観光課	5,470	5,470	5,470
14	多目的宿泊施設管理運営事業	経済観光課	1,834	1,834	1,834

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦2 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり

〔2〕いのちを育む食と農の振興

(9) 農業振興

目指す姿	強固な基盤整備とスマート農業の推進により、効率的で持続可能な産業へと発展し、本市の基幹産業として地域経済を力強く牽引するとともに、食料基地としての役割を果たしています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	農業産出額	農業振興の成果を農産物の総額から見る指標で、農林水産統計による市内の農業産出額（生産量×農家庭先価格）の総額	54.8億円	60億円
	農地所有適格法人数	農業の基盤強化や持続可能な農業経営体の程度を法人数の増加から見る指標	56法人	62法人
	スマート農業機械利用者普及率	市内の農業者について、スマート農業機械を利用している農業者の割合から見る指標	41.0%	60.0%

施策の展開方向

① 農業経営力の向上

農業者や農業団体に対し、1年間に生産する農業産出額の総額が5年間で基準年を10%上回るよう、水稻を中心に高収益化作物の作付面積の維持拡大と農産物のブランド化、販路拡大や6次産業化への支援を行います

② 経営基盤の強化と人材の安定的な確保

地域農業の持続的な発展を図るために農業経営体の法人化を促進し、経営の高度化・多様化を進めます。また、経営管理能力の向上と安定雇用の確保を図り、地域の持続力を強化するために複数戸連携型の法人化モデルを推進します。

③ スマート農業の推進

国、道と連携し、市がドローンによる農薬の散布やセンシング、遠隔での水管理などデジタル化を進め、令和12年までに普及率60%になるよう、スマート農業に取り組む農業者を支援する補助金等の施策を維持します。

④ 生産環境の保全

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のため、地域の共同保全活動維持への支援や小麦食害対策、鳥獣被害防止対策に取り組むとともに、老朽化が進む農道や農業水利施設の計画的な維持管理・更新を行い、生産環境の保全を図ります。

令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 農業経営力の向上				
事業名		水稲生産振興事業		担当課	農政課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
本市の自然条件、土壌条件に適した水稲の栽培技術及び品種の選定等ができるよう、栽培試験調査を行うとともに、その結果を生産者、関係機関、団体と共有する。		事業計画	・ 関係機関と連携した栽培試験の計画策定及び実施 ・ 生産現場への試験結果の周知 ・ 美唄市に適した水稲優良品種の確立に向けた関係団体協議	・ 関係機関と連携した栽培試験の計画策定及び実施 ・ 生産現場への試験結果の周知 ・ 美唄市に適した水稲優良品種の確立に向けた関係団体協議	・ 関係機関と連携した栽培試験の計画策定及び実施 ・ 生産現場への試験結果の周知 ・ 美唄市に適した水稲優良品種の確立に向けた関係団体協議	
事業の内容		事業費	1,011千円	1,012千円	1,012千円	
農業改良普及センター等の関係機関団体と連携し、水稲の品種比較や肥料効果、新品種の試験栽培、栽培技術の普及・定着に向けた実証を行う。	アウトプット	指標名	水稲試験調査			
		基準値（R7）	R8	R9	R10	
		実施（4品種2系統）	実施	実施	実施	
	アウトカム	指標名	試験成績書の配布			
		基準値（R7）	R8	R9	R10	
		1回	1回	1回	1回	

展開方向		① 農業経営力の向上			
事業名	畑作生産振興事業		担当課	農政課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
水田転作作物、ハスカップ及びアスパラガス等の高収益作物の定着・産地化を推進することで、農業経営の多角化と収益性の向上を図り、将来にわたり持続可能な力強い農業構造を確立するとともに、農業者の所得を確保する。	事業計画	・ 所得確保につながる作物に対する情報提供 ・ クリーン農業の推進（イエス！クリーン登録、エコファーマー登録） ・ 苗木の購入経費の一部支援	・ 所得確保につながる作物に対する情報提供 ・ クリーン農業の推進（イエス！クリーン登録、エコファーマー登録） ・ 苗木の購入経費の一部支援	・ 所得確保につながる作物に対する情報提供 ・ クリーン農業の推進（イエス！クリーン登録、エコファーマー登録） ・ 苗木の購入経費の一部支援	
		事業費	1,661千円	1,766千円	1,766千円
事業の内容	事業費	1,661千円	1,766千円	1,766千円	
「ハスカップ」や「アスパラガス」を中心とした高収益作物への転換を促進するため、新規導入及び作付面積拡大に係る経費（苗木・資材等）の助成を行う。あわせて、関係機関と連携した試験展示栽培により安定生産技術の普及を図り、クリーン農業の推進を通じてブランド価値の高い産地形成を多角的に支援する。	アウトプット	指標名	補助対象戸数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		53戸	53戸	53戸	53戸
	アウトカム	指標名	高収益作物面積（ハスカップ・アスパラガス・しょうが・にんにく・トマト）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		487a	487a	487a	487a

展開方向		② 経営基盤の強化と人材の安定的な確保			
事業名	農業経営改善推進事業		担当課	農政課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
農業経営改善計画の認定及び実行支援を通じ、経営体の法人化や効率的な農地利用を促進することで、個々の農業経営の安定と持続可能な農業を確保することを目的とする。	事業計画	・ 農業経営改善計画等の作成の支援や計画認定業務 ・ 担い手への農地集積と調整・推進	・ 農業経営改善計画等の作成の支援や計画認定業務 ・ 担い手への農地集積と調整・推進	・ 農業経営改善計画等の作成の支援や計画認定業務 ・ 担い手への農地集積と調整・推進	
事業の内容	事業費	294千円	294千円	294千円	
関係機関・団体の連携による推進体制のもとで、基本構想の具体化に向けて、地域農業の担い手育成、農業経営の安定化及び農地の有効活用、保全活動を一体的に行う。併せて、地域農業の持続的な発展を図るために農業経営体の法人化を促進し、経営の高度化・多様化を推進する。	ア ウ ト プ ツ ト	指標名	経営改善計画認定件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		92件	92件	92件	92件
	ア ウ ト カ ム	指標名	年度末認定農業者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		445人	445人	445人	445人

展開方向		② 経営基盤の強化と人材の安定的な確保			
事業名	農業振興事業		担当課	農政課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
農業振興基金を活用して農業者自らが企画立案する研修事業などを支援し、次代の担い手となる農業者の育成を図る。	事業計画	・ 農業振興基金運営委員会の開催 ・ 農業振興基金を活用した研修事業への助成 ・ 農業振興基金を活用した補助事業の実施 ・ 新規就農フェアの开展 ・ 新規就農相談者の対応	・ 農業振興基金運営委員会の開催 ・ 農業振興基金を活用した研修事業への助成 ・ 農業振興基金を活用した補助事業の実施 ・ 新規就農フェアの开展 ・ 新規就農相談者の対応	・ 農業振興基金運営委員会の開催 ・ 農業振興基金を活用した研修事業への助成 ・ 農業振興基金を活用した補助事業の実施 ・ 新規就農フェアの开展 ・ 新規就農相談者の対応	
		事業費	13,206千円	13,206千円	13,206千円
		指標名	国内・海外後継者研修事業参加者		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
農業者等の育成に必要な調査研修、技術研修、経営能力向上研修にかかる経費の一部を農業振興基金を活用し支援する。 また、効果的・効率的な研修を集中的に行う研修生とその研修を受入する農家を農業振興基金を活用し支援する。 併せて、農業・農村づくりに創意と工夫を凝らし、特に優秀な取組を行った者や貢献した者等に対して、「美唄市農業大賞」を授与（表彰）する。	アウトプット	10件	10件	10件	
		指標名	国内・海外後継者研修の報告書件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		10件	10件	10件	10件

展開方向		③ スマート農業の推進			
事業名		美唄スマート農業推進事業		担当課	農政課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
AIやIoTを活用した農業技術の検証や省力化機械等の導入支援、または地域への普及を一体的に実施することで、新たな生産方式を確立するためのスマート農業の推進と農業のデジタル化を図り、省力化によって得られた時間を他作物の生育に活用するなどにより、農業所得を向上させることを目的とする。		事業計画	・スマート農業機械導入への経費補助 ・遠隔水管理等による省力化実証と分析 ・協議会を通じた技術普及・先進地研修 ・産学官連携による本市に適した農業技術の選定や効率的な地域課題の解決	・スマート農業機械導入への経費補助 ・遠隔水管理等による省力化実証と分析 ・協議会を通じた技術普及・先進地研修 ・産学官連携による本市に適した農業技術の選定や効率的な地域課題の解決	・スマート農業機械導入への経費補助 ・遠隔水管理等による省力化実証と分析 ・協議会を通じた技術普及・先進地研修 ・産学官連携による本市に適した農業技術の選定や効率的な地域課題の解決
事業の内容		事業費	17,297千円	17,375千円	17,375千円
農業生産現場の課題を解決する新たな生産方式を確立するための取組を支援し、農業技術のデジタル化を図るため、スマート農業機械の導入に対し補助を行うほか、産学官連携により、費用対効果の高いスマート農業の進展を目指し、農作業の省力化や効率化及びカーボンニュートラル実現を目指す。また、美唄市ICT農業推進協議会を通じて、スマート農業機械への理解を深めるための機会をつくる。	アウトプット	指標名	スマート農業機械導入補助金支給件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		13件	14件	14件	14件
	アウトカム	指標名	スマート農業機械導入補助金を活用した普及率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		41%	49%	52%	55%

展開方向		④ 生産環境の保全				
事業名		鳥獣捕獲等事業				
		担当課	農政課			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
機動的な捕獲体制の構築と防除対策を推進することで、農林業被害の最小化と市民の安全な生活環境を確保する。		事業計画	・野生鳥獣の捕獲業務や緊急銃猟等の実施。 ・美唄市鳥獣被害防止対策協議会の鳥獣被害防止対策の推進 ・野生鳥獣の捕獲許可業務の実施。 ・有害鳥獣防止用電気柵導入補助金の実施 ・鳥獣探索用ドローンの活用 ・緊急銃猟の実施に要する用具や体制の整備	・野生鳥獣の捕獲業務や緊急銃猟等の実施。 ・美唄市鳥獣被害防止対策協議会の鳥獣被害防止対策の推進 ・野生鳥獣の捕獲許可業務の実施。 ・有害鳥獣防止用電気柵導入補助金の実施 ・鳥獣探索用ドローンの活用 ・緊急銃猟の実施に要する用具や体制の整備	・野生鳥獣の捕獲業務や緊急銃猟等の実施。 ・美唄市鳥獣被害防止対策協議会の鳥獣被害防止対策の推進 ・野生鳥獣の捕獲許可業務の実施。 ・有害鳥獣防止用電気柵導入補助金の実施 ・鳥獣探索用ドローンの活用 ・緊急銃猟の実施に要する用具や体制の整備	
事業の内容		事業費	24,160千円	30,462千円	30,462千円	
北海道猟友会美唄支部や関係機関・団体との連携により人や農畜産物の被害を防止するほか、緊急銃猟の実施及びその事前準備や実施体制の整備を行うなど、地域住民の安全確保のための措置を講じる。		アウトプット	指標名	野生鳥獣捕獲頭数 (キツネ、エゾシカ、アライグマ、ヒグマ、タヌキ)		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			968頭	968頭	968頭	968頭
		アウトカム	指標名	農作物被害額の低減		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			5,681,263円	5,681,263円	5,681,263円	5,681,263円

展開方向		④ 生産環境の保全			
事業名		排水機場整備事業		担当課	農政課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
排水機場の適切な運用と計画的な整備更新により、浸水被害を未然に防止し、市民の安全な生活環境の確保と基幹産業である農業生産基盤の安定維持を図ることで、強靱で持続可能な地域社会を実現することを目的とする。		事業計画	・ 機場の適正な維持管理と定期点検の実施 ・ 長寿命化計画に基づく施設の計画的更新	・ 機場の適正な維持管理と定期点検の実施 ・ 長寿命化計画に基づく施設の計画的更新	・ 機場の適正な維持管理と定期点検の実施 ・ 長寿命化計画に基づく施設の計画的更新
		事業費	96,504千円	112,070千円	112,070千円
事業の内容					
定期点検と、老朽化した原動機やポンプ等の計画的な更新を実施する。		アウトプット	指標名	予防保全による点検・整備実施率	
			基準値 (R7)	R8	R9
			100%	100%	100%
		アウトカム	指標名	浸水被害発生件数	
			基準値 (R7)	R8	R9
			0件	0件	0件

【(9) 農業振興】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
8	環境保全型農業直接支援対策事業	農政課	7,248	7,248	7,248
9	経営所得安定対策等推進事業	農政課	22,614	22,614	22,614
10	小麦食害対策事業	農政課	1,372	1,372	1,372
11	畜産一般振興事務	農政課	171	171	171
12	中山間地域等直接支払事業	農政課	925	925	925
13	農業一般管理事務	農政課	232	242	242
14	農業経営資金利子助成事業	農政課	636	636	636
15	農地利用効率化支援事業	農政課	0	0	0
16	高校活力「食のブランド化」促進事業	農政課	1,000	1,500	1,500
17	美唄産農産物輸出促進事業	農政課	2,731	4,831	4,831
18	水利施設管理強化事業	農政課	44,521	44,521	44,521
19	多面的機能支払交付金事業	農政課	332,701	332,701	332,701
20	農業排水管理等事業	農政課	12,106	12,106	12,106
21	農業用施設災害復旧事業	農政課	100	100	100
22	農業用水路等整備費負担事業	農政課	4,810	4,810	4,810
23	農業用排水路整備事業	農政課	31,235	52,830	52,830
24	農業用明渠排水及び支派線維持管理事業	農政課	25,815	32,712	32,712
25	農道維持管理事業	農政課	6,064	7,485	7,485
26	農道整備費負担事業	農政課	17,754	17,754	17,754
27	農道離着陸場管理運営事業	農政課	3,776	3,776	3,776
28	排水機場管理運営事業	農政課	41,111	55,459	55,459
29	農業委員会事務	農業委員会	18,481	18,990	18,990
30	農業者年金基金受託事務	農業委員会	1,551	1,551	1,551
31	利用権設定等促進事業	農業委員会	727	1,575	1,575
32	中心経営体農地集積促進事業	農地整備課	145,841	122,000	108,500
33	次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業	農地整備課	54,430	54,460	84,390
34	食料・環境基盤緊急確立対策事業	農地整備課	85	85	85
35	持続的農業・農村づくり促進特別対策事業	農地整備課	750	750	750
36	ほ場整備事業	農地整備課	1,090,873	1,516,611	1,516,611
37	道営換地計画受託事業	農地整備課	5,044	10,000	6,000
38	国営換地計画受託事業	農地整備課	20,797	20,797	20,797
39	耕地利用高度化推進事業	農地整備課	12,675	11,179	8,147
40	土地改良センター運営事務	農地整備課	473	473	473
41	国営区画整理推進調査等受託事業	農地整備課	2,511	2,511	2,511
42	道営換地計画従前地調査等事業	農地整備課	6,940	4,000	1,000

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦2 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり

〔3〕移住・定住の促進

(10) 移住・定住

目 指 す 姿	都市部にはない自然や人とのつながりを強みに、生活の安心感や地域参加の機会が得られるまちとして、若者や子育て世代に選ばれる地域となっています
------------------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	助成制度を活用した移住・定住者数(累計)	助成制度を活用した移住・定住者の件数の累計で、どれだけ定着しているか測る指標	55件	300件
	生産年齢人口当たり婚姻率	美唄市における年間の婚姻件数を、生産年齢人口(15～64歳)で割って算出することで、結婚に至る割合の傾向を把握する指標	44.0%	54.0%
	ふるさと美唄応援団活動率	「ふるさとびばい応援団」へのアンケートにおいて、1年間に美唄を訪れた団員の割合で、団員がどれだけ能動的に地域との関わりを維持し、将来的な移住定住の可能性を秘めた「関係人口」として育っているかを測る指標	72.5%	82.5%

施策の展開方向

① 移住希望者への情報発信と初期支援の強化

移住希望者が美唄市の暮らしや支援制度に関心を持ち、移住を現実的に検討できるよう、移住フェアや相談窓口のほか、HP・SNS・パンフレットなどを活用し、暮らしの魅力や制度を分かりやすく発信します。また、住まいに関する初期支援に加え、短期滞在プログラム「ちょっと暮らし」や現地案内を通じて、移住前に地域の雰囲気を感じ取れる機会を提供し、移住への不安の軽減や意欲を後押しします。

② Uターン・若者層の地元回帰促進

進学や就職で都市部へ転出した若者が将来的に美唄へのUターンを前向きに検討できるよう、離れていても地元と関われる情報提供や交流の仕組みを整備し、再移住に際しての支援制度や暮らしの魅力をわかりやすく発信します。

③ 移住後の地域定着と関係支援

移住者が地域の中に安心して暮らせる居場所や人とのつながりを築き、孤立せず、地域活動や生活に継続的に関われるよう、定住支援員や協議会などを通じた地域との橋渡し、交流機会の提供、住まいの確保支援や空き家利活用など、暮らしと関係構築の両面から支援を行います。

④ 在住者の定住継続支援

現在美唄市に在住している、住民が引き続き住み続けてもらえるよう、住宅購入費等の経済的支援を行い、住民の定住を支援します。

⑤ 結婚を契機とした定住促進

結婚を希望・予定する若年層に対して結婚をきっかけに美唄での新生活に前向きになり、地域に定住できるよう、結婚支援事業者との連携による出会いの場の創出を通じて、結婚を契機とした若年層の定住を総合的に後押しします。

⑥ 関係人口の拡大と関係性強化

市外在住者に対して美唄に興味を持ってもらい、実際にまちを訪れてもらえるよう、イベントやSNSを通じて美唄の魅力を発信し、遠方にも参加できる企画・イベント等で関心を高め、まちとの継続的なつながりづくりを進めます。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 移住希望者への情報発信と初期支援の強化			
事業名	移住・定住促進事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
移住相談や移住情報の発信、移住、定住への助成金を交付などを実施することで移住者の増加及び転出の抑制を図る。	事業計画	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	
事業の内容	事業費	48,648千円	52,172千円	52,172千円	
移住検討段階からのワンストップ相談窓口運営、お試し移住体験（ちょっと暮らし）の提供及び移住や定住のための各種助成等を行う。併せて、移住後のフォローアップや地域住民との交流事業を実施し、孤立防止と地域定着を支援する。	アウトプット	指標名	移住相談件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		95	100	105	110
	アウトカム	指標名	移住・定住促進助成件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		42件	47件	52件	57件

展開方向		② Uターン・若者層の地元回帰促進			
事業名		移住・定住促進事業			
		担当課	広報情報推進課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
移住相談や移住情報の発信、移住、定住への助成金を交付などを実施することで移住者の増加及び転出の抑制を図る。		事業計画	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ
事業の内容		事業費	48,648千円	52,172千円	52,172千円
移住検討段階からのワンストップ相談窓口運営、お試し移住体験（ちょっと暮らし）の提供及び移住や定住のための各種助成等を行う。併せて、移住後のフォローアップや地域住民との交流事業を実施し、孤立防止と地域定着を支援する。	アウトプット	指標名	移住相談件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		95	100	105	110
	アウトカム	指標名	移住・定住促進助成件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		42件	47件	52件	57件

展開方向		③ 移住後の地域定着と関係支援			
事業名		移住・定住促進事業			
		担当課	広報情報推進課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
移住相談や移住情報の発信、移住、定住への助成金を交付などを実施することで移住者の増加及び転出の抑制を図る。		事業計画	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ
事業の内容		事業費	48,648千円	52,172千円	52,172千円
移住検討段階からのワンストップ相談窓口運営、お試し移住体験（ちょっと暮らし）の提供及び移住や定住のための各種助成等を行う。併せて、移住後のフォローアップや地域住民との交流事業を実施し、孤立防止と地域定着を支援する。	アウトプット	指標名	移住相談件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		95	100	105	110
	アウトカム	指標名	移住・定住促進助成件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		42件	47件	52件	57件

展開方向		④ 在住者の定住継続支援			
事業名	移住・定住促進事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
移住相談や移住情報の発信、移住、定住への助成金を交付などを実施することで移住者の増加及び転出の抑制を図る。	事業計画	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	
事業の内容	事業費	48,648千円	52,172千円	52,172千円	
移住検討段階からのワンストップ相談窓口運営、お試し移住体験（ちょっと暮らし）の提供及び移住や定住のための各種助成等を行う。併せて、移住後のフォローアップや地域住民との交流事業を実施し、孤立防止と地域定着を支援する。	アウトプット	指標名	移住相談件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		95件	100件	105件	110件
	アウトカム	指標名	移住・定住促進助成件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		42件	47件	52件	57件

展開方向		⑤ 結婚を契機とした定住促進				
事業名		結婚・新生活等支援事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
出会いの機会創出から成婚に至るまでの切れ目ない支援を行い、未婚化・晩婚化の解消と少子化対策に寄与する。		事業計画	・成婚サポート事業の制度周知 ・成婚サポート事業の登録促進 ・成約後の祝い金の支給	・成婚サポート事業の制度周知 ・成婚サポート事業の登録促進 ・成約後の祝い金の支給	・成婚サポート事業の制度周知 ・成婚サポート事業の登録促進 ・成約後の祝い金の支給	
事業の内容		事業費	5,977千円	5,977千円	5,977千円	
婚活支援事業者への登録料等を公費負担（委託）することで、安全で安価な出会いの場を提供する。併せて、本事業を通じて成婚に至ったカップルに対し祝い金を支給し、婚姻に向けた自助努力を後押しする成果重視型の支援へと転換する。		アウトプット	指標名	成婚サポート事業活用人数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			4件	5件	6件	7件
		アウトカム	指標名	成婚サポート事業による成婚数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			-	1組	2組	3組

展開方向		⑥ 関係人口の拡大と関係性強化				
事業名		ふるさと美唄応援団事業		担当課	企画財政課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
ふるさと美唄応援団の組織運営と交流機会の創出により、本市を継続的に応援する「関係人口」の深化を促し、将来的なふるさと納税の増収や移住・定住の機会とすることで、地域経済の活性化と持続可能なまちづくりに寄与する。		事業計画	・ 応援団員、店舗の新規登録 ・ 既存応援店舗の整理 ・ 美唄の観光や農産物などのPR	・ 応援団員、店舗の新規登録 ・ 既存応援店舗の整理 ・ 美唄の観光や農産物などのPR	・ 応援団員、店舗の新規登録 ・ 既存応援店舗の整理 ・ 美唄の観光や農産物などのPR	
事業の内容		事業費	5,726千円	5,726千円	5,726千円	
関係人口の拡大・深化を目的として、都市圏でのPRイベントや市内での団員交流会を企画運営するほか、メルマガ等による戦略的な情報発信を実施する。		アウトプット	指標名	SNS発信		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			48回	60回	70回	80回
		アウトカム	指標名	応援団の団員合計数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			1,960人	2,050人	2,200人	2,500人

挑戦3 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり

〔1〕安心して子育てできる環境の充実

(11) 子ども・子育て支援

目指す姿	子どもたちが夢や希望を持って健やかに育ち、子ども・子育てを地域全体で支える環境が整っています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	子育てが地域で支えられていると感じる保護者の割合	アンケート調査で子育てが地域で支えられていると感じると回答した保護者の割合		- 令和8年度より向上
	子どもが健やかに生まれ育つことができると感じる保護者の割合	アンケート調査で子どもが健やかに生まれ育つことができると感じると回答した保護者の割合		- 令和8年度より向上
	子どもや子育て家庭の状況に応じた支援に満足している保護者の割合	アンケート調査で子どもや子育て家庭の状況に応じた支援に満足していると回答した保護者の割合		- 令和8年度より向上

施策の展開方向

① 子ども・子育てを地域で応援する環境づくり

子育て家庭にとって働きやすい環境が確保され、安心して子育てができる質の高い保育や放課後児童施設など、子育て支援サービスなどの充実を図るとともに、子どもの居場所づくりを推進し、子育てがしやすい環境づくりや子育てネットワークづくりなど地域全体で子どもや子育てを支える仕組みを構築します。

② 健やかに生まれ育つことができる環境づくり

子育て家庭が安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに成長することができるよう、妊娠から子育て期まで切れ目のない相談支援や健康診査、DXを活用した情報発信等の充実、食育の推進や学力の向上、子どもの健全育成など、地域や多様な団体等とも連携しながら、支援体制のさらなる充実を図ります。

③ 子どもや子育て家庭の状況に応じた支援

障がい特性や発達に応じて適切な支援が受けられることで保護者の育児不安が軽減され、また、子育て家庭にとっては、必要な経済的支援が得られることで生活の安定・向上が図られることから、関係機関と連携しながら育児不安に対する相談体制の充実を図るとともに、国や市独自の取組により経済的負担感の軽減を図ります。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 子ども・子育てを地域で応援する環境づくり			
事業名	市立保育所管理運営事業		担当課	こども未来課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
児童福祉法に基づき、就労等により保育を必要とする児童に対し、安全かつ質の高い保育環境を提供するとともに、特別な配慮を要する児童の受入れや地域子育て支援の中核拠点としての機能を果たすことで、児童の健全育成と保護者の就労支援を実現する。	事業計画	・ ピパの子保育園の保育事業及び延長保育事業の運営管理 ・ 保育園設備の保安管理	・ ピパの子保育園の保育事業及び延長保育事業の運営管理 ・ 保育園設備の保安管理	・ ピパの子保育園の保育事業及び延長保育事業の運営管理 ・ 保育園設備の保安管理	
事業の内容	事業費	65,491千円	69,869千円	69,869千円	
ピパの子保育園において、国の配置基準を遵守した適正な職員配置の下、年齢や発達段階に応じた養護と教育を一体的に行う。	アウトプット	指標名	月平均児童数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		108.9人	130人	130人	130人
	アウトカム	指標名	年度内待機児童数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		0人	0人	0人	0人

展開方向		① 子ども・子育てを地域で応援する環境づくり			
事業名	放課後児童対策事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
共働き等で日中保護者がいない家庭の児童が、放課後などに安全な場所で、保護者が迎えに来るまで過ごすことができ、保護者が安心して働くことができる環境を整えるため、放課後児童施設の運営を行う。	事業計画	・ 児童厚生員による生活指導及び遊びの提供 ・ 安全・安心な施設環境の維持と衛生管理	・ 児童厚生員による生活指導及び遊びの提供 ・ 安全・安心な施設環境の維持と衛生管理	・ 児童厚生員による生活指導及び遊びの提供 ・ 安全・安心な施設環境の維持と衛生管理	
事業の内容	事業費	67,539千円	75,000千円	75,000千円	
放課後児童施設において、児童厚生員が入所児童に対して保護者が迎えに来るまで、適切な遊びの指導や生活習慣の形成を支援する。	アウトプット	指標名 入所定員			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		180人	180人	180人	180人
	アウトカム	指標名 入所希望者の充足率			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%

展開方向		② 健やかに生まれ育つことができる環境づくり				
事業名		乳幼児健康増進事業		担当課	健康推進課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
乳幼児期から生活習慣の確立を目指した支援や疾病の早期発見・早期支援を行うことで、こどもの健やかな成長・発達を促し、保護者が安心して子育てできる。		事業計画	・各種健診の実施 (5歳児健診新規実施) ・乳児期から生活習慣病に関する啓発を実施 ・新生児聴覚検査費用(全額)の助成 ・1か月児健康診査支援事業の実施	・各種健診の実施 ・乳児期から生活習慣病に関する啓発を実施 ・新生児聴覚検査費用(全額)の助成 ・1か月児健康診査支援事業の実施	・各種健診の実施 ・乳児期から生活習慣病に関する啓発を実施 ・新生児聴覚検査費用(全額)の助成 ・1か月児健康診査支援事業の実施	
事業の内容		事業費	4,492千円	4,492千円	4,492千円	
市内の新生児・乳幼児を対象に、保健師・管理栄養士・歯科衛生士等の専門職が連携し、各健康診査を通じた個別指導や生活習慣病の啓発を実施する。		アウトプット	指標名	実施回数		
			基準値 (R7)	R8	R9	R10
			35回	35回	35回	35回
		アウトカム	指標名	受診率		
			基準値 (R7)	R8	R9	R10
			98.5%	100%	100%	100%

展開方向		② 健やかに生まれ育つことができる環境づくり				
事業名		青少年健全育成事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
青少年の健全育成を図るため、市内の児童・生徒が参加できる事業を実施し、子ども会活動の活性化や地域との交流を図るとともに、体力の向上や学習機会を提供する。		事業計画	・キッズ漢字検定 ・キッズアートスクール ・放課後児童の居場所作り ・児童館管理運営 ・青少年問題協議会の開催	・キッズ漢字検定 ・キッズアートスクール ・放課後児童の居場所作り ・児童館管理運営 ・青少年問題協議会の開催	・キッズ漢字検定 ・キッズアートスクール ・放課後児童の居場所作り ・児童館管理運営 ・青少年問題協議会の開催	
事業の内容		事業費	1,074千円	2,100千円	2,100千円	
市内児童・生徒を対象に、放課後等の居場所提供（児童館運営ほか）や、感性・知性を刺激する専門講座（漢字検定・キッズアート等）を実施する。		アウトプット	指標名	キッズアートスクール開催回数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			1回	1回	1回	1回
		アウトカム	指標名	キッズアートスクール参加者満足率		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

展開方向		③ 子どもや子育て家庭の状況に応じた支援				
事業名		びばい・おいしい給食事業				
		担当課	学校給食センター			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
学校給食費を無償化し、子育て世帯の経済的負担を軽減することで、安心して出産・育児ができる環境を整備する。あわせて、美唄産及び道内産の食材（地場産物）をより多く使用した学校給食を提供することにより、地元で生産される農畜産物等に対する児童生徒の理解を深め、食農教育の一層の充実に資することを目的とする。		事業計画	・ふるさと給食を通じた地産地消の推進 ・保護者等向けの試食会 ・栄養教諭の活用による食に関する指導の充実	・ふるさと給食を通じた地産地消の推進 ・保護者等向けの試食会 ・栄養教諭の活用による食に関する指導の充実	・ふるさと給食を通じた地産地消の推進 ・保護者等向けの試食会 ・栄養教諭の活用による食に関する指導の充実	
事業の内容		事業費	91,628千円	97,938千円	97,938千円	
市内の小中学校を対象に、学校給食の購入費用を市が全額負担し、完全無償化を継続実施する。		アウトプット	指標名	学校給食についてのアンケート実施小中学校		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			4校	4校	4校	4校
		アウトカム	指標名	学校給食についてのアンケートで給食はおいしいと回答した割合		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			100%	100%	100%	100%

展開方向		③ 子どもや子育て家庭の状況に応じた支援			
事業名		子ども医療費助成事業			
		担当課	国保年金課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
子育て世帯の経済的負担を大幅に軽減することで、疾病等の早期発見・早期治療を促進し、次代を担う児童の健全な育成と健康保持を図るとともに、安心して子どもを産み育てられる環境を整備する。		事業計画	・受給者証の交付（出生・転入時）及び毎年の自動更新処理 ・医療費助成給付事務（国保連合会レセプト審査・支払及び償還払い対応） ・学校等の管理下における災害共済給付制度との優先適用確認・調整 ・第三者行為（交通事故等）や高額療養費等に係る返還請求・調整事務	・受給者証の交付（出生・転入時）及び毎年の自動更新処理 ・医療費助成給付事務（国保連合会レセプト審査・支払及び償還払い対応） ・学校等の管理下における災害共済給付制度との優先適用確認・調整 ・第三者行為（交通事故等）や高額療養費等に係る返還請求・調整事務	・受給者証の交付（出生・転入時）及び毎年の自動更新処理 ・医療費助成給付事務（国保連合会レセプト審査・支払及び償還払い対応） ・学校等の管理下における災害共済給付制度との優先適用確認・調整 ・第三者行為（交通事故等）や高額療養費等に係る返還請求・調整事務
事業の内容		事業費	48,479千円	48,479千円	48,479千円
0歳から18歳到達年度末までの児童を対象に、入院・通院等に係る保険診療自己負担分を全額助成する。原則として医療機関窓口での支払いを不要とする「現物給付」を実施し、保護者の利便性向上と一時的な費用負担の解消を図るとともに、学校管理下での災害共済給付等、他制度との給付調整を適正に行う。	アウトプット	指標名	受給件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		17,602件	21,923件	21,923件	21,923件
	アウトカム	指標名	1件当たりの助成額		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2,485円	2,156円	2,156円	2,156円

【(11)子ども・子育て支援】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
7	へき地保育所管理運営事業	こども未来課	75,594	76,889	76,889
8	一時保育事業	こども未来課	5,916	5,916	5,916
9	子育て支援センター管理運営事業	こども未来課	28,345	29,051	29,051
10	子育て支援センター整備事業	こども未来課	3,501	0	0
11	子育て地域ささえあい事業	こども未来課	126	126	126
12	障がい児等保育事業	こども未来課	14,991	14,991	14,991
13	認定こども園管理運営事業	こども未来課	24,832	26,082	26,082
14	病児保育室管理運営事業	こども未来課	14,207	14,207	14,207
15	こども家庭センター運営事業	こども未来課・健康推進課	22,138	22,138	22,138
16	こども家庭センター開設整備事業	こども未来課・健康推進課	7,446	0	0
17	児童手当支給事業	こども未来課	228,100	228,100	228,100
18	児童扶養手当支給事業	こども未来課	61,487	61,487	61,487
19	助産施設事業	こども未来課	1,171	1,221	1,221
20	障がい児居宅生活支援費給付事業	こども未来課	161,169	161,788	161,788
21	乳児等通園支援事業	こども未来課	1,693	1,693	1,693
22	認可外保育施設保育料補助事業	こども未来課	1,200	1,200	1,200
23	母子・父子家庭等支援事業	こども未来課	1,940	1,940	1,940
24	幼児保育無償化実施事業	こども未来課	1,980	1,980	1,980
25	育成医療給付事業	こども未来課	263	263	263
26	妊産婦健康増進事業	健康推進課	5,549	5,549	5,549
27	親子の健康づくり事業	健康推進課	334	334	334
28	不妊治療費助成事業	健康推進課	1,852	1,852	1,852
29	妊婦のための支援給付交付金事業	健康推進課	5,523	5,523	5,523
30	私立幼稚園給食費助成事業	学務課	2,672	2,672	2,672
31	私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業	学務課	96,420	96,420	96,420
32	幼児教育無償化実施事業	学務課	1,491	1,491	1,491
33	私立幼稚園一時預かり事業	学務課	4,107	4,107	4,107
34	美唄市子ども会育成連絡協議会支援事業	生涯学習課	100	450	450
35	美唄市青少年野外教育活動補助事業	生涯学習課	200	500	500

※ 施設の状態等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦3 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり

〔2〕生きる力を育む教育と次代を担う人材育成

(12) 平和施策

目指す姿	平和を願い、考える機会を持ち続け、子どもから高齢者まで広い世代へ平和の大切さが行き渡っている
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	平和祈念行事への参加者数	市が開催する平和祈念行事に参加した市民の人数。市民が平和について考える機会を提供し、平和施策を継続的に推進する効果を測る指標	640人	715人
	戦没者追悼式への参加者数	戦没者追悼式に参加した市民の人数。戦争の記憶を風化させず、平和を希求する思いを後世に伝える取組の効果を測る指標	70人	70人

施策の展開方向

① 啓発活動と協働による取組

子どもから高齢者まで戦争の恐ろしさや歴史の教訓を風化させることなく平和の願いが広い世代へ行き渡っていくよう平和図書コーナーの開設、平和記録映画上映、被爆体験伝承講話など平和祈念行事を展開します。

② 他都市との連携

市民に対して世界の平和を願う国内外の都市との連携による核兵器のない平和な世界の実現に向け、署名活動などを展開します。

③ 戦没者追悼式の挙行

戦没者及び戦没者遺族に対して追悼の誠を捧げるため継続して戦没者追悼式を開催します。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 啓発活動と協働による取組				
事業名		平和祈念事業				
		担当課	総務課			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
平和祈念行事の開催により、平和について考える機会を確保し、核兵器廃絶と世界平和を願う市民の輪を広げる。		事業計画	・原爆パネル展、平和ポスター展及び平和映画上映会等の企画・運営 ・平和図書コーナーの設置及び被爆体験伝承講話等の平和学習の推進 ・平和首長会議との連携及び核兵器廃絶に向けた署名・啓発活動	・原爆パネル展、平和ポスター展及び平和映画上映会等の企画・運営 ・平和図書コーナーの設置及び被爆体験伝承講話等の平和学習の推進 ・平和首長会議との連携及び核兵器廃絶に向けた署名・啓発活動	・原爆パネル展、平和ポスター展及び平和映画上映会等の企画・運営 ・平和図書コーナーの設置及び被爆体験伝承講話等の平和学習の推進 ・平和首長会議との連携及び核兵器廃絶に向けた署名・啓発活動	
事業の内容		事業費	28千円	28千円	28千円	
核兵器廃絶と世界平和の実現に向け、ポスター展、平和図書コーナー、平和映像作品上映会等の平和祈念事業を実施する。		アウトプット	指標名	平和祈念行事開催日数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			3日	3日	3日	3日
		アウトカム	指標名	平和祈念行事への参加者数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			640人	655人	670人	685人

展開方向		② 他都市との連携			
事業名	平和祈念事業		担当課	総務課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
平和祈念行事の開催により、平和について考える機会を確保し、核兵器廃絶と世界平和を願う市民の輪を広げる。	事業計画	・原爆パネル展、平和ポスター展及び平和映画上映会等の企画・運営 ・平和図書コーナーの設置及び被爆体験伝承講話等の平和学習の推進 ・平和首長会議との連携及び核兵器廃絶に向けた署名・啓発活動	・原爆パネル展、平和ポスター展及び平和映画上映会等の企画・運営 ・平和図書コーナーの設置及び被爆体験伝承講話等の平和学習の推進 ・平和首長会議との連携及び核兵器廃絶に向けた署名・啓発活動	・原爆パネル展、平和ポスター展及び平和映画上映会等の企画・運営 ・平和図書コーナーの設置及び被爆体験伝承講話等の平和学習の推進 ・平和首長会議との連携及び核兵器廃絶に向けた署名・啓発活動	
事業の内容	事業費	28千円	28千円	28千円	
核兵器廃絶と世界平和の実現に向け、ポスター展、平和図書コーナー、平和映像作品上映会等の平和祈念事業を実施する。	アウトプット	指標名	平和祈念行事開催日数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		3日	3日	3日	3日
	アウトカム	指標名	平和祈念行事への参加者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		640人	655人	670人	685人

展開方向		③ 戦没者追悼式の举行		
事業名		遺家族等援護事務		
事業の目的		区分	R8	R9
戦傷病者戦没者遺族等援護法等に基づき、各種給付金の請求手続きを適正かつ迅速に国へ進達し、遺族等の権利保護と生活の安定に寄与する。併せて、戦没者への追悼と恒久平和を祈念する場を厳粛に設け、悲慘な戦争の記憶を風化させることなく次世代へ継承する。		事業計画	・ 特別弔慰金・恩給等の請求受付及び進達 ・ 戦没者追悼式の開催 ・ 戦傷病者手帳の交付等の援護事務	・ 特別弔慰金・恩給等の請求受付及び進達 ・ 戦没者追悼式の開催 ・ 戦傷病者手帳の交付等の援護事務
事業の内容		事業費	433千円	433千円
戦没者遺族等に対する特別弔慰金や恩給、戦傷病者への補装具支給等に関する相談・受付及び進達事務を行うとともに、美唄市戦没者追悼式を挙行し、全市民を代表して戦没者の冥福を祈るとともに、遺族の心の安寧と平和意識の醸成を図る。	アウトプット	指標名	戦没者追悼式回数	
		基準値 (R7)	R8	R9
		1回	1回	1回
	アウトカム	指標名	戦没者追悼式参加人員	
		基準値 (R7)	R8	R9
		60人	60人	60人

空白のページ

挑戦3 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり

〔2〕生きる力を育む教育と次代を担う人材育成

(13) 学校教育

目指す姿	◆すべての子どもが、郷土愛を育みながら、学力・体力・心がバランスよく育まれる環境が整っています ◆学校・家庭・地域が連携し、子どもの多様な学びと挑戦を支えています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	全国学力・学習状況調査の平均正答率	学力の定着度を「全国学力・学習状況調査」の平均正答率で測る指標（市内と全国との比較で、全国平均を0とした場合）	小学校-8.6% 中学校-7.8%	小学校 0% 中学校 0%
	全国体力・運動能力、運動習慣等の体力合計点	体力や運動能力の状況を「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点で測る指標（市内と全国との比較で、全国平均を50とした場合）	小学校男子48.9点 女子51.6点 中学校男子48.2点 女子49.2点	小学校男子50.0点 女子52.0点 中学校男子50.0点 女子50.0点
	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙で、「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合	小学校-10.6% 中学校-5.6%	小学校 0% 中学校 0%

施策の展開方向

① 学力と体力を育む教育の推進

児童生徒が基礎的・基本的な学力を着実に身につけるとともに、学習習慣や運動習慣が日常に根付き、自ら学び・体を動かす意欲を高められる状態となるよう、全国学力・学習状況調査や全国体力調査の結果を活用した指導改善を進めてまいります。また、児童生徒が自ら課題を見つけ、解決する力を育み、グローバル社会で活躍できるよう、探究的学習や英語教育の充実のほか、家庭学習や放課後学習の支援に努めます。

② 教職員の働き方改革

教職員が子どもと向き合う時間や自らの学びを深める時間の確保ができる環境が整備され、自らのスキルアップや教育活動の質向上に、より努められる状態となるよう、ICTを活用した校務の効率化を推進するとともに、部活動の地域移行を進め、指導者や練習場所の確保など課題解決に取り組めます。

③ 郷土愛を育む特色ある教育の推進

児童及び教職員が郷土への誇りと愛着を深め、豊かな心や社会性、主体性を備えた子どもが育つ状態となるよう、小学校の「農業科」を核に、農業者や地域住民、高校生と連携した体験的な学習のほか、本市の教育資源や地域の歴史を学ぶ探究活動、有形・無形指定文化財の紹介や体験学習などを通して、地域全体でふるさと教育を推進します。さらに、中学校では地元企業の職場体験や高校との交流などのキャリア教育を通して、本市の魅力を育む取組を推進します。

④ 子どもの安心と心の居場所づくり

児童生徒一人ひとりが心の居場所を感じながら学ぶことができる環境が整備され、困難を抱える子どもへの適切な支援が行き届いている状態となるよう、組織的な生徒指導やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる相談体制を継続・強化するとともに、教育支援センター及び校内教育支援センターの活用を進めます。さらに、未然防止に向けた啓発活動や、子どもが安心して過ごせる居場所づくりを推進し、心に寄り添う支援体制の充実を図ります。

⑤ 快適で安全な環境づくり

児童生徒及び教職員の学習・職務環境が整備され施設の耐久性や安全性が確保されることで、児童生徒と教職員が安心して学び、働ける快適な教育環境が実現されている状態となるよう、施設の老朽化や環境変化に対応した計画的な改修工事を進めるとともに、ICT教育環境の充実や学習空間の改善を図ります。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向					① 学力と体力を育む教育の推進				
事業名		学力向上プロジェクト推進事業			担当課		指導室		
事業の目的		区 分		R8		R9		R10	
子どもが豊かな人生を切り拓いていく上で、必要な資質・能力の育成に向け、児童生徒の学習状況等を把握するとともに、教員の資質向上・授業力向上の取組により確かな学力の定着を図る。		事業計画		・標準学力検査の実施（小1～中2） ・知能検査の実施（小2、小5、中1） ・Hyper-QUの実施（小1～中3） ・教職員研修 ・公開研究会開催 ・確かな学力育成プラン・家庭学習の手引きの作成		・標準学力検査の実施（小1～中2） ・知能検査の実施（小2、小5、中1） ・Hyper-QUの実施（小1～中3） ・教職員研修 ・公開研究会開催 ・確かな学力育成プラン・家庭学習の手引きの作成		・標準学力検査の実施（小1～中2） ・知能検査の実施（小2、小5、中1） ・Hyper-QUの実施（小1～中3） ・教職員研修 ・公開研究会開催 ・確かな学力育成プラン・家庭学習の手引きの作成	
事業の内容		事業費		26,388千円		26,388千円		26,388千円	
小中学校の全児童生徒を対象に学力・知能等の検査を定期実施する。得られた多角的なデータの分析を基に、「確かな学力育成プラン」を作成し、授業改善の推進を図るとともに、教職員の研修を支援する。		アウトプット	指標名	分析実施回数					
			基準値（R7）	R8		R9		R10	
			1回	1回		1回		1回	
		アウトカム	指標名	標準学力検査（国語・算数・数学）の偏差値の平均 ※小4・5・6、中1・2					
			基準値（R7）	R8		R9		R10	
			47	47		47		47	

展開方向		② 教職員の働き方改革			
事業名	部活動地域移行推進事業			担当課	学務課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
「改革実行期間」（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度） 休日については、改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。		事業計画	・ 検討協議会開催 ・ 地域展開等にかかるロードマップ、方針作成 ・ ガイドラインの作成、運用 ・ 次年度以降の体制整備	・ 部活動指導員を活用した休日部活動の地域展開（一部） ・ ガイドラインの作成、運用 ・ 次年度以降の体制整備	・ 部活動指導員を活用した休日部活動の地域展開（一部） ・ ガイドラインの作成、運用 ・ 次年度以降の体制整備
事業の内容		事業費	657千円	4,689千円	4,689千円
美唄市部活動の地域移行検討協議会での意見を踏まえ、地域展開の方向性を検討する。	アウトプット	指標名	学校部活動の地域展開等を検討する部活動数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		16	16	16	13
	アウトカム	指標名	休日の地域展開等に着手した部活動の割合		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	0%	20%	40%

展開方向		③ 郷土愛を育む特色ある教育の推進		
事業名		地域と暮らしに学ぶ「農業科」推進事業		
事業の目的		区 分	R8	R9
基幹産業である農業の教育的効果を生かし、農業の実体験活動を重視した「食農教育」を通じて、児童生徒等の「豊かな心」「社会性」「主体性」を育み、子どもたちの将来にわたる生きる力につなげる。		事業計画	・稲作体験 田植え、生育観察、稲刈り、脱穀、収穫祭 ・小中学校学校菜園体験 ・地域と暮らしに学ぶ「農業科」推進事業シンポジウム ※協力：美唄尚栄高等学校、シルバー人材センター	・稲作体験 田植え、生育観察、稲刈り、脱穀、収穫祭 ・小中学校学校菜園体験 ・地域と暮らしに学ぶ「農業科」推進事業シンポジウム ※協力：美唄尚栄高等学校、シルバー人材センター
			・稲作体験 田植え、生育観察、稲刈り、脱穀、収穫祭 ・小中学校学校菜園体験 ・地域と暮らしに学ぶ「農業科」推進事業シンポジウム ※協力：美唄尚栄高等学校、シルバー人材センター	・稲作体験 田植え、生育観察、稲刈り、脱穀、収穫祭 ・小中学校学校菜園体験 ・地域と暮らしに学ぶ「農業科」推進事業シンポジウム ※協力：美唄尚栄高等学校、シルバー人材センター
事業の内容		事業費	1,392千円	1,392千円
水稻や野菜の栽培から収穫・加工までの実体験に加え、成果発表を行うシンポジウムを実施し、生産から消費に至る食の循環と郷土の基幹産業に対する多角的な理解を深化させる。		指標名	農業体験実施校（園）	
		基準値（R7）	R8	R9
		2校・2園	2校・2園	2校・2園
		指標名	地域と暮らしに学ぶ「農業科」推進事業シンポジウム開催	
		基準値（R7）	R8	R9
		1回	1回	1回

展開方向		④ 子どもの安心と心の居場所づくり		
事業名		不登校児童生徒指導対策事業		
事業の目的		区 分	R8	R9
教育支援センター（旧適応指導教室）ならびに中学校区に校内教育支援センターを設置し、登校意欲が高まるよう不登校児童生徒へのカウンセリングや支援を行う。併せて、学校・家庭の連携につなげるため、スクールソーシャルワーカーを配置して抱えている課題の解決に努める。		事業計画	・スクールソーシャルワーカーによる各学校巡回 ・不登校の児童生徒の個別指導	・スクールソーシャルワーカーによる各学校巡回 ・不登校の児童生徒の個別指導
			・スクールソーシャルワーカーによる各学校巡回 ・不登校の児童生徒の個別指導	・スクールソーシャルワーカーによる各学校巡回 ・不登校の児童生徒の個別指導
事業の内容		事業費	15,179千円	15,179千円
美唄市・奈井江町・浦臼町の広域連携により「教育支援センター」を運営し、カウンセリングや学習支援読を実施する。また、中学校区への校内教育支援センター支援員の配置、スクールソーシャルワーカーによる家庭・学校・関係機関のネットワーク構築等により、不登校の未然防止や早期支援を行う。		指標名	通級児童生徒数	
		基準値（R7）	R8	R9
		10人	10人	10人
		指標名	学校復帰生徒率	
		基準値（R7）	R8	R9
		70%	30%	30%

展開方向		⑤ 快適で安全な環境づくり			
事業名		小学校大規模改修事業		担当課	学務課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
施設を改修することで、学習環境の改善と施設の耐用年数の向上を促し、児童及び教員の安全で安心な教育環境を確保する。		事業計画	・ 個別施設計画に基づく改修優先順位の管理	・ 個別施設計画に基づく改修優先順位の管理	・ 個別施設計画に基づく改修優先順位の管理
事業の内容		事業費	0千円	0千円	0千円
学校施設の建築年次や経年変化等により、老朽化が進む校舎や屋体などを計画的に改修し、安全で安心な教育環境を確保する。	アウトプット	指標名	施設改修進捗率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%
	アウトカム	指標名	改修により安全が確保された学校数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2校	2校	2校	2校

展開方向		⑤ 快適で安全な環境づくり				
事業名		中学校大規模改修事業		担当課	学務課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
施設を改修することで、学習環境の改善と施設の耐用年数の向上を促し、生徒及び教員の安全で安心な教育環境を確保する。		事業計画	・ 個別施設計画に基づく改修優先順位の管理	・ 個別施設計画に基づく改修優先順位の管理	・ 個別施設計画に基づく改修優先順位の管理	
事業の内容		事業費	134,398千円	0千円	0千円	
施設の経年劣化に伴い、必要な施設改修工事等を行う。		アウトプット	指標名	施設改修進捗率		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			100%	100%	100%	100%
		アウトカム	指標名	改修により安全が確保された施設数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			2校	2校	2校	2校

【(13)学校教育】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
7	特別支援教育振興事業	指導室	73,203	73,203	73,203
8	小学校コンピュータ教育事業	学務課	13,688	14,831	14,831
9	中学校コンピュータ教育事業	学務課	11,510	7,973	12,653
10	教育委員会運営事務	学務課	4,383	5,330	5,330
11	教師用教科書・指導書購入事業	学務課	992	992	992
12	外国人講師小中学校派遣事業	指導室	16,945	16,945	16,945
13	就学援助事業	学務課	23,925	26,691	26,691
14	学校保健管理事業	学務課	7,707	7,707	7,707
15	学校事故・災害対策事務	学務課	886	886	886
16	美唄市文化・体育大会派遣補助事業	学務課	4,500	4,500	4,500
17	スクールバス運行維持管理事業	学務課	78,167	87,784	87,784
18	スクールバス更新事業	学務課	0	5,875	5,875
19	空知教育センター組合事業	学務課	946	946	946
20	教職員健康診断事務	学務課	1,221	1,221	1,221
21	小学校管理運営事業	学務課	53,903	55,915	55,915
22	小学校教材購入事業	学務課	2,618	5,518	5,518
23	小学校維持修繕事業	学務課	4,248	5,836	5,836
24	中学校管理運営事業	学務課	39,105	39,105	39,105
25	中学校教材購入事業	学務課	1,255	1,255	1,255
26	中学校維持修繕事業	学務課	4,821	5,562	5,562
27	教職員住宅維持修繕事業	学務課	395	395	395
28	通学用自転車ヘルメット購入費補助事業	学務課	311	311	311
29	学校外活動費助成事業	学務課	3,640	3,880	4,060
30	通級指導教室事業	指導室	261	261	261
31	学校給食センター管理運営事業	学校給食センター	56,406	56,406	56,406
32	学校給食センター整備事業	学校給食センター	2,555	20,000	20,000

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦3 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり

〔3〕文化・芸術を育む活動と生涯学習・スポーツの振興

(14) 生涯学習・スポーツ

目指す姿	◆誰もがいつでも、どこでも自らの意志によって、学ぶことができ、自らの知識や能力を社会に還元できる体制が整っています ◆日常的に運動を取り入れ、心身ともに健康な市民が増えています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	生涯学習施設の利用や情報を提供することにより活動の機会が得られているかを見る指標	35.8%	40.0%
	社会教育・スポーツ施設の年間利用者数	市民会館や公民館、図書館などの社会教育施設、総合体育館や温水プールなどのスポーツ施設の利用状況を測る指標	138,172人	150,000人
	1日30分以上週2回以上の運動習慣を身に付けている市民の割合	健康維持やスポーツに関心があり、運動を意欲的に行っている人の割合を測る指標	37.9%	50.0%

施策の展開方向

① 学習機会の提供及び地域資源や人材の活用

学びを希望する市民が本市にある様々な地域資源や人材を活用し、生涯にわたって学び続け、その学びの成果をまちづくりに生かすことができるよう、学びの「インプット」と「アウトプット」が循環する地域社会づくりを推進します。

② 社会教育・スポーツ施設の充実

安全対策や利便性の向上に取り組むとともに、公共施設等個別施設計画に基づき、計画的に施設の適切な保全整備に努めます。

③ スポーツ活動の推進

市民の体力向上や健康の増進が図れるよう、スポーツ推進委員などと連携し、スポーツ大会や各種教室の開催等、スポーツに親しむ機会の充実に努めます。また、コーディネーショントレーニングやスポーツ少年団活動の促進等、子ども達が楽しく運動をすることができる環境を整備します。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 学習機会の提供及び地域資源や人材の活用			
事業名	生涯学習事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
市民誰もが、いつでも、どこでも、気軽に学べる生涯学習社会を作るために、市が各種事業を実施するとともに、文化活動に取り組む個人や団体の活性化を目指すため、活動状況の周知を図る。	事業計画	・ 社会教育委員会議の実施 ・ 市民カレッジの開催 ・ 二十歳を祝う会の開催	・ 社会教育委員会議の実施 ・ 市民カレッジの開催 ・ 二十歳を祝う会の開催	・ 社会教育委員会議の実施 ・ 市民カレッジの開催 ・ 二十歳を祝う会の開催	
事業の内容	事業費	5,793千円	6,000千円	6,000千円	
多様な学習ニーズに応えるため、社会教育委員の助言に基づき、市民の知識習得を支援する機会を提供する。また、二十歳の門出を祝う式典を挙行し、若者の社会参画を促すとともに、学習成果や文化活動の情報を広く発信する。	アウトプット	指標名	市民カレッジの講座数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		4回	4回	4回	4回
	アウトカム	指標名	市民カレッジ参加者の満足度		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

展開方向		② 社会教育・スポーツ施設の充実			
事業名	公民館・市民会館整備事業			担当課	生涯学習課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
築50年以上が経過し、老朽化により様々な整備が必要となっており設備等のトラブルにより、施設の利用ができなくなる前に適切な整備を実施することで、市民が継続して安心して活動・交流できる環境を維持する。	事業計画		・ 屋上防水改修工事（会館棟） ・ 屋上防水改修工事（ホール棟） ・ 1階会議室等エアコン設置 ・ 大ホール舞台照明操作卓更新 ・ 高圧受電設備更新	・ 屋上防水改修工事（会館棟） ・ 屋上防水改修工事（ホール棟） ・ 1階会議室等エアコン設置 ・ 大ホール舞台照明操作卓更新 ・ 高圧受電設備更新	
事業の内容	事業費	0千円	20,000千円	20,000千円	
老朽化した公民館および市民会館に対し、屋上防水改修などを順次、改修を実施する。	アウトプット	指標名	改修計画に対する進捗率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20%	40%	60%	80%
	アウトカム	指標名	公民館・市民会館の総利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		33,000人	34,000人	35,000人	36,000人

展開方向		② 社会教育・スポーツ施設の充実				
事業名		温水プール整備事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
施設利用者が安全で快適に施設を利用できるように設備の更新や施設の改修を行う。		事業計画	・設備更新による施設機能の回復	※調査後に必要箇所を改修	※調査後に必要箇所を改修	
事業の内容		事業費	633千円			
大規模改修に向けた調査の実施。		アウトプット	指標名	施設点検実施率		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			－	100%	100%	100%
		アウトカム	指標名	年間延利用者数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			19,000人	19,000人	19,000人	19,000人

展開方向		③ スポーツ活動の推進		
事業名	スポーツ大会・教室開設事業		担当課	生涯学習課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
スポーツをする機会を提供することで市民の健康・体力づくり及びスポーツの振興並びに競技技術の習得を図る。	事業計画	・大会及びイベントの運営 ・スポーツ講習会等の開催 ・学校施設開放事業の実施	・大会及びイベントの運営 ・スポーツ講習会等の開催 ・学校施設開放事業の実施	・大会及びイベントの運営 ・スポーツ講習会等の開催 ・学校施設開放事業の実施
事業の内容	事業費	62,368千円	50,000千円	50,000千円
年間を通じて、ハーフマラソン等の大規模大会、クライミング等の多様なニーズに応じたスポーツ教室を市主体又は委託により実施する。また、有資格者の人材育成及び文部科学省・スポーツ庁が推奨する総合型地域スポーツクラブを核とし子供たちの基礎体力向上を目的とした活動場所の確保並びに小学生の運動活動の体制強化を図る。	アウトプット	大会等実施回数		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	8回	8回	8回	8回
	アウトカム	大会・教室参加者数		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人

展開方向		③ スポーツ活動の推進			
事業名	スポーツ少年団育成補助事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
青少年がスポーツを通して心身の健全な育成を図るため、美唄市スポーツ少年団の事業に対し経費の一部を補助する。	事業計画	・各単位団の活動維持及び指導者養成費の助成 ・拠点校間送迎バス運行等による活動機会の確保 ・大会出場等の遠征経費支援による競技力向上	・各単位団の活動維持及び指導者養成費の助成 ・拠点校間送迎バス運行等による活動機会の確保 ・大会出場等の遠征経費支援による競技力向上	・各単位団の活動維持及び指導者養成費の助成 ・拠点校間送迎バス運行等による活動機会の確保 ・大会出場等の遠征経費支援による競技力向上	
事業の内容	事業費	1,500千円	1,500千円	1,500千円	
美唄市スポーツ少年団に対し、単位団の育成、指導者養成、遠征補助等に要する経費を支援する。	アウトプット	指標名	補助対象事業の執行率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		－	100%	100%	100%
	アウトカム	指標名	構成団体数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		9団体	9団体	9団体	9団体

【(14)生涯・スポーツ】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	地域学校協働本部事業	生涯学習課	3,282	3,400	3,400
7	図書館管理運営事業	生涯学習課	56,616	50,000	50,000
8	総合体育館管理運営事業	生涯学習課	59,379	51,085	51,085
9	温水プール管理運営事業	生涯学習課	66,237	66,640	66,640
10	南美唄コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習課	1,859	2,000	2,000
11	保健体育管理事務	生涯学習課	1,172	1,172	1,172
12	体育施設管理運営事業	生涯学習課	14,028	10,527	10,527
13	体育センター管理運営事業	生涯学習課	40,532	48,660	48,660
14	体育施設整備事業	生涯学習課	0	0	0
15	体育センター整備事業	生涯学習課	0	0	0
16	総合体育館整備事業	生涯学習課	0	0	0
17	図書館整備事業	生涯学習課	0	10,000	10,000
18	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業	生涯学習課	3,000	3,000	3,000

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦3 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり

〔3〕文化・芸術を育む活動と生涯学習・スポーツの振興

(15)文化・芸術

目指す姿	◆誰もが自身の興味に応じて、いつでもどこでも文化・芸術に触れられる環境が整っています ◆郷土の豊かな歴史や文化が次世代へと確実に受け継がれ、市民一人ひとりの誇りとなっています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	市民が身近な地域で芸術や文化に触れる機会をどの程度享受できているかを測る指標	19.8%	24.0%
	郷土史料館入館者数	郷土史料館の入館者数により、歴史や文化に触れた人・興味関心を持つ人の実数を測る指標	10,245人	11,000人
	指定文化財の認知度	市民が市内の指定文化財をどれだけ認知しているかを測る指標	—	50.0%

施策の展開方向

① 誰もが文化芸術に触れる機会を増やす

市民が年齢や障がいの有無に関わらず多様な文化芸術に触れ、鑑賞する機会を創出し、気軽に文化芸術に親しみ、豊かな感性を育める状態となるよう展覧会やコンサート、ワークショップの開催などを推進します。

② 美唄の文化を未来へ

美唄独自の歴史や文化が良好な状態で保存・継承され、次世代へと確実に受け継がれ、市民の誇りとして根付くよう、継承活動への支援や情報発信を行うとともに、歴史的建造物の老朽化対策や修復に加え、デジタル技術を活用して現存する姿を後世に残す取組を進めます。

③ 市民の文化芸術活動の場の提供

市民が絵画、音楽、演劇など、自らの興味に応じて文化芸術活動を楽しめるよう活動の場を提供し、市民の創造性や表現力が発揮される環境の充実を図ります。

④ 美唄の歴史の学習機会創出

郷土史料館を中心に学校教育とも連携し、授業などでも美唄の歴史に触れる機会の充実を図ります。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 誰もが文化芸術に触れる機会を増やす			
事業名	公民館・市民会館管理運営事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
市民の生涯学習の場として、教養向上、健康増進、生活文化振興などを図るため、公民館・市民会館を適切に管理運営する。	事業計画	・ 公民館・市民会館の管理運営	・ 公民館・市民会館の管理運営	・ 公民館・市民会館の管理運営	
事業の内容	事業費	45, 942千円	44, 000千円	44, 000千円	
指定管理者による公民館・市民会館の効率的な管理運営を行う。	アウトプット	指標名	年間施設利用件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2, 300件	2, 300件	2, 300件	2, 300件
	アウトカム	指標名	公民館・市民会館の総利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		33, 000人	34, 000人	35, 000人	36, 000人

展開方向		① 誰もが文化芸術に触れる機会を増やす			
事業名	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄管理運営事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
芸術文化の振興及び市内での交流の場、市外からの観覧者などを受け入れるため、全国的にも稀有な価値を持つ美術館を適切に管理運営することで、地域の持続的な活力創出を図る。		事業計画	・アルテピアッツァ美唄の管理運営	・アルテピアッツァ美唄の管理運営	・アルテピアッツァ美唄の管理運営
事業の内容		事業費	75,272千円	55,000千円	55,000千円
指定管理者による旧栄小学校跡地等の広大な敷地と彫刻作品の保守管理、及びギャラリー等の施設運営を行う。	アウトプット	指標名	施設の定期点検実施率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%
	アウトカム	指標名	来館者の満足度		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

展開方向		② 美唄の文化を未来へ			
事業名	文化財保護事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
文化財の保全及び活用のために必要な措置を講じ、市民文化の向上に資するとともに、文化財の保護について、教育委員会の諮問に答申するための美唄市文化財保護委員会を開催する。	事業計画	・道・市指定文化財の保存、埋蔵文化財包蔵地の管理 ・文化財保護委員に関すること	・道・市指定文化財の保存、埋蔵文化財包蔵地の管理 ・文化財保護委員に関すること	・道・市指定文化財の保存、埋蔵文化財包蔵地の管理 ・文化財保護委員に関すること	
事業の内容	事業費	6,120千円	6,000千円	6,000千円	
文化財保護委員会を開催し、指定文化財の保存管理や埋蔵文化財包蔵地に係る専門的助言を得る。これらを通じ、市内に点在する歴史的資源の散逸・破壊を未然に防止し、適切な公的保護措置を講じる。	アウトプット	指標名	文化財保護委員会の開催		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2回	2回	2回	2回
	アウトカム	指標名	指定文化財の認知度		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		－	40%以上	45%以上	50%以上

展開方向		③ 市民の文化芸術活動の場の提供			
事業名	公民館・市民会館管理運営事業		担当課	生涯学習課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
市民の生涯学習の場として、教養向上、健康増進、生活文化振興などを図るため、公民館・市民会館を適切に管理運営する。	事業計画	・ 公民館・市民会館の管理運営	・ 公民館・市民会館の管理運営	・ 公民館・市民会館の管理運営	
事業の内容	事業費	45, 942千円	44, 000千円	44, 000千円	
指定管理者による公民館・市民会館の効率的な管理運営を行う。	アウトプット	指標名	年間施設利用件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2, 300件	2, 300件	2, 300件	2, 300件
	アウトカム	指標名	公民館・市民会館の総利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		33, 000人	34, 000人	35, 000人	36, 000人

展開方向		③ 市民の文化芸術活動の場の提供		
事業名	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄管理運営事業		担当課	生涯学習課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
芸術文化の振興及び市内での交流の場、市外からの観覧者などを受け入れるため、全国的にも稀有な価値を持つ美術館を適切に管理運営することで、地域の持続的な活力創出を図る。	事業計画	・アルテピアッツァ美唄の管理運営	・アルテピアッツァ美唄の管理運営	・アルテピアッツァ美唄の管理運営
事業の内容	事業費	75,272千円	55,000千円	55,000千円
指定管理者による旧栄小学校跡地等の広大な敷地と彫刻作品の保守管理、及びギャラリー等の施設運営を行う。	アウトプット	指標名 施設の定期点検実施率		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	100%	100%	100%	100%
	アウトカム	指標名 来館者の満足度		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

展開方向		④ 美唄の歴史の学習機会創出		
事業名	郷土史料館管理運営事業		担当課	生涯学習課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
歴史や文化、自然を学び、郷土に対する理解と関心を深め、「地域に根ざし、暮らしに学ばまちづくり」の拠点となるよう、史料館の管理運営や郷土史に係る周知事業などを適切に行う。	事業計画	・資料の収集、保存、整理 ・常設展の維持管理と改善 ・史料館事業（体験事業・特別展・コンサート事業・施設ガイド）	・資料の収集、保存、整理 ・常設展の維持管理と改善 ・史料館事業（体験事業・特別展・コンサート事業・施設ガイド）	・資料の収集、保存、整理 ・常設展の維持管理と改善 ・史料館事業（体験事業・特別展・コンサート事業・施設ガイド）
事業の内容	事業費	9,152千円	10,000千円	10,000千円
美唄市の歴史・文化・自然に関する貴重な資料を適切に収集・保存し、郷土史料館において展示・管理を行う。	アウトプット	指標名 講座事業回数		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	10回	11回	12回	12回
	アウトカム	指標名 入館者数		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	10,000人	11,000人	12,000人	13,000人

【(15)文化・芸術】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
5	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄整備事業	生涯学習課	425,436	0	0
6	郷土史料館整備事業	生涯学習課	9,871	10,000	100,000

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦4 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔1〕豊かな自然環境の保全と共生

(16) 自然保護

目指す姿	◆宮島沼をはじめとした地域の自然環境が守られ、自然と共生するまちが形成されています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	宮島沼保全活動参加者数	宮島沼の保全活動に参加したボランティアの人数	900人	1,000人
	宮島沼に関する環境学習会等への年間参加者数	自然環境の保全と活用の取組状況を環境学習等の行事への参加者数から見る指標	400人	400人

施策の展開方向

① 宮島沼をはじめとした自然環境の保全

多くの渡り鳥が飛来し、多様な水生生物など生息する宮島沼をはじめとした豊かな自然環境が次世代に受け継がれるよう、マガン等の個体数や宮島沼の水質等の基礎調査を行うとともに、市民や関係団体との協働による周辺環境の整備等保全活動を行います。

② 宮島沼と歩む自然との共生

市民や宮島沼水鳥・湿地センターの来館者が、美唄市がもつ自然環境の価値や保全の必要性を理解し、市民や団体による主体的な保全活動が促進されるよう、自然環境に関する情報発信のほか、自然観察会や体験型学習の充実を図ります。

令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 宮島沼をはじめとした自然環境の保全			
事業名	宮島沼自然環境保全事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
宮島沼における富栄養化や乾燥化等の環境変化を科学的調査により把握し、効果的な保全・再生対策を実行する。もって、ラムサール条約登録湿地としての国際的責務を果たすとともに、マガンをはじめとする多様な生物が生息できる健全な湿地環境を維持・継承する。	事業計画	・マガン等水鳥の飛来数調査、水質分析及び外来生物生息実態調査 ・関係学会・研究機関等との連携及び保全・再生に関する専門知見の収集 ・調査データのデータベース化及び環境保全・食害対策への活用・提供	・マガン等水鳥の飛来数調査、水質分析及び外来生物生息実態調査 ・関係学会・研究機関等との連携及び保全・再生に関する専門知見の収集 ・調査データのデータベース化及び環境保全・食害対策への活用・提供	・マガン等水鳥の飛来数調査、水質分析及び外来生物生息実態調査 ・関係学会・研究機関等との連携及び保全・再生に関する専門知見の収集 ・調査データのデータベース化及び環境保全・食害対策への活用・提供	
事業の内容	事業費	8,373千円	15,000千円	15,000千円	
湿地環境及び鳥類の生息状況に係るモニタリング調査を実施し、富栄養化や外来生物等の生態系リスクを早期に把握する。併せて、専門機関との連携による最新知見の収集及びデータベースの整備を行い、科学的根拠に基づいた保全計画の策定及び農業被害対策等の地域課題解決に活用する。	アウトプット	指標名	自然環境調査等の実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2回	2回	2回	2回
	アウトカム	指標名	マガン飛来数（春）、マガン飛来数（秋）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		60,000羽	60,000羽	60,000羽	60,000羽

展開方向		② 宮島沼と歩む自然との共生			
事業名	宮島沼水鳥・湿地センター管理運営事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
宮島沼水鳥・湿地センターの施設及び設備の適正な維持管理を行い、来館者に安全で快適な利用環境を提供する。もって、ラムサール条約登録湿地の価値を発信する環境学習及び交流拠点としての機能を安定的に確保し、市民及び来訪者の利便性向上を図る。	事業計画	・施設設備の保守点検、清掃・除雪等の維持管理業務 ・建物躯体、観察デッキ及び展示設備等の修繕等の実施 ・来館者の受付・案内対応及び施設ホームページの管理	・施設設備の保守点検、清掃・除雪等の維持管理業務 ・建物躯体、観察デッキ及び展示設備等の修繕等の実施 ・来館者の受付・案内対応及び施設ホームページの管理	・施設設備の保守点検、清掃・除雪等の維持管理業務 ・建物躯体、観察デッキ及び展示設備等の修繕等の実施 ・来館者の受付・案内対応及び施設ホームページの管理	
事業の内容	事業費	7,211千円	1,095千円	1,095千円	
センター施設の電気・機械設備の保守点検、清掃及び警備業務等の委託管理を行い、衛生的な環境と来館者の安全を確保する。併せて、建物や観察デッキ等の老朽箇所に対する計画的な修繕、及び展示機材のメンテナンスを実施し、学習・観察拠点としての施設機能を良好な状態に保つ。	アウトプット	指標名	環境学習会開催数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		23回	23回	23回	23回
	アウトカム	指標名	湿地センター利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		14,974人	14,974人	14,974人	14,974人

挑戦４ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔１〕豊かな自然環境の保全と共生

(17) 循環型社会と地球温暖化対策

目指す姿	◆市民や事業者の協働で、環境負荷の少ない持続可能な循環型社会と、脱炭素社会が形成されています
------	--

成果指標	指標名	指標の説明	現状値	目標値
	市民一人当たり年間ごみ排出量	市民一人当たりが年間にどれだけのごみを排出しているかを測る指標	0.35t	0.3t
	公共清掃に対するごみ袋等申請件数	市が配布する公共清掃用のごみ袋などの申請件数。市内の美化活動がどの程度活発に行われているかを測る指標	179件	180件
	公共施設等における温室効果ガス排出量	市役所や市が管理する施設など、市の事業活動に伴って排出される温室効果ガスの総量。市の取組が、どの程度環境負荷の低減につながっているかを測る指標	5,855t	5,600t

施策の展開方向

① ごみの適正処理

ごみの減量化や環境に優しい循環型社会を築くため、廃棄物の適正処理体制を確立し、不法投棄の防止と分別の徹底を図り、併せて、使えるものを繰り返し使うリユースの推進と資源ごみの分別回収・再資源化を進めます。

② 公害防止

市が主体となり地域住民と自治会と協働で誰もが安全で安心して暮らせる生活環境の確保を図るとともに、地域の大気汚染物質や河川水質の維持と生活型公害の発生を防ぐため監視体制と美化活動を推進します。

③ 環境問題への対応

市全体で地域の環境負荷を低減し、持続可能なまちを次世代に残すため、公共施設の省エネルギー化、職員の独自削減行動目標を定める取組のほか、市民や事業者の行動変容と再生可能エネルギー導入の拡大のため脱炭素化、啓発の強化を図ります。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① ごみの適正処理			
事業名		ごみの減量化・再資源化推進事業		担当課	生活環境課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
容器包装リサイクル法及び美唄市一般廃棄物処理基本計画に基づき、資源物の分別収集と再商品化を徹底する。もって、廃棄物の減量化による環境負荷低減と最終処分場の延命を図るとともに、処理コストの抑制による持続可能な循環型社会基盤を構築する。		事業計画	・資源ごみ（缶・びん・プラ等）の収集運搬及び再商品化業務の委託 ・ごみステーションの巡回指導、不適正排出への警告及び啓発活動 ・一般廃棄物処理基本計画の進捗管理及びごみ減量施策の企画立案	・資源ごみ（缶・びん・プラ等）の収集運搬及び再商品化業務の委託 ・ごみステーションの巡回指導、不適正排出への警告及び啓発活動 ・一般廃棄物処理基本計画の進捗管理及びごみ減量施策の企画立案	・資源ごみ（缶・びん・プラ等）の収集運搬及び再商品化業務の委託 ・ごみステーションの巡回指導、不適正排出への警告及び啓発活動 ・一般廃棄物処理基本計画の進捗管理及びごみ減量施策の企画立案
事業の内容		事業費	103,313千円	108,794千円	108,794千円
一般廃棄物処理基本計画に基づき、びん・缶・ペットボトル等の資源物を分別収集し、指定法人等を通じて適正に再商品化する。併せて、ごみステーションの巡回指導や排出ルールの周知啓発を行い、分別の徹底と異物混入防止によるリサイクルの質の向上を図る。	アウトプット	指標名	再商品化委託量		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		579.8t	579.8t	579.8t	579.8t
	アウトカム	指標名	リサイクル率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20.35%	20.35%	20.35%	20.35%

展開方向		② 公害防止			
事業名	公害防止対策事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
大気・水質・騒音等の常時監視及び発生源への厳格な規制指導を行うことで、公害の未然防止と市民の健康保護を図り、安全で快適な生活環境を確保する。	事業計画	・各種環境汚染発生時の処理活動 ・騒音、振動の届出受理及び指導等 ・騒音規制法に基づく自動車騒音常時監視調査	・各種環境汚染発生時の処理活動 ・騒音、振動の届出受理及び指導等 ・騒音規制法に基づく自動車騒音常時監視調査	・各種環境汚染発生時の処理活動 ・騒音、振動の届出受理及び指導等 ・騒音規制法に基づく自動車騒音常時監視調査	
事業の内容	事業費	2,090千円	2,090千円	2,090千円	
騒音規制法等の関係法令に基づく特定施設の届出審査及び立入検査を実施し、事業者が法令遵守を徹底させる。また、河川水質や自動車騒音等の環境モニタリングを計画的に行い、環境基準の適合状況を監視・評価するとともに、苦情発生時には迅速な原因究明と是正指導を行う。	アウトプット	指標名	公害苦情処理件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		7件	7件	7件	7件
	アウトカム	指標名	公害苦情の解決率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%

展開方向		③ 環境問題への対応			
事業名		環境衛生推進事業		担当課	生活環境課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
快適で清潔な生活環境を保持するため、道路の美化保全及び有害害虫の防除を行い、公衆衛生の向上と都市美観の形成を図る。		事業計画	・市内主要道路清掃業務 ・害虫等駆除業務 ・空き地の環境保全	・市内主要道路清掃業務 ・害虫等駆除業務 ・空き地の環境保全	・市内主要道路清掃業務 ・害虫等駆除業務 ・空き地の環境保全
		事業費	13,240千円	13,283千円	13,283千円
事業の内容					
市内主要道路における路面清掃車等による計画的な清掃を行い、飛散防止や交通安全を確保する。また、スズメバチ等の有害害虫に関する駆除相談や、空き地等の雑草繁茂・環境悪化に対する現地調査及び所有者への是正指導を実施し、生活環境上の支障を除去する。		アウトプット	指標名	カラス・害虫等の駆除件数	
			基準値（R7）	R8	R9
			678件	678件	678件
		アウトカム	指標名	環境に係る苦情件数	
			基準値（R7）	R8	R9
			0件	0件	0件

【(17) 循環型社会と地球温暖化対策】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
4	リサイクルセンター管理運営事業	生活環境課	27,449	29,773	29,773
5	最終処分場・生ごみ堆肥化施設等管理運営事業	生活環境課	143,621	148,384	148,384
6	ごみ広域処理焼却施設管理運営事業	生活環境課	85,330	89,076	89,076
7	し尿共同処理施設管理運営事業	生活環境課	37,946	37,946	37,946
8	ごみ収集運搬等事業	生活環境課	128,577	136,027	136,027
9	ごみ処理センター管理運営事業	生活環境課	7,597	7,819	7,819
10	し尿収集運搬等事業	生活環境課	46,673	49,489	49,489
11	ごみ運搬車整備事業	生活環境課	31,736	72,174	72,174

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦４ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔２〕快適な都市空間の形成

（１８）都市基盤整備

目指す姿	◆生活基盤や経済活動を支えるうえで重要なインフラ施設の健全性が保持され、利用者に対し安定的な貢献を実現しています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	路盤改良、舗装等を行う道路延長	道路工事実施延長のうち路盤改良や舗装等の維持管理の進捗を測る指標	13,973m	33,650m
	橋りょう長寿命化補修率	R12まで計画している橋りょうの修繕・更新の進捗を測る指標	29.5%	100%
	水道管更新率	水道配水管の更新工事延長に対する指標	4.2%	22.6%

施策の展開方向

① 安全な道路施設

道路利用者が、安全・安心に通行することが出来る状態を維持するよう、道路施設のパトロールを行い、損傷箇所の被害状況に応じた補修や改修工事を実施します。

② 健全な橋りょう施設

橋りょう利用者が、安全・安心に通行することが出来る状態を維持するよう、法令に定められている点検及び日常点検を行い、被害状況に応じた維持補修や橋りょう長寿命化計画に基づく補修工事を実施します。

③ 上水道の安定供給

水道使用者に対して安全・安心な水道水を安定的に供給できるよう、定期的な水道管の漏水調査を行い、上水道アセットマネジメント計画に基づく水道管の耐震化も考慮した更新工事及び漏水箇所の早期発見・修繕工事を実施します。

④ 健全な下水道施設

下水道利用者に対して安定的な汚水及び雨水処理が維持できるよう、下水道管路調査を行い、下水道ストックマネジメント計画に基づく更新工事及び損傷箇所の早期発見・修繕工事を実施します。また、耐震化についての検討を進めます。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向 ① 安全な道路施設				
事業名	都市計画街路整備事業		担当課	都市整備課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
用途地域内の道路・側溝を計画的に整備・改良することで、円滑な都市交通を確保するとともに、通学路の安全性向上や浸水被害の軽減を図り、市民が安全かつ快適に移動・定住できる住環境を形成することを目的とする。	事業計画	・ 優先整備箇所の選定 ・ 道路改修・側溝整備工事の施工管理	・ 優先整備箇所の選定 ・ 道路改修・側溝整備工事の施工管理	・ 優先整備箇所の選定 ・ 道路改修・側溝整備工事の施工管理
事業の内容	事業費	228,859千円	430,000千円	400,000千円
道路の老朽化による損傷が増大していることから、継続的な道路改修工事を実施する。	アウトプット	指標名 市道舗装整備延長		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	700m	1085.8m	700m	700m
	アウトカム	指標名 用途区域内舗装率		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	92.9%	100%	100%	100%

展開方向 ① 安全な道路施設				
事業名	道路新設改良事業		担当課	都市整備課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
安全で円滑な交通環境を確保し、市民の日常生活における利便性と安全性を向上させる。	事業計画	・ 道路改良工事および側溝整備工事の設計・施工管理 ・ 維持管理コスト低減に向けた長寿命化対策の検討	・ 道路改良工事および側溝整備工事の設計・施工管理 ・ 維持管理コスト低減に向けた長寿命化対策の検討	・ 道路改良工事および側溝整備工事の設計・施工管理 ・ 維持管理コスト低減に向けた長寿命化対策の検討
事業の内容	事業費	59,595千円	90,000千円	90,000千円
道路の老朽化による損傷が増大していることから、継続的な道路改修工事を実施する。	アウトプット	指標名 市道舗装整備延長		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	500m	556m	500m	500m
	アウトカム	指標名 未舗装路の解消率		
	基準値 (R7)	R8	R9	R10
	41.7%	42%	42.5%	43%

展開方向		② 健全な橋りょう施設				
事業名		橋りょう新設改良事業		担当課	都市整備課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
生活基盤や経済活動を支えるうえで重要なインフラ施設の健全性が保持され、利用者に対し安定的な貢献を実現する。		事業計画	・ 橋梁法定点検及び日常点検の実施 ・ 補修内容の検討及び積算	・ 橋梁法定点検及び日常点検の実施	・ 橋梁法定点検及び日常点検の実施	
事業の内容		事業費	161, 275千円	200, 000千円	200, 000千円	
美明市橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕・更新を行い、安全・安心な通行を確保する。		アウトプット	指標名	健全橋の割合		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			91. 8%	92. 6%	95. 3%	97. 7%
		アウトカム	指標名	橋りょう修繕		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			5箇所	4箇所	5箇所	5箇所

展開方向		③ 上水道の安定供給				
事業名		水道事業		担当課	上下水道課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
水道水使用者に対し、安全で安心な水道水を安定的に供給するため、計画的な機械設備等の更新を実施することで事故リスクを低減するとともに健全な事業経営を行う。		事業計画	・ 上水道アセットマネジメント計画に基づく管きょ及び浄水場設備機器更新工事 ・ 水道移設補償工事	・ 上水道アセットマネジメント計画に基づく管きょ及び浄水場設備機器更新工事 ・ 水道移設補償工事	・ 上水道アセットマネジメント計画に基づく管きょ及び浄水場設備機器更新工事 ・ 水道移設補償工事	
事業の内容		事業費	1, 256, 751千円	1, 065, 596千円	1, 206, 507千円	
老朽化した配水管や浄水場設備の計画的更新を行い、漏水事故の未然防止と水質維持を図る。あわせて、滞納整理を継続的に行い未収金回収に努めるとともに、持続可能な水道事業運営のため、将来を見据えた水道システムの方針を決定し、料金改定に向けた検討を行う。		アウトプット	指標名	水道管更新率		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			4. 2%	5. 8%	7. 5%	9. 1%
		アウトカム	指標名	有収率（各年）		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			74. 2%	74%	75%	76%

展開方向		④ 健全な下水道施設						
事業名		下水道事業						
		担当課	上下水道課					
事業の目的		区 分	R8	R9	R10			
快適な生活環境や良質な水環境の実現が望まれる中、汚水及び雨水処理施設の効果的な普及促進を図り、経営の安定を図りながら老朽化した下水道施設の改築・更新を推進する。		事業計画	・下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホールポンプ所改築更新工事 ・下水道処理区域外の合併処理浄化槽工事	・下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホールポンプ所改築更新工事 ・下水道処理区域外の合併処理浄化槽工事	・下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホールポンプ所改築更新工事 ・下水道処理区域外の合併処理浄化槽工事			
			事業費	2,169,532千円	2,140,922千円	2,103,299千円		
事業の内容								
汚水処理区域の水洗化を促進すると共に下水道ストックマネジメント計画に基づき、管渠の点検調査やマンホールポンプ所の改築更新の実施など、老朽施設の管理・更新に努めるほか、下水道処理区域外については、引き続き、合併処理浄化槽を設置する。		ア	指標名			マンホールポンプ所改築更新（各年）		
		ウ	基準値（R7）			R8	R9	R10
		ツ	1箇所			1箇所	2箇所	2箇所
		ブ	指標名			改築更新率（累計）		
		タ	基準値（R7）			R8	R9	R10
		カム	－			63%	72%	81%

【(18) 都市基盤整備】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	橋りょう維持管理事業	都市整備課	4,324	9,219	9,219
7	河川維持管理事業	都市整備課	37,305	64,948	64,948
8	河川整備事業	都市整備課	72,791	75,791	75,791
9	街路灯補助事業	都市整備課	10,254	10,254	10,254
10	交通安全施設整備事業	都市整備課	6,000	12,001	12,001
11	除排雪事業	都市整備課	664,989	818,261	818,261
12	中心市街地除排雪事業	都市整備課	27,732	27,732	27,732
13	土木一般管理事務	都市整備課	3,442	3,458	3,458
14	道路維持管理事業	都市整備課	320,841	596,162	596,162
15	道路台帳更新事務	都市整備課	5,973	5,973	5,973
16	道路ストック総点検(橋りょう)事業	都市整備課	45,000	45,000	0

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦４ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔２〕快適な都市空間の形成

(19) 都市空間と住環境の形成

目指す姿	◆市民の誰もが、質の高い住環境のもとで「安全・安心を実感しながら」快適に暮らし続けられる人口減少社会に適応した魅力あるまちが形成されています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	都市の集約化	都市機能が集まったエリア（居住誘導区域）に住んでいる人の割合	64.2%	70.1%
	空き家の解消数	空き家バンクへの登録による売買や解体などにより、空き家が解消された件数	24件	25件
	市営住宅の管理戸数と入居率	長寿命化計画に基づき、将来的に取り壊しを予定している住宅を含めた全体の入居率。計画的な住宅の削減を進めつつ、高い入居率を維持できているかを示す指標	69.9% (978戸)	85.5% (800戸)

施策の展開方向

① 魅力ある都市空間の構築とまちなかへの居住の推進

人口が減少しても持続可能な都市構造への転換を目指し、居住や都市機能（商業、医療、福祉等）を集約し、行政サービスや生活の利便性が向上する住みよいまちづくりを進めます。

② 市民が安心して住み続けられる住まいづくり

今後の更なる高齢化社会を見据え、暮らしやすい住まいが確保できるよう、既存の住宅の改修など必要な支援の充実を図ります。

③ 空き家対策の推進

空き家やその敷地が「活用できる資源」として循環するよう空き家の状況を把握し、利活用可能な物件については、「空き家バンク」への登録促進等、住まいを求める方々へ情報提供を行うほか、危険な空き家については所有者が不明な空き家も含め状況把握に努めるとともに近隣住民等の日常生活を脅かすことのないよう、所有者に対し適切な管理について指導・助言を進めるほか、解体支援についても行います。

④ 良好な市営住宅の供給

移転対象の既存住宅の住人及び住宅に困窮している単身の高齢者や子育て世帯に対し、多様な市民のニーズに応じた安全で快適な住環境を提供できるよう、老朽化した公営住宅を計画的に集約・更新し、将来を見据えた良好な適正管理を実施します。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 魅力ある都市空間の構築とまちなかへの居住の推進			
事業名		都市計画一般管理事務		担当課	都市建築住宅課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
都市計画法及び関連する法律等に基づいて、本市のまちづくりの基本方針を定める。		事業計画	・都市計画マスタープラン、立地適正適正化計画の策定及び進捗管理 ・住居表示の管理等 ・国土利用計画法、公拡法等の届出の進達及び北海道屋外広告物条例に係る申請等の許認可	・都市計画マスタープラン、立地適正適正化計画の策定及び進捗管理 ・住居表示の管理等 ・国土利用計画法、公拡法等の届出の進達及び北海道屋外広告物条例に係る申請等の許認可	・都市計画マスタープラン、立地適正適正化計画の策定及び進捗管理 ・住居表示の管理等 ・国土利用計画法、公拡法等の届出の進達及び北海道屋外広告物条例に係る申請等の許認可
事業の内容		事業費	601千円	915千円	915千円
都市計画マスタープラン、立地適正適正化計画の策定及び進捗管理を行う。 市民が暮らしやすい市街地を整備するため、住居表示の管理等を継続して行う。 国土利用計画法、公拡法等の届出の進達及び北海道屋外広告物条例に係る申請等の許認可を継続して行う。	アウトプット	指標名	住居表示板の維持修繕等		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20件	20件	20件	20件
	アウトカム	指標名	住居表示の整備		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		20件	20件	20件	20件

展開方向		② 市民が安心して住み続けられる住まいづくり			
事業名	住宅改修促進助成事業		担当課	都市建築住宅課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
高齢者が住み慣れた地域で安全かつ快適に自立した生活を継続できるよう、既存住宅のバリアフリー化及び断熱改修等の住環境向上を促進する。	事業計画	・ 申請受付及び交付決定要件の審査 ・ 工事完了検査の実施及び額の確定 ・ 制度周知及び住宅改修相談の対応	・ 申請受付及び交付決定要件の審査 ・ 工事完了検査の実施及び額の確定 ・ 制度周知及び住宅改修相談の対応	・ 申請受付及び交付決定要件の審査 ・ 工事完了検査の実施及び額の確定 ・ 制度周知及び住宅改修相談の対応	
事業の内容	事業費	7,000千円	7,000千円	7,000千円	
市内に居住する60歳以上の高齢者世帯等を対象に、バリアフリー化や断熱化等の住宅改修（手すり設置、断熱サッシ等）に要する経費の一部を助成する。 助成金額：工事費の3分の1相当額（上限20万円）	アウトプット	指標名	住宅改修助成件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		35件	35件	35件	35件
	アウトカム	指標名	居住環境の向上		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		35件	35件	35件	35件

展開方向 ③ 空き家対策の推進				
事業名	空家等対策事業	担当課	都市建築住宅課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
空家等対策計画に基づき安全で、安心な生活環境を確保する。	事業計画	・ 特定空家等の実態調査及び是正指導・助言 ・ 老朽危険空家等除却費用の審査及び助成 ・ 所有者不明空家への略式代執行の実施	・ 特定空家等の実態調査及び是正指導・助言 ・ 老朽危険空家等除却費用の審査及び助成 ・ 所有者不明空家への略式代執行の実施	・ 特定空家等の実態調査及び是正指導・助言 ・ 老朽危険空家等除却費用の審査及び助成 ・ 所有者不明空家への略式代執行の実施
事業の内容	事業費	35,588千円	51,588千円	51,588千円
①所有者等が不明の特定空家等1件について、略式代執行により除却を実施。 ②建物の老朽化等により周辺環境への危険のおそれがある空家等を解体する場合、工事費の一部を助成する。 助成金額：工事費の2分の1（住宅は100万円、事業所等は200万円を限度）	アウトプット	指標名	①特定空家等に対する措置件数（各年） ②空家住宅等解体助成件数（各年）	
		基準値（R7）	R8	R9
		①1回 ②19回	①1回 ②19回	①1回 ②19回
	アウトカム	指標名	①特定空家の解消 ②老朽化した空家等の解消	
		基準値（R7）	R8	R9
		①1件 ②20件	①1件 ②20件	①1件 ②20件

展開方向 ③ 空き家対策の推進				
事業名	移住・定住促進事業	担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
移住相談や移住情報の発信、移住、定住への助成金を交付などを実施することで移住者の増加及び転出の抑制を図る。	事業計画	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ	・ 移住相談対応及び情報発信 ・ 移住体験（ちょっと暮らし）運営 ・ 移住定住助成金の交付 ・ 移住者交流会の開催等定住フォローアップ
事業の内容	事業費	52,172千円	52,172千円	52,172千円
移住検討段階からのワンストップ相談窓口運営、お試し移住体験（ちょっと暮らし）の提供、及び移住や定住のための各種助成等を行う。併せて、移住後のフォローアップや地域住民との交流事業を実施し、孤立防止と地域定着を支援する。	アウトプット	指標名	移住相談件数	
		基準値（R7）	R8	R9
		95件	100件	105件
	アウトカム	指標名	移住・定住促進助成件数	
		基準値（R7）	R8	R9
		42件	47件	52件

展開方向		④ 良好な市営住宅の供給			
事業名		公営住宅建替事業		担当課	都市建築住宅課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
公営住宅法に基づき、住宅に困窮する低額所得者に対して、安全かつ良質な居住環境（セーフティネット）を確実に提供する。併せて、老朽化した複数の団地を集約・立体化することで、管理戸数の適正化（ダウンサイジング）と長寿命化を図り、将来的な財政負担を軽減する。		事業計画	・ 基本設計・実施設計	・ 第1期工事 ・ 対象団地入居者に対する移転説明会の開催	・ 第1期工事 ・ 対象団地入居者に対する住み替え支援
事業の内容		事業費	83,973千円	650,000千円	740,000千円
公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した3団地の移転集約事業（令和13年度完了目標）を推進する。第1期事業として、バリアフリー化及び省エネ性能を備えた耐火建築物（1棟43戸）を令和9～10年度に整備し、入居者の円滑な住み替えと既存不適格ストックの解消を図る。	アウトプット	指標名	8年度～基本設計・実施設計着手 9～10年度 第1期工事着工		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	1棟	1棟	-
	アウトカム	指標名	8年度～基本設計・実施設計完了 9～10年度 第1期工事完成		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	1棟	-	1棟

【(19) 都市空間と住環境の形成】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	市営住宅維持管理事業	都市建築住宅課	44,981	52,131	52,131
7	公営住宅改善事業	都市建築住宅課	11,601	11,601	11,601
8	市営住宅用途廃止事業	都市建築住宅課	895	14,835	14,835
9	建築指導事務	都市建築住宅課	220	220	220

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦４ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔２〕快適な都市空間の形成

(20) 景観・緑づくり

目指す姿	◆市民との協働により、花や緑があふれる、うるおいのある景観がつくられています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	公園維持管理活動等の参加者数	市民と協働で行った公園の草刈り、樹木剪定等の参加者数	200人	300人
	遊具更新数	美唄市公園長寿命化計画において、修繕・更新が必要な遊具の更新数	19基	65基
	森林面積	森林面積が維持される状況を見る指標	12,211ha	現状維持

施策の展開方向

① くらしを豊かにする市街地の緑化

街路樹や花壇が、地域の景観と調和した美しい並木道を形成し、四季折々の彩りを提供することで、市民や訪れる人々が魅力を感じられるよう、景観や安全に配慮した街路樹や花壇の植栽や剪定等適切な管理を行います。

② 地域に愛される安全・安心な都市公園

都市公園が、誰もが気持ちよく安全に過ごせる身近な憩いの場となるよう、市民との協働による清掃や除草等日常的な管理のほか、遊具の点検・修繕など計画的に整備を進めます。

③ 森林の保全と活用

緑豊かな森林環境が将来にわたり保全され、多面的な機能の発揮に加え、美しい景観やみどりを育む場となるよう、美唄市森林整備計画に基づき森林の保全と植樹の推進に努めます。また、私有林の適切な管理や保全を支援し、森林組合などと連携した森林整備に努めます。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① くらしを豊かにする市街地の緑化			
事業名	緑化管理推進事業		担当課	都市整備課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
地域住民・歩行者に街路の樹木・花植栽等で緑化推進することにより、快適な環境を提供する	事業計画	・街路樹や緑地の維持管理（剪定・草刈・植栽） 街路樹14路線 公園以外の緑地 14箇所	・街路樹や緑地の維持管理（剪定・草刈・植栽） 街路樹14路線 公園以外の緑地 14箇所	・街路樹や緑地の維持管理（剪定・草刈・植栽） 街路樹14路線 公園以外の緑地 14箇所	
事業の内容	事業費	15,992千円	28,091千円	28,091千円	
街路樹や花壇が、地域の景観と調和した美しい並木道を形成し、四季折々の彩りを提供することで、市民や訪れる人々が魅力を感じられるよう、景観や安全に配慮した街路樹や花壇の植栽や剪定等適切に管理する	アウトプット	指標名	剪定・除草等の実施計画達成率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%
	アウトカム	指標名	公園や緑地の利用率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		38.1%	38.1%より高める	38.1%より高める	38.1%より高める

展開方向		② 地域に愛される安全・安心な都市公園		
事業名	公園維持管理事業		担当課	都市整備課
事業の目的	区 分	R8	R9	R10
市民との協働による適正な維持管理を通じて、都市公園の安全性と快適性を維持し、公園利用者に快適で安全なやすらぎの場所を提供する	事業計画	・公園・緑地の管理 ・東明公園樹木剪定外維持管理ボランティア	・公園・緑地の管理 ・東明公園樹木剪定外維持管理ボランティア	・公園・緑地の管理 ・東明公園樹木剪定外維持管理ボランティア
事業の内容	事業費	73,305千円	137,872千円	137,872千円
都市公園が誰もが気持ちよく安全に過ごせる身近な憩いの場となるよう、市民との協働による清掃や除草等日常的な管理のほか、遊具の点検・修繕など計画的に整備する	アウトプット	公園や緑地の利用率		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	38.1%	38.1%より高める	38.1%より高める	38.1%より高める
	アウトカム	公園や緑地の満足度		
	基準値（R7）	R8	R9	R10
	17.2%	17.2%より高める	17.2%より高める	17.2%より高める

展開方向		③ 森林の保全と活用				
事業名	豊かな森づくり推進事業		担当課	農政課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
森林所有者の適切な森林整備活動を多段階の公的助成により誘導し、循環型林業が確立された環境を創出する。		事業計画	・ 造林補助金交付申請の審査・決定 ・ 植栽・下刈等の現地状況調査の実施 ・ 適切な森林整備の普及啓発と指導	・ 造林補助金交付申請の審査・決定 ・ 植栽・下刈等の現地状況調査の実施 ・ 適切な森林整備の普及啓発と指導	・ 造林補助金交付申請の審査・決定 ・ 植栽・下刈等の現地状況調査の実施 ・ 適切な森林整備の普及啓発と指導	
事業の内容		事業費	1,659千円	1,659千円	1,659千円	
森林のもつ公益的機能を維持、増進するために人工造林に係る経費を負担し森林所有者の負担軽減を図る。		アウトプット	指標名	現地確認及び指導実施率		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			100%	100%	100%	100%
		アウトカム	指標名	森林所有者の負担軽減された件数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			5件	5件	5件	5件

【(20) 景観・緑づくり】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
4	防風林維持管理事業	農政課	4,179	5,679	5,679
5	林業振興一般管理事務	農政課	7,184	12,769	12,769
6	市有林保育管理事業	農政課	1,751	2,005	2,005
7	分収造林受託事業	農政課	486	486	486
8	市有林整備事業	農政課	12,871	12,871	12,871
9	森林整備事業	農政課	4,485	5,853	5,853

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦４ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔２〕快適な都市空間の形成

(21) 公衆衛生と生活環境

目指す姿	◆衛生的で快適な生活環境が確保され、市民が安全で穏やかに暮らしています
------	-------------------------------------

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	市営墓地利用に関する満足度	市民アンケートより市営墓地や合同墓等の利用・環境・管理に関する満足度について、「満足」「やや満足」と回答した市民の割合を示す指標	—%	70.0%
	カラス・害虫等の駆除件数	市内でカラス及びハチの巣等の年間駆除件数	677件	700件
	狂犬病の予防接種率	市内で登録されている犬のうち、狂犬病予防法に基づき当該年度に予防接種を受けた犬の割合を示す指標	89.9%	92.6%

施策の展開方向

① 火葬場・墓地の管理運営

人生の最期を迎える市民や、故人を偲ぶ遺族の尊厳が守られ、静かで安らかな環境の中で、故人とのお別れや供養ができるよう、火葬場の安定的な運営体制を維持し、墓地や合同墓の適切な環境整備を進めます。

② 有害鳥獣・害虫対策

市民がカラスの威嚇やハチの巣などの危険、動物由来の感染症による不安や実害がなく、安全に安心して屋外で過ごせるよう、専門業者と連携した迅速な駆除体制の充実を図るほか、狂犬病対策のため犬の登録や予防接種の徹底を図ります。

③ ペットなどの適正飼育の推進

動物由来の感染症の発生を予防し、市民の良好な衛生環境が保全されるよう、狂犬病予防法に基づく犬の登録や予防接種の実施のほか、ペットの室内飼いの推進などにより、ペットの適正飼育のマナー向上を図ります。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 火葬場・墓地の管理運営			
事業名	墓地管理運営事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
市営墓地の厳格な維持管理と安定的な供給を行うことで、市民に安らかで静謐な追悼の場を永続的に提供する。	事業計画	・ 墓地の区画貸出 ・ 墓地の清掃、草刈り等維持管理 ・ お盆時期の墓地交通整理・仮設トイレ設置 ・ 合同墓の管理	・ 墓地の区画貸出 ・ 墓地の清掃、草刈り等維持管理 ・ お盆時期の墓地交通整理・仮設トイレ設置 ・ 合同墓の管理	・ 墓地の区画貸出 ・ 墓地の清掃、草刈り等維持管理 ・ お盆時期の墓地交通整理・仮設トイレ設置 ・ 合同墓の管理	
事業の内容	事業費	3, 148千円	3, 555千円	3, 555千円	
市内4か所の市営墓地において、墓所使用許可、承継及び返還等の行政手続きを適正に執行し、正確な台帳管理を行う。また、園内の除草・清掃や合同墓の管理運営を行うとともに、繁忙期（お盆等）には交通整理員や臨時設備を配置し、利用者の安全と利便性を確保する。	アウトプット	指標名	貸出区画数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		3828区画	3828区画	3828区画	3828区画
	アウトカム	指標名	苦情件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		0件	0件	0件	0件

展開方向		① 火葬場・墓地の管理運営			
事業名	火葬場管理運営事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
故人の尊厳を保持しつつ、公衆衛生の観点から適正かつ厳粛に火葬業務を執行する。併せて、火葬炉等の計画的な保守点検により施設の長寿命化を図り、将来にわたり安定的で静謐な葬送の場を確保する。	事業計画	・ 火葬業務 ・ 火葬場の維持管理 ・ 敷地の清掃、草刈り等管理	・ 火葬業務 ・ 火葬場の維持管理 ・ 敷地の清掃、草刈り等管理	・ 火葬業務 ・ 火葬場の維持管理 ・ 敷地の清掃、草刈り等管理	
事業の内容	事業費	32,918千円	33,508千円	33,508千円	
火葬炉、集塵機及び附帯設備の運転管理と定期的な保守点検を実施するなど適正な施設運営を行う。	アウトプット	指標名	火葬場営業日数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		306日	306日	306日	306日
	アウトカム	指標名	人体火葬件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		401件	401件	401件	401件

展開方向		② 有害鳥獣・害虫対策		
事業名		環境衛生推進事業		
事業の目的		区分	R8	R9
快適で清潔な生活環境を保持するため、道路の美化保全及び有害害虫の防除を行い、公衆衛生の向上と都市美観の形成を図る。		事業計画	R10	R10
			・市内主要道路清掃業務 ・害虫等駆除業務 ・空き地の環境保全	・市内主要道路清掃業務 ・害虫等駆除業務 ・空き地の環境保全
事業の内容		事業費	13,240千円	13,283千円
市内主要道路における路面清掃車等による計画的な清掃を行い、飛散防止や交通安全を確保する。また、スズメバチ等の有害害虫に関する駆除相談や、空き地等の雑草繁茂・環境悪化に対する現地調査及び所有者への是正指導を実施し、生活環境上の支障を除去する。		指標名	カラス・害虫等の駆除件数	
		基準値（R7）	R8	R9
		678件	678件	678件
		指標名	環境に係る苦情件数	
		基準値（R7）	R8	R9
		0件	0件	0件
		指標名	環境に係る苦情件数	
		基準値（R7）	R8	R9
		0件	0件	0件
		指標名	環境に係る苦情件数	

展開方向		② 有害鳥獣・害虫対策		
事業名		野犬掃とう事業		
事業の目的		区分	R8	R9
狂犬病予防法に基づく犬の登録及び予防注射を徹底し、狂犬病の発生・蔓延を未然に防止するとともに、公衆衛生の向上を図る。併せて、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、適正飼養の指導や野犬対策を行い、人と動物が共生できる安全な地域社会を実現する。		事業計画	R10	R10
			・飼い犬（畜犬）の登録、狂犬病予防注射の実施、注射済票の交付 ・野犬の捕獲 ・飼い犬の飼育者に対する指導	・飼い犬（畜犬）の登録、狂犬病予防注射の実施、注射済票の交付 ・野犬の捕獲 ・飼い犬の飼育者に対する指導
事業の内容		事業費	769千円	775千円
狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録、予防注射の実施及び注射済票の交付事務を行い、法定台帳を厳格に整備する。また、放し飼いや鳴き声等の苦情に対し、迅速な現地調査と飼い主への是正指導を行うとともに、必要に応じて野犬の捕獲・抑留業務を適切に執行する。		指標名	狂犬病予防注射済票交付件数	
		基準値（R7）	R8	R9
		635件	635件	635件
		指標名	狂犬病予防注射実施率	
		基準値（R7）	R8	R9
		90%	90%	90%
		指標名	狂犬病予防注射実施率	
		基準値（R7）	R8	R9
		90%	90%	90%
		指標名	狂犬病予防注射実施率	

【(21) 公衆衛生と生活環境】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
5	墓地参道整備事業	生活環境課	2,621	2,621	2,621
6	火葬場整備事業	生活環境課	4,676	36,538	36,538

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦４ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔２〕快適な都市空間の形成

(22) 公共交通

目指す姿	◆誰もが安心して移動できる、地域に根ざした持続可能な公共交通網が構築されています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	市民バス年間利用者数	市民バス（西線・東線）が1年間でどのくらい利用されているか測る指標	57,012人	57,012人
	乗合タクシー年間利用者数	乗合タクシーが1年間でどのくらい利用されているか測る指標	1,619人	1,619人
	のるーと美唄一日平均利用者数	のるーと美唄が1日でどのくらい利用されているか測る指標	47人	70人

施策の展開方向

① 公共交通機関の維持

市が交通事業者と連携し都市間や市内の主要施設間を結ぶ移動手段が安定的に確保され、市民が日常生活や通勤・通学で安心して公共交通を利用できる状態となるよう、必要な支援や利用状況に応じたダイヤ見直し、地域の要望を踏まえた調整を行い、持続可能な運行体制を構築します。

② 公共交通機関の利便性向上

市民に対し必要なときに利用でき、分かりやすく利便性の高い公共交通とし、市民が利用しやすい市民バス路線をはじめ、既存路線に係る乗降調査や市民・地域からの意見を聴取し、運行体系の最適化を図ります。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 公共交通機関の維持			
事業名	地域公共交通活性化・再生総合事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
人口減少下においても市民の移動手段を確保するため、地域公共交通計画に基づき、AIデマンドバス等の導入による効率的かつ持続可能な交通ネットワークへの再編を実現する。	事業計画	・ 地域公共交通計画の進捗管理と協議会運営 ・ AIデマンドバスの運行管理及び効果検証 ・ 利用実態調査に基づく路線再編案の策定	・ 地域公共交通計画の進捗管理と協議会運営 ・ AIデマンドバスの運行管理及び効果検証 ・ 利用実態調査に基づく路線再編案の策定	・ 地域公共交通計画の進捗管理と協議会運営 ・ AIデマンドバスの運行管理及び効果検証 ・ 利用実態調査に基づく路線再編案の策定	
事業の内容	事業費	44, 831千円	44, 831千円	44, 831千円	
美唄市地域公共交通活性化協議会活性化協議会の運営を通じ、交通事業者や市民代表との合意形成を図る。また、AIデマンドバス「のるーと美唄」の実証運行及び利用データ分析を行い、既存バス路線との接続最適化や、空白地域の解消に向けた交通体系の再構築を推進する。	アウトプット	指標名 「のるーと美唄」 運行日数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		309日	309日	309日	309日
	アウトカム	指標名 「のるーと美唄」 一日平均利用者数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		39人	39人	39人	39人

展開方向		① 公共交通機関の維持			
事業名	市民バス東線運行事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
市内東側地域における基幹的公共交通網を堅持し、通勤・通学・通院等の市民生活及び社会経済活動を支える。	事業計画	・ 運行委託業務の適正な執行管理及び安全輸送の指導監督 ・ 利用促進に向けた広報活動及び沿線住民・施設との調整 ・ 乗降調査に基づくダイヤ・ルートの検証及び見直し検討	・ 運行委託業務の適正な執行管理及び安全輸送の指導監督 ・ 利用促進に向けた広報活動及び沿線住民・施設との調整 ・ 乗降調査に基づくダイヤ・ルートの検証及び見直し検討	・ 運行委託業務の適正な執行管理及び安全輸送の指導監督 ・ 利用促進に向けた広報活動及び沿線住民・施設との調整 ・ 乗降調査に基づくダイヤ・ルートの検証及び見直し検討	
事業の内容	事業費	31, 676千円	42, 048千円	42, 048千円	
旧美鉄バス路線を継承し、市内東部地域を結ぶ基幹路線（2路線・1日22便）として市民バス東線を運行する。民間事業者への業務委託により安全運行を確保するとともに、定期的な利用実態調査に基づき、利便性と収支バランスを考慮したダイヤ編成及び運行管理を行う。	アウトプット	指標名 運行日数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		364日	364日	364日	364日
	アウトカム	指標名 利用者延べ人数			
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		53, 823人	53, 823人	53, 823人	53, 823人

展開方向		① 公共交通機関の維持			
事業名	市民バス西線運行事業			担当課	生活環境課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
市内西地域の公共交通不便地域における住民の移動手段を確保し、通院・買い物等の日常生活及び社会参加の機会を保障する。併せて、スクールバスとの混乗運行による経費縮減と効率化を徹底し、将来にわたり持続可能な地域公共交通網を維持する。		事業計画	・ 市民バスの運行管理及び委託事業者への指導監督 ・ スクールバス混乗に係る教育委員会及び学校との調整 ・ 利用実態調査に基づくダイヤ・ルートの検証及び見直し	・ 市民バスの運行管理及び委託事業者への指導監督 ・ スクールバス混乗に係る教育委員会及び学校との調整 ・ 利用実態調査に基づくダイヤ・ルートの検証及び見直し	・ 市民バスの運行管理及び委託事業者への指導監督 ・ スクールバス混乗に係る教育委員会及び学校との調整 ・ 利用実態調査に基づくダイヤ・ルートの検証及び見直し
			事業費	20, 853千円	20, 481千円
事業の内容					
民間路線バス廃止地域において、児童生徒の通学及び地域住民の生活交通として市民バス（11路線）を運行する。スクールバスとの混乗方式を採用することで車両・運行経費の抑制を図るとともに、地域需要に応じたダイヤ編成と安全運行管理を実施する。茶志内・中村・沼の内線、進徳・拓北線、上美唄線を市民バス西線として運行（便数（1日）～3便）	アウトプット	指標名	運行日数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		244日	244日	244日	244日
	アウトカム	指標名	利用者延べ人数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		3, 189人	3, 189人	3, 189人	3, 189人

展開方向		② 公共交通機関の利便性向上			
事業名	地域公共交通活性化・再生総合事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
人口減少下においても市民の移動手段を確保するため、地域公共交通計画に基づき、AIデマンドバス等の導入による効率的かつ持続可能な交通ネットワークへの再編を実現する。	事業計画	・ 地域公共交通計画の進捗管理と協議会運営 ・ AIデマンドバスの運行管理及び効果検証 ・ 利用実態調査に基づく路線再編案の策定	・ 地域公共交通計画の進捗管理と協議会運営 ・ AIデマンドバスの運行管理及び効果検証 ・ 利用実態調査に基づく路線再編案の策定	・ 地域公共交通計画の進捗管理と協議会運営 ・ AIデマンドバスの運行管理及び効果検証 ・ 利用実態調査に基づく路線再編案の策定	
事業の内容	事業費	44, 831千円	44, 831千円	44, 831千円	
美唄市地域公共交通活性化協議会活性化協議会の運営を通じ、交通事業者や市民代表との合意形成を図る。また、AIデマンドバス「のるーと美唄」の実証運行及び利用データ分析を行い、既存バス路線との接続最適化や、空白地域の解消に向けた交通体系の再構築を推進する。	アウトプット	指標名	「のるーと美唄」運行日数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		309日	309日	309日	309日
	アウトカム	指標名	「のるーと美唄」一日平均利用者数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		39人	39人	39人	39人

【(22) 公共交通】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
5	美唄市バス路線維持費補助事業	生活環境課	7,406	10,398	10,398
6	地域間幹線系統バス路線維持費補助事業	生活環境課	4,160	4,160	4,160

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦４ 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔３〕安全・安心なまちづくり

（23）防災

目指す姿	◆災害に備える意識と行動が地域に根付き、迅速かつ的確な災害対応が可能なまちとなっています
------	--

成果指標	指標名	指標の説明	現状値	目標値
	自主防災組織率	自主的な防災活動の取組がどの程度広がっているかを見る指標	21.2%	空知管内平均組織率
	登録制メール登録件数（上段）及び登録制電話登録件数（下段）	自主的に災害情報を入手するための取組がどの程度広がっているかを見る指標	307件 74件	764件 275件
	防災訓練参加者数	市が関係団体と連携して開催する防災訓練の参加者数で、災害に備えた体制の強化が図られているかを測る指標	515人	600人

施策の展開方向

① 自助・共助の推進による地域防災力の向上

市民が、一人ひとり防災への関心を高め、災害から生命、財産を守るための自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上が図られるよう、小中学校等での一日防災学校支援や出前講座等を通じて防災教育や自主防災組織の設立支援を進めます。

② 災害情報伝達手段の多重化

市は、市民等が災害情報等を多様な媒体から入手し、迅速に生命、財産を守る行動がとれるよう、デジタル同報系防災行政無線整備を始め、登録制メールや電話配信サービスの活用普及を図り、災害情報等の重要な情報が誰でも容易に入手できる環境の整備を進めます。

③ 計画的備蓄と防災訓練を通じた災害対応力の強化

市が、防災関係機関が災害応急対策を円滑に実施でき、災害時に市民の生活が確保され、被害を最小限に抑えられるよう、食料やその他の物資を計画的に備蓄するとともに、市民へ防災知識の普及を図るため、定期的に防災訓練を実施します。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 自助・共助の推進による地域防災力の向上			
事業名	地域防災事業		担当課	危機管理対策室	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
自主防災組織の結成促進及び活動の活性化を図り、地域住民が主体となって避難誘導や初期消火を行う「共助」の体制を確立することで、災害時における迅速な避難行動と被害の最小化を実現する。	事業計画	・ 自主防災組織設立推進 ・ コミュニティタイムライン策定支援 ・ 防災講座の実施 ・ 一日防災学校支援	・ 自主防災組織設立推進 ・ コミュニティタイムライン策定支援 ・ 防災講座の実施 ・ 一日防災学校支援	・ 自主防災組織設立推進 ・ コミュニティタイムライン策定支援 ・ 防災講座の実施 ・ 一日防災学校支援	
事業の内容	事業費	10,738千円	10,633千円	10,694千円	
新たに結成された自主防災組織に対し、初期活動に必要な資機材及び保管庫の購入費を助成するとともに、地域固有の災害リスクを踏まえた「コミュニティ・タイムライン」の作成に向けたワークショップを開催し、組織の持続的な活動基盤を整備する。	アウトプット	指標名	コミュニティタイムライン作成支援団体数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	2団体	2団体	2団体
	アウトカム	指標名	自主防災組織率（R6年度空知管内平均組織率）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		55%	基準値以上	基準値以上	基準値以上

展開方向		② 災害情報伝達手段の多重化			
事業名	情報伝達体制対策事業		担当課	危機管理対策室	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
防災行政無線に加え、登録制メールや電話配信サービス等を重層的に運用することで、情報の受け手である市民等が、災害関連情報を効果的に入手できるよう災害情報伝達手段の多重化を図り、迅速・適切な避難行動等の意思決定が行える安心・安全な環境を構築する。	事業計画	・登録制メール・電話配信等の登録促進 ・防災情報送受信訓練の実施	・登録制メール・電話配信等の登録促進 ・防災行政無線設備の保守点検業務 ・防災情報送受信訓練の実施	・登録制メール・電話配信等の登録促進 ・防災行政無線設備の保守点検業務 ・防災情報送受信訓練の実施	
事業の内容	事業費	1,307千円	1,927千円	1,927千円	
デジタル同報系防災行政無線設備の保守点検を行い、常時稼働体制を確保するとともに、補完手段である登録制メール及び電話配信サービスの利用料を負担し、多様な媒体による情報発信網を整備することで、災害情報の到達率向上と「逃げ遅れゼロ」を目指す。	アウトプット	指標名	情報伝達訓練・導通試験実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		－	1回	1回	1回
	アウトカム	指標名	登録制メール（登録制電話）登録件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		－	368件 （96）	442件 （125）	530件 （163）

展開方向		③ 計画的備蓄と防災訓練を通じた災害対応力の強化			
事業名		災害応急対策事業			
		担当課	危機管理対策室		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
災害発生直後における迅速な応急対策活動及び円滑な避難所運営・被災者支援を可能にするため、必要な物資の計画的備蓄と実践的な訓練を行い、市民の生命・身体を守るための即応体制を確立する。		事業計画	・ 防災備蓄品の購入・在庫管理 ・ 総合防災訓練や図上訓練等の企画運営 ・ 水防資機材及び避難所施設の点検整備	・ 防災備蓄品の購入・在庫管理 ・ 総合防災訓練や図上訓練等の企画運営 ・ 水防資機材及び避難所施設の点検整備	・ 防災備蓄品の購入・在庫管理 ・ 総合防災訓練や図上訓練等の企画運営 ・ 水防資機材及び避難所施設の点検整備
			事業費	3,663千円	3,076千円
事業の内容		指標名	防災訓練実施		
防災備蓄計画に基づき、被災者支援に必要な食糧・資機材を計画的に更新・配備するとともに、応急対策活動に必要な水防資機材等の整備及び防災関係機関や地域住民と連携した総合防災訓練を実施し、職員の災害対応力の練度向上と防災関係機関等の実践的な災害対応能力を強化する。	アウトプット	基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	1回	1回	1回
		指標名	防災訓練参加者数		
	アウトカム	基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	600人	600人	600人

【(23) 防災】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
4	河川災害復旧事業	都市整備課	100	100	100
5	道路橋りょう災害復旧事業	都市整備課	100	100	100

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦4 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔3〕安全・安心なまちづくり

(24) 防犯・交通安全・消費者保護

目指す姿	◆市民一人ひとりが防犯・交通安全・消費者保護に関心を持ち、地域全体で安全・安心な暮らしを守り支える社会が形成されています
------	--

成果指標	指標名	指標の説明	現状値	目標値
	犯罪発生率	市民1人当たりの犯罪件数で、地域の治安状況を示す指標	3.9%	2.7%
	人口1万人当たりの交通事故件数	市民1万人当たりの交通事故発生件数で、地域における交通安全の状況を示す指標	9件	5件
	消費生活展参加者数	消費者保護や商品情報等に対する関心がどの程度あるかを消費生活展の参加者数で測る指標	130人	150人

施策の展開方向

① 犯罪が起きにくいまちづくり

市が警察や防犯協会と連携し、防犯意識が高まり、犯罪や再犯が抑止される地域社会となるよう、地域防犯活動や啓発・防犯情報の発信を強化し、住民参加型の見守りやパトロールを推進します。

② 交通安全意識の醸成

市民が交通安全の重要性を理解し、年齢や生活環境に応じて事故を未然に防ぐ行動が取れるような状態となるよう、地域全体で交通安全への意識を高めるため世代ごとの特徴に応じた交通安全啓発を行い、地域に根差した安全意識の醸成を図ります。

③ 消費者保護体制・提供の充実

地域全体に消費者被害を防止できる見守り・支援体制が機能するよう市民の幅広い相談に対応するため、情報収集や専門知識に基づく情報提供と解決策提示ができるよう、相談員のスキル向上を図るとともに、悪質商法事例は関係機関と連携し、イベントや広報で注意喚起・啓発を行い、被害防止ネットワークを推進します。

令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 犯罪が起きにくいまちづくり			
事業名	安全で安心なまちづくり推進補助事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
地域コミュニティや関係団体との協働により、交通安全及び防犯意識の高揚を図り、交通事故や犯罪の未然防止を推進する。官民一体となった重層的な見守り・啓発活動を展開することで、市民が将来にわたり安全で安心して暮らせる地域社会を実現する。	事業計画	・ 地域安全大会の開催 ・ 協議会及び関係機関（警察等）との連絡調整・会議運営	・ 地域安全大会の開催 ・ 協議会及び関係機関（警察等）との連絡調整・会議運営	・ 地域安全大会の開催 ・ 協議会及び関係機関（警察等）との連絡調整・会議運営	
事業の内容	事業費	800千円	800千円	800千円	
美唄市安全で安心なまちづくり推進協議会に対し、啓発活動等に要する経費を補助し、組織的な地域安全活動を支援する。飲酒運転根絶キャンペーンや街頭啓発等、時節・課題を捉えた効果的な運動を展開するとともに、警察署等の関係機関と連携し、地域の防犯・交通安全体制を強化する。	アウトプット	指標名	街頭啓発・キャンペーン実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		7回	7回	7回	7回
	アウトカム	指標名	刑法犯認知件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		71件	71件	71件	71件

展開方向		② 交通安全意識の醸成			
事業名	交通安全対策事業		担当課	生活環境課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
交通安全指導員の配置や街頭啓発を通じて市民の規範意識を醸成し、悲惨な交通事故を撲滅する。特に、児童・高齢者等の交通弱者を事故から守るための環境整備と教育を徹底し、市民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現する。	事業計画	・交通安全指導員の設置・研修及び街頭指導業務の統括 ・交通安全運動期間における啓発活動及び街頭パトロール ・児童生徒向け自転車点検の実施及び交通安全教室の開催	・交通安全指導員の設置・研修及び街頭指導業務の統括 ・交通安全運動期間における啓発活動及び街頭パトロール ・児童生徒向け自転車点検の実施及び交通安全教室の開催	・交通安全指導員の設置・研修及び街頭指導業務の統括 ・交通安全運動期間における啓発活動及び街頭パトロール ・児童生徒向け自転車点検の実施及び交通安全教室の開催	
事業の内容	事業費	3,226千円	4,082千円	4,082千円	
交通安全指導員（10人）を委嘱し、通学路における立哨指導やイベント時の交通整理を実施して事故を未然に防止する。また、春・秋等の全国交通安全運動と連動した啓発活動を展開するとともに、児童生徒を対象とした自転車点検及び安全教室を行い、交通ルール遵守の徹底を図る。	アウトプット	指標名	交通安全教室開催回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		17回	17回	17回	17回
	アウトカム	指標名	交通事故件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		18件	18件	18件	18件

展開方向		③ 消費者保護体制・提供の充実			
事業名	消費者保護対策事業		担当課	生活環境課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
消費者安全法に基づき、消費生活センターの相談機能を強化し、悪質商法等による消費者トラブルの解決及び被害回復を図る。併せて、消費者教育や適正な情報提供を通じて、安全で安心な消費生活環境を確立する。		事業計画	・消費者相談業務（委託） 消費者相談業務～美唄市消費生活センター 月～金 8:45～17:15 ・消費生活展の開催 10月開催（市民ふれあいサロン）	・消費者相談業務（委託） 消費者相談業務～美唄市消費生活センター 月～金 8:45～17:15 ・消費生活展の開催 10月開催（市民ふれあいサロン）	・消費者相談業務（委託） 消費者相談業務～美唄市消費生活センター 月～金 8:45～17:15 ・消費生活展の開催 10月開催（市民ふれあいサロン）
事業の内容		事業費	1,761千円	1,761千円	1,761千円
消費生活相談員を配置し、契約トラブル等に関する相談受付、助言及び事業者とのあっせんを行い、被害の未然防止と救済を図る。また、消費者協会等の関係団体と連携し、消費生活展の開催や物価情報の提供等を行い、消費者被害防止に向けた地域全体の啓発活動を推進する。	アウトプット	指標名	消費者相談回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		週4回	週4回	週4回	週4回
	アウトカム	指標名	消費者相談件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		88件	88件	88件	88件

【(24) 防犯・交通安全・消費者保護】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
4	市民生活支援事務	生活環境課	3,680	3,690	3,690
5	法律相談事務	生活環境課	482	482	482

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦4 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり

〔3〕安全・安心なまちづくり

(25) 消防・救急

目指す姿	◆消防・救急体制がより充実し、また、家庭での火災予防への意識の向上や応急手当の知識が普及し、多くの市民が安心して暮らしています
------	---

成果指標	指標名	指標の説明	現状値	目標値
	出火率	人口1万人当たりの年間火災発生件数。火災予防の取組により、どの程度火災の発生が抑えられたかを見る指標	3.3件	0件
	住宅用火災警報器設置率	火災予防条例で設置が義務付けられている住宅において、条例基準どおり設置されている世帯数の割合	74.3%	100%
	救急講習受講者数	市民が応急手当などを学ぶ救急講習を受講した人数。市民の救命技術の習得度を測る指標	502人	1,000人

施策の展開方向

① 火災予防（未然防止）に向けた市民の意識向上

予防査察の実施、事業所等における避難訓練の実施、火災予防街頭啓発の実施、幼年消防クラブ及びジュニア消防クラブの運営を行い、市民の火災予防に対する意識向上を図ります。

② 救急体制の充実

助けられる命が助けられるよう、救急隊員の資質向上に努め、資機材及び車両等の整備を行い救急業務の高度化を図ります。また、救急講習会を開催し、市民による救命処置の重要性及び普及を図ります。

③ 消防力の強化

地域の消防力を高めるために、消防隊員の資質向上に努め、資機材及び車両等の整備を行い消防業務の高度化を図ります。また、消防団への加入促進に、消防団が活動しやすい環境の整備と組織の活性化を図ります。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 火災予防（未然防止）に向けた市民の意識向上			
事業名		火災予防推進事業		担当課	消防本部
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
火災予防啓発や住宅及び事業所などの防火管理及び消防設備等に関する検査・指導を行うことで、火災予防体制の向上を図り、市民の安全安心な暮らしの確保を目指す。		事業計画	・ 予防査察の実施（一般家庭、指定防火対象物、危険物施設） ・ 防火対象物の消防用設備等設置検査及び危険物製造所等の設置許可等検査の実施 ・ 避難訓練、火災予防街頭啓発の実施 ・ ジュニア消防クラブ活動及び幼年消防クラブ活動の実施 ・ 火災原因調査	・ 予防査察の実施（一般家庭、指定防火対象物、危険物施設） ・ 防火対象物の消防用設備等設置検査及び危険物製造所等の設置許可等検査の実施 ・ 避難訓練、火災予防街頭啓発の実施 ・ ジュニア消防クラブ活動及び幼年消防クラブ活動の実施 ・ 火災原因調査	・ 予防査察の実施（一般家庭、指定防火対象物、危険物施設） ・ 防火対象物の消防用設備等設置検査及び危険物製造所等の設置許可等検査の実施 ・ 避難訓練、火災予防街頭啓発の実施 ・ ジュニア消防クラブ活動及び幼年消防クラブ活動の実施 ・ 火災原因調査
			事業費		
			886千円		
			925千円		
事業の内容		925千円			
一般住宅や消防法規制の適用される事業所等への立入検査を計画的に実施し、是正指導を行う。また、幼年・少年期からの防火教育を推進するとともに、街頭啓発を実施し住宅用火災警報器の設置・更新を促進する。類似火災防止対策として、火災原因調査を実施し、火災予防の普及啓発を図る。	アウトプット	指標名	一般家庭査察実施率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%
	アウトカム	指標名	年間出火率（1万人当たりの出火件数）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		5件	0件	0件	0件

展開方向		② 救急体制の充実			
事業名		救急業務推進事業		担当課	消防本部
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
救急現場において、高度な応急処置を実施し、傷病者を安全・確実に医療機関へ搬送するための体制を維持し、更なる救急技術の向上及び各種感染症対策を図り、また、一般市民が救急現場において早期応急手当が出来るよう、知識の習得及び重要性を認識してもらい救命率の向上を図る。		事業計画	・救急救命士の病院実習（必須） ・救急活動及び感染症対策に必要な資機材の整備 ・救急講習の開催 ・救急車内の消毒及び救急隊員の感染防止対策	・救急救命士の病院実習（必須） ・救急活動及び感染症対策に必要な資機材の整備 ・救急講習の開催 ・救急車内の消毒及び救急隊員の感染防止対策	・救急救命士の病院実習（必須） ・救急活動及び感染症対策に必要な資機材の整備 ・救急講習の開催 ・救急車内の消毒及び救急隊員の感染防止対策
事業の内容		事業費	5,450千円	5,135千円	5,135千円
救急救命士の病院実習や日常の訓練を行い、高度処置スキルの維持及び救急隊の質の向上を図る。また、市民に早期応急手当の重要性について認識してもらうため、救急講習を定期開催する。	アウトプット	指標名	救急講習の開催案内		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		4回	4回	4回	4回
	アウトカム	指標名	救急講習実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		24回	24回	24回	24回

展開方向		③ 消防力の強化				
事業名		常備消防事業				
		担当課	消防本部			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
複雑多様化する災害に対し、消防職員の育成及び施設の適切な管理運営を行い、災害による被害の軽減を目指す。		事業計画	・災害・事故等の出動 ・消防職員の研修（消防学校派遣等） ・消防本部・分遣所の管理運営、各種証明書等の発行	・災害・事故等の出動 ・消防職員の研修（消防学校派遣等） ・消防本部・分遣所の管理運営、各種証明書等の発行	・災害・事故等の出動 ・消防職員の研修（消防学校派遣等） ・消防本部・分遣所の管理運営、各種証明書等の発行	
事業の内容		事業費	35,313千円	38,686千円	38,686千円	
24時間365日体制で火災・救急救助等の出動に対応するとともに、消防職員の高度な専門知識習得に向けた研修を実施する。あわせて、消防本部庁舎及び分団詰所の適切な管理運営を行う。		アウトプット	指標名	入校・研修件数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			10件	10件	10件	10件
		アウトカム	指標名	受講者数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			10人	10人	10人	10人

展開方向		③ 消防力の強化				
事業名		消防団運営事業				
		担当課	消防本部			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
地域の消防力を高めるため、消防団員の確保育成を図るほか、災害時に迅速な行動ができるよう、団員訓練や消防演習を行うなど、消防団機能の充実強化を図り、災害による被害の軽減を図ることを目的とする。		事業計画	消防団の団員確保に向けた広報活動 消防団の団員育成	消防団の団員確保に向けた広報活動 消防団の団員育成	消防団の団員確保に向けた広報活動 消防団の団員育成	
事業の内容		事業費	29,555千円	30,505千円	30,505千円	
消防団員の入団促進活動を行う。また、団員の実践的な訓練および活動に必要な被服・装備品の更新を計画的に実施する。		アウトプット	指標名	消防団訓練回数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			4回	4回	4回	4回
		アウトカム	指標名	消防団訓練参加者数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			400人	400人	400人	400人

【(25) 消防・救急】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
5	通信指令施設管理事業	消防本部	9,026	8,494	8,494
6	消防施設管理事業	消防本部	3,698	5,545	5,545
7	消防車両管理事業	消防本部	8,663	6,685	6,685
8	消防水利整備事業	消防本部	11,370	17,834	17,834
9	消防車両整備事業	消防本部	0	60,000	150,000
10	消防装備整備事業	消防本部	0	0	0
11	消防施設整備事業	消防本部	39,677	30,000	30,000
12	消防団装備整備事業	消防本部	53,024	53,024	53,024
13	救急高度化整備推進事業	消防本部	50	0	0
14	消防通信指令施設整備事業	消防本部	326,918	8,494	8,494
15	消防水利管理事業	消防本部	5,114	4,539	4,539

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦5 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり

〔1〕性別や年齢、障がいに関係なく、誰もが活躍できる社会の形成

(26) 協働のまちづくり

目指す姿	◆市民が主体的に考え、地域や行政、企業・団体と協力しながら、身近な課題に取り組み、誰もがまちづくりに参画できる社会となっています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	市民活動への参加延べ人数	「Bibai Beautiful Movement (BBM)」や「美しきまちづくりサポーター」など、市民が主体的に関わる協働のまちづくり活動に参加した延べ人数。市民による地域活動の活発さを測る指標	300人	400人
	郷土への愛着を持つ市民の割合	まちづくり市民アンケート調査において、美唄に愛着を感じていると回答した市民の割合。協働のまちづくりの成果として、市民のシビックプライドがどの程度醸成されているかを測る指標	59.5%	63.0%
	まちづくりに参加している市内高校の生徒の数	美唄市内の高校に通う生徒がまちづくりに参加した延べ人数。高校生の地域活動への活発さを測る指標	219人	250人

施策の展開方向

① 市民参画の促進とまちづくり担い手の育成

まちづくりに関心がある市民や、これまで関わる機会の少なかった子ども、若者、移住者、関係人口などに対して、年齢や属性にかかわらず、多様な市民がまちづくりの担い手として主体的に関われるよう、負担感の少ない関わり方を用意し、達成感を得られる仕掛けや、参加しやすい仕組みを整備します。さらに、市民が主体的に参画できるワークショップや協働事業を展開し、関心を具体的な行動につなげる環境を整えます。

② シビックプライド醸成と関係人口の拡大

市民、事業者及び地域にゆかりのある関係人口が、市の魅力に誇りを持ち、継続的にまちに関わる人が増えるよう、美唄ブランドを軸としたシティプロモーションを推進し、「美唄まちづくり部」や「美唄まちづくり大学」などの取組を通じて、市への愛着や関心を高めます。

③ 双方向の情報共有と市民意見の反映

市内外の住民や関係人口が、市の取組に共感し、まちへの関心や参加意欲が高まるよう、広報紙やSNSなど多様な媒体でまちの取組みや魅力を分かりやすく発信するとともに、ワークショップ等の多様な広聴の機会を創出し、市民や事業者等との双方向の対話、情報共有を図ります。

④ 高校魅力化と高校と連携したまちづくり

市内高校の魅力向上により生徒数が確保され、生徒が地域づくりの担い手として活躍できるよう、高校と連携した地域活性化の取組を行なうとともに、生徒数の確保に向けた支援を行います。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 市民参画の促進とまちづくり担い手の育成			
事業名	美唄シティプロモーション推進事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
美唄市の文化や歴史を踏まえ未来を創造する「美唄ブランド」を構築するため、シンボルマークやキャッチコピーを作成し、ウェブサイトや動画等を通じて市民への浸透を図ることでシビックプライドを醸成し、市民共通理解の下、市外に向けて「美唄ブランド」のプロモーションを行っていく。	事業計画	・シティプロモーション戦略の推進及びブランド管理 ・広報コンテンツ（動画・WEB等）の制作・運用 ・「美唄まちづくり部」等の運営支援及び活動調整	・シティプロモーション戦略の推進及びブランド管理 ・広報コンテンツ（動画・WEB等）の制作・運用 ・「美唄まちづくり部」等の運営支援及び活動調整	・シティプロモーション戦略の推進及びブランド管理 ・広報コンテンツ（動画・WEB等）の制作・運用 ・「美唄まちづくり部」等の運営支援及び活動調整	
事業の内容	事業費	40,893千円	30,000千円	20,000千円	
ブランド認知と市民の理解を基盤に、さらなる広報展開と発信力の強化を図る。市民参加の機会を拡充し、地域への誇りや愛着を育むことでシビックプライドを醸成するとともに、美唄の魅力を市外へと波及させ、関係人口の創出と拡大につなげる。また、市内小中高生による「美唄まちづくり部」を組織し、若者の斬新な視点を活かしたイベント出展や情報発信を実践することで、主体的な郷土愛を育む。	アウトプット	指標名	BBMでの活動機会提供回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		61回	66回	71回	76回
	アウトカム	指標名	まちづくり活動に1度参加した人の割合		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		3.8%	7.8%	11.8%	15.8%

展開方向		① 市民参画の促進とまちづくり担い手の育成			
事業名	子どもとまちの未来会議運営事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
子どものまちづくり活動参加の原体験の機会をつくるとともに、地域課題の探究と解決策の提案プロセスを通じてシビックプライド（地域への愛着）を醸成し、将来のまちづくりを担う人材を育成する。	事業計画	・参加者募集及び事前学習会・ワークショップの開催 ・課題探究活動への伴走支援及び関係部局との調整 ・最終報告会の運営及び提案事業の予算化・実現支援	・参加者募集及び事前学習会・ワークショップの開催 ・課題探究活動への伴走支援及び関係部局との調整 ・最終報告会の運営及び提案事業の予算化・実現支援	・参加者募集及び事前学習会・ワークショップの開催 ・課題探究活動への伴走支援及び関係部局との調整 ・最終報告会の運営及び提案事業の予算化・実現支援	
事業の内容	事業費	4,905千円	5,600千円	5,600千円	
市内の児童生徒が主体となって地域課題の発見・提案・実践に取り組む場として「子どもとまちの未来会議」を開催し、課題探究、伴走支援、提案発表、関係課との協議、実装支援までのプロセスを運営することで、まちづくりへの当事者意識と地域参画を促す。	アウトプット	指標名	審議された提案件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		4件	5件	6件	7件
	アウトカム	指標名	審議された提案件数のうち、採用された提案		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		3件	4件	5件	6件

展開方向		② シビックプライド醸成と関係人口の拡大					
事業名	美唄シティプロモーション推進事業		担当課	広報情報推進課			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10		
美唄市の文化や歴史を踏まえ未来を創造する「美唄ブランド」を構築するため、シンボルマークやキャッチコピーを作成し、ウェブサイトや動画等を通じて市民への浸透を図ることでシビックプライドを醸成し、市民共通理解の下、市外に向けて「美唄ブランド」のプロモーションを行っていく。		事業計画	・シティプロモーション戦略の推進及びブランド管理 ・広報コンテンツ（動画・WEB等）の制作・運用 ・「美唄まちづくり部」等の運営支援及び活動調整	・シティプロモーション戦略の推進及びブランド管理 ・広報コンテンツ（動画・WEB等）の制作・運用 ・「美唄まちづくり部」等の運営支援及び活動調整	・シティプロモーション戦略の推進及びブランド管理 ・広報コンテンツ（動画・WEB等）の制作・運用 ・「美唄まちづくり部」等の運営支援及び活動調整		
事業の内容		事業費	40,893千円	30,000千円	20,000千円		
ブランド認知と市民の理解を基盤に、さらなる広報展開と発信力の強化を図る。市民参加の機会を拡充し、地域への誇りや愛着を育むことでシビックプライドを醸成するとともに、美唄の魅力を市外へと波及させ、関係人口の創出と拡大につなげる。また、市内小中高生による「美唄まちづくり部」を組織し、若者の斬新な視点を活かしたイベント出展や情報発信を実践することで、主体的な郷土愛を育む。		アウトプット	指標名	BBMでの活動機会提供回数			
			基準値（R7）	R8	R9	R10	
			61回	66回	71回	76回	
		アウトカム	指標名	まちづくり活動に1度参加した人の割合			
			基準値（R7）	R8	R9	R10	
			3.8%	7.8%	11.8%	15.8%	

展開方向		② シビックプライド醸成と関係人口の拡大					
事業名	子どもとまちの未来会議運営事業		担当課	広報情報推進課			
事業の目的		区 分	R8	R9	R10		
子どものまちづくり活動参加の原体験の機会をつくとともに、地域課題の探究と解決策の提案プロセスを通じてシビックプライド（地域への愛着）を醸成し、将来のまちづくりを担う人材を育成する。		事業計画	・参加者募集及び事前学習会・ワークショップの開催 ・課題探究活動への伴走支援及び関係部局との調整 ・最終報告会の運営及び提案事業の予算化・実現支援	・参加者募集及び事前学習会・ワークショップの開催 ・課題探究活動への伴走支援及び関係部局との調整 ・最終報告会の運営及び提案事業の予算化・実現支援	・参加者募集及び事前学習会・ワークショップの開催 ・課題探究活動への伴走支援及び関係部局との調整 ・最終報告会の運営及び提案事業の予算化・実現支援		
事業の内容		事業費	4,905千円	5,600千円	5,600千円		
市内の児童生徒が主体となって地域課題の発見・提案・実践に取り組む場として「子どもとまちの未来会議」を開催し、課題探究、伴走支援、提案発表、関係課との協議、実装支援までのプロセスを運営することで、まちづくりへの当事者意識と地域参画を促す。		アウトプット	指標名	審議された提案件数			
			基準値（R7）	R8	R9	R10	
			4件	5件	6件	7件	
		アウトカム	指標名	審議された提案件数のうち、採用された提案			
			基準値（R7）	R8	R9	R10	
			3件	4件	5件	6件	

展開方向		③ 双方向の情報共有と市民意見の反映		
事業名		広報事務		
事業の目的		区分	R8	R9
市政情報の適切なタイミングでの提供により、市民の「知る権利」を保障し説明責任を果たすとともに、広報紙やSNS等のメディアミックスによる戦略的な魅力発信を通じてシビックプライドを醸成し、市民の市政参画と協働を促進する。		事業計画	①広報紙「メロディー」の編集及び発行 ②ホームページやSNS、地デジ広報を活用した市政情報の発信 ③報道機関対応	①広報紙「メロディー」の編集及び発行 ②ホームページやSNS、地デジ広報を活用した市政情報の発信 ③報道機関対応
事業の内容		事業費	26,274千円	26,274千円
広報紙「メロディー」による網羅的な情報提供と、ホームページや公式SNS（LINE等）を活用した即時性の高いプッシュ型発信を組み合わせ、対象の属性に応じた最適な媒体で情報を伝達する。		指標名	広報紙「メロディー」発行部数	
		基準値（R7）	R8	R9
		10,000部	10,000部	10,000部
		指標名	広報媒体（紙・Web）の市民認知率	
		基準値（R7）	R8	R9
		91.4%	93.0%	93.0%

展開方向		③ 双方向の情報共有と市民意見の反映		
事業名		広聴事務		
事業の目的		区分	R8	R9
多様な市民意見や地域課題を的確に把握し、市政運営及び政策立案プロセスへの市民参画を促進することで、行政の透明性向上を図るとともに、市民との相互信頼に基づく実効性の高い協働のまちづくりを実現する。		事業計画	①市長とのオープンディスカッション ②市長との対話の日 ③まちづくり出前講座 ④地域・団体要望の取りまとめ ⑤市民相談の対応	①市長とのオープンディスカッション ②市長との対話の日 ③まちづくり出前講座 ④地域・団体要望の取りまとめ ⑤市民相談の対応
事業の内容		事業費	78千円	78千円
市長と市民が直接対話する意見交換会の開催や職員による出前講座を通じ、市政情報の共有と課題抽出を行う。併せて、市民相談や地域要望を一元的に集約及び管理し、関係部局との連携による迅速な回答及び施策へのフィードバックを実施する。		指標名	市長との対話開催数	
		基準値（R7）	R8	R9
		40回	40回	40回
		指標名	市長との対話参加者数	
		基準値（R7）	R8	R9
		150人	150人	150人

展開方向		④ 高校魅力化と高校と連携したまちづくり		
事業名		美唄市内高等学校支援事業		
		担当課	学務課	
事業の目的		区 分	R8	R9
市内の高校に在籍している生徒の教育活動に要する経費の一部を助成するほか、高校が行う学校の魅力を高める活動を支援することで、入学者の確保を図る。		事業計画	R10	
事業の内容		事業費	2,396千円	2,396千円
市内2高校（尚栄・聖華）に対し、検定受験料や生徒の自己研鑽を促す資格取得用の教材整備等への助成や、部活動の広域活動支援を行う。	アウトプット	指標名	対象高校	
		基準値（R7）	R8	R9
		2校	2校	2校
	アウトカム	指標名	市内高校への入学率の維持・向上	
		基準値（R7）	R8	R9
		37.2%	38.0%	38.0%

【(26)協働のまちづくり】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	美唄市高校等奨学金給付事業	学務課	2,850	4,560	4,560

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

挑戦5 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり

〔1〕性別や年齢、障がいに関係なく、誰もが活躍できる社会の形成

(27) 共生社会（人権・多文化・ジェンダー平等の推進）

目指す姿	◆性別や国籍を問わず、誰もがあらゆる分野で対等に活動・活躍できるよう、ダイバーシティとインクルージョンの考え方が浸透し、互いの背景や個性を尊重し合う共生社会が形成されています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	性別による差別のない社会が重要だと考える市民の割合	まちづくり市民アンケート調査で、「性別に関わらず誰もが個性と能力を発揮できる社会が重要だ」と回答した市民の割合。ジェンダー平等に対する市民意識を測る指標	71.3%	80.0%
	市が主催・支援する多文化共生に関するイベントへの参加者数	市が主催・支援する多文化共生社会の実現に向けたイベントに、日本人と外国人の双方が参加した人数。多文化共生の考え方がどの程度浸透しているかを測る指標	36人	100人

施策の展開方向

① ジェンダー平等の推進

あらゆる世代に対して、社会的及び文化的につくられたジェンダーのみならず、セクシュアリティにもとらわれることなく、誰もが自分らしく能力を発揮し、活躍できるよう、年代別に異なる偏見や差別に対し、理解促進を図るための意識啓発などを実施します。

② 多文化共生の推進

市民に対して、国籍や文化、ルーツの違いを認め合い、尊重し、地域社会の一員（一市民）として暮らすことができるよう、市民との交流機会を創出するとともに、外国人の暮らしの困りごとや、文化の価値観の違いによる市民生活の困りごと解消に取り組めます。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① ジェンダー平等の推進			
事業名	男女共同参画社会形成促進事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
性別に関わらず、家庭・職場・地域などのあらゆる場面で、互いを尊重し、個性と能力を活かし、喜びも責任も分かち合える社会の醸成を図る	事業計画	①男女共同参画社会に関する理解促進の啓発 ②DVに関する相談対応 ③パートナーシップ制度に関する事務	①男女共同参画社会に関する理解促進の啓発 ②DVに関する相談対応 ③パートナーシップ制度に関する事務	①男女共同参画社会に関する理解促進の啓発 ②DVに関する相談対応 ③パートナーシップ制度に関する事務	
事業の内容	事業費	456千円	335千円	335千円	
「美唄市男女共同参画計画」に基づき、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発及びパートナーシップ宣誓制度の適正運用を行う。また、DV相談窓口の設置及び関係機関との連携強化により、被害者の早期発見・保護を図り、セーフティネット機能を維持する。	アウトプット	指標名	理解促進啓発回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		2回	2回	2回	2回
	アウトカム	指標名	市審議会等における女性委員登用率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		19.2%	30.0%	30.0%	30.0%

展開方向		② 多文化共生の推進				
事業名	多文化共生推進事業		担当課	広報情報推進課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10	
国の「地域における多文化共生推進プラン」を踏まえ、国籍や文化の違いを越え、全ての住民が地域社会の一員として尊重され活躍できる環境を整備する。特に外国人住民の生活適応を支援することで、地域経済を支える重要な担い手としての定着を図り、持続可能な地域社会を構築する。		事業計画	・市在住外国人のための環境整備 ・交流イベントの開催	・市在住外国人のための環境整備 ・交流イベントの開催	・市在住外国人のための環境整備 ・交流イベントの開催	
事業の内容		事業費	30千円	200千円	200千円	
市在住外国人のための環境整備・交流イベント等を実施し、地域住民同士の相互理解を深める		アウトプット	指標名	交流イベントの実施		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			－	2回	2回	2回
		アウトカム	指標名	地域住民との交流の場があると感じている外国人の数		
			基準値（R7）	R8	R9	R10
			－	20人	20人	20人

挑戦5 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり

〔2〕暮らしに根ざした行財政改革の推進

(28) 地域ICT化

目指す姿	◆まちの情報を容易に受け取れ、生活の利便性向上につながる最新のデジタル・新技術が、素早くかつ取り残される人がなく、活用できるようになっています
------	---

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	市のデジタルサービスに満足している市民の割合	市が提供する各種デジタルサービスに満足している市民がどの程度いるのかを見る指標	-	令和8年度より向上
	デジタル技術活用による事務処理短縮時間数	デジタル技術を活用し、どれだけ業務効率化したかを処理の年間短縮時間数（累計）で見る指標	-	1,300時間
	デジタル情報閲覧率	市が提供しているデジタル情報を市民がどの程度閲覧しているかを見る指標	33.90%	50.00%

施策の展開方向

① 地域社会DXの推進

市民が、デジタル・新技術を活用した本計画各施策の推進及び生活の利便性向上の恩恵を受けられるよう、民間のIT企業とも連携を深めながら、新たなデジタルサービスが活発に導入される仕組み・基盤づくりに取り組みます。

② 行政DXの推進

職員の定型業務の負担が軽減され、専門的な相談業務や政策立案に注力し、本計画各施策の推進及び市民サービス向上をより一層図ることができるよう、書かないワンストップ窓口やオンライン申請の取組の推進、業務改善につながる各種デジタルツールの導入、それらのツールの効果が最大限に発揮されるよう業務自体の見直しを行います。

③ 地域情報の発信

市民が、市からの情報を必要な時に自ら調べることなく受け取れ、市のサービスやイベントにアクセスしやすくなることで、本計画各施策の推進が図られ、その恩恵を受けられるよう、情報の対象者や内容に応じて、広報紙や市ホームページ、SNSの各媒体を効果的に使い分け、発信体制を整えとともに、特にSNSについては利用の促進を図ります。

④ デジタルデバйд対策

高齢者などでスマートフォン等デジタル機器の扱いに不慣れな方が、スマートフォン等の活用により生活の利便性が向上し、市のデジタルサービスを受けられるよう「スマホ教室」や市のデジタルサービスに関する説明会等を開催します。

令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 地域社会DXの推進			
事業名	地域社会DX推進事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
デジタル技術を活用した「スーパーアプリ」等の共通基盤を構築し、行政手続のオンライン化や地域経済循環の活性化を図る。併せて、官民連携による先進技術の実装とデジタルデバйд対策を進め、誰一人取り残さない持続可能なスマートシティを実現する。	事業計画	・スーパーアプリ及び地域通貨システムの保守運用・管理 ・高齢者向けスマホ教室の開催及びデジタル活用支援 ・官民連携による課題解決プロジェクトの推進	・スーパーアプリ及び地域通貨システムの保守運用・管理 ・高齢者向けスマホ教室の開催及びデジタル活用支援 ・官民連携による課題解決プロジェクトの推進	・スーパーアプリ及び地域通貨システムの保守運用・管理 ・高齢者向けスマホ教室の開催及びデジタル活用支援 ・官民連携による課題解決プロジェクトの推進	
事業の内容	事業費	24,825千円	16,000千円	16,000千円	
市民ポータル（スーパーアプリ）の安定稼働及び機能拡張を行い、防災情報の即時配信や地域通貨（ポイント）による経済活性化を推進する。また、高齢者向けスマホ教室の開催による普及啓発や、専門人材（C10補佐官等）との連携による庁内業務改革及び官民共創プロジェクトを実施する。	アウトプット	指標名	スーパーアプリ利用促進施策実施回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	5回	5回	5回
	アウトカム	指標名	スーパーアプリ利用率（人口比）		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	20%	25%	30%

展開方向		② 行政DXの推進			
事業名		行政DX推進事業		担当課	広報情報推進課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
デジタル技術と生成AIの活用による業務プロセスの抜本的見直し（BPR）を行い、職員の生産性向上と多様な働き方を実現することで、限られた人的資源で持続可能な行政運営体制を確立する。併せて、行政手続きのオンライン化を拡充し、市民の利便性向上と負担軽減を図る。		事業計画	・グループウェア・メール・財務会計システムのクラウド移行 ・基幹系システムのクラウド移行 ・マイナンバーカードを活用したオンライン申請業務数の拡充 ・デジタル通知（SmartPost）の導入	・生成AI（LGC GEAR）活用拡大 ・マイナンバーカードを活用したオンライン申請業務数の拡充	・財務会計システムと連携可能な電子決裁システムの運用開始 ・DX推進リーダー研修の実施
事業の内容		事業費	60,050千円	36,000千円	46,000千円
グループウェアのクラウド移行や財務会計システムの刷新、生成AIの実装を行い、庁内業務の効率化とペーパーレス化を加速させる。また、行政手続きのオンライン申請・通知システムを整備し、「行かない・書かない・待たない」窓口を実現するとともに、DX推進リーダーを育成し組織変革を牽引する。	アウトプット	指標名	美唄市DX推進本部、美唄市DX推進委員会、DX推進部会の開催回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		10回	10回	10回	10回
	アウトカム	指標名	デジタル技術を活用した事務改善数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		7件	10件	13件	15件

展開方向		② 行政DXの推進			
事業名	行政情報化運用事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
行政事務に係る電算システムや業務用端末の適切な管理運用により、個人情報・機密情報の漏洩といった情報セキュリティインシデントを防ぎつつ、デジタルを活用した効率的・効果的な行政事務の執行及び市民サービス提供を安定的に維持できるよう図る。	事業計画	・標準準拠住民情報システム（ガバメントクラウド）の運用開始 ・財務会計システムのクラウド化及び書かない窓口の本格稼働 ・情報セキュリティ研修の実施	・人事給与システムの更改及び第5次LGWANへの移行 ・電子決裁システムの導入及び文書決裁のペーパーレス化 ・ガバメントクラウドの運用最適化 ・情報セキュリティ研修の実施	・電子決裁利用率向上に向けたPDCAサイクルの実践 ・ガバメントクラウドのコスト管理及びリソース最適化 ・情報セキュリティ研修の実施	
事業の内容	事業費	292,866千円	290,000千円	290,000千円	
住民記録、税務等の基幹系システム及び財務、文書等の内部管理系システムの保守運用を行い、法改正に伴う機能改修を確実に実施する。また、LGWANや庁内ネットワークの常時監視とセキュリティ対策を徹底し、サイバー攻撃や障害から個人情報等の重要資産を守る。	アウトプット	指標名	・システム稼働日数 ・情報セキュリティ・リテラシー研修の実施講座数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		開庁日数 2件	244日 2件	244日 2件	245日 2件
	アウトカム	指標名	・各システムの平均稼働率 ・情報セキュリティに係る重大インシデント発生件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		99.9% 0件	99.9% 0件	99.9% 0件	99.9% 0件

展開方向		③ 地域情報の発信			
事業名		広報事務			
		担当課	広報情報推進課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
市政情報の適切なタイミングでの提供により、市民の「知る権利」を保障し説明責任を果たすとともに、広報紙やSNS等のメディアミックスによる戦略的な魅力発信を通じてシビックプライドを醸成し、市民の市政参画と協働を促進する。		事業計画	・ 広報紙「メロディー」の編集及び発行 ・ ホームページやSNS、地デジ広報を活用した市政情報の発信 ・ 報道機関対応	・ 広報紙「メロディー」の編集及び発行 ・ ホームページやSNS、地デジ広報を活用した市政情報の発信 ・ 報道機関対応	・ 広報紙「メロディー」の編集及び発行 ・ ホームページやSNS、地デジ広報を活用した市政情報の発信 ・ 報道機関対応
事業の内容		事業費	26,274千円	26,274千円	26,274千円
広報紙「メロディー」による網羅的な情報提供と、ホームページや公式SNS（LINE等）を活用した即時性の高いプッシュ型発信を組み合わせ、対象の属性に応じた最適な媒体で情報を伝達する。	アウトプット	指標名	広報紙「メロディー」発行部数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		10,000部	10,000部	10,000部	10,000部
	アウトカム	指標名	広報媒体（紙・Web）の市民認知率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		91.4%	93.0%	93.0%	93.0%

展開方向		③ 地域情報の発信			
事業名	地域情報化運用事業		担当課	広報情報推進課	
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
広報活動等の基盤となる公式ウェブサイトやLINE等のシステム環境を適切に管理し、24時間365日断絶のない安定的な情報提供体制を確立する。		事業計画	・ 市政情報提供システム（市公式ホームページ）の維持管理業務 ・ 情報通信基盤の整備要望 ・ 公式LINE運用管理業務	・ 市政情報提供システム（市公式ホームページ）の維持管理業務 ・ 情報通信基盤の整備要望 ・ 公式LINE運用管理業務	・ 市政情報提供システム（市公式ホームページ）の維持管理業務 ・ 情報通信基盤の整備要望 ・ 公式LINE運用管理業務
事業の内容		事業費	4,935千円	4,935千円	4,935千円
情報発信のプラットフォームである公式ホームページ及びCMS（コンテンツ管理システム）のサーバー保守・監視を行うとともに、公式LINE等のシステム改修や機能拡張、及び市内通信基盤（光・5G）の整備促進を行い、快適なデジタル利用環境を整備する。	アウトプット	指標名	ホームページ関連啓発回数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	3回	3回	3回
	アウトカム	指標名	ホームページアクセス数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		142万件	150万件	160万件	170万件

展開方向		④ デジタルデバйд対策					
事業名		地域社会DX推進事業		担当課	広報情報推進課		
事業の目的		区 分	R8	R9	R10		
デジタル技術を活用した「スーパーアプリ」等の共通基盤を構築し、行政手続のオンライン化や地域経済循環の活性化を図る。併せて、官民連携による先進技術の実装とデジタルデバйд対策を進め、誰一人取り残さない持続可能なスマートシティを実現する。		事業計画	・スーパーアプリ及び地域通貨システムの保守運用・管理 ・高齢者向けスマホ教室の開催及びデジタル活用支援 ・官民連携による課題解決プロジェクトの推進	・スーパーアプリ及び地域通貨システムの保守運用・管理 ・高齢者向けスマホ教室の開催及びデジタル活用支援 ・官民連携による課題解決プロジェクトの推進	・スーパーアプリ及び地域通貨システムの保守運用・管理 ・高齢者向けスマホ教室の開催及びデジタル活用支援 ・官民連携による課題解決プロジェクトの推進		
			事業費	24,825千円	16,000千円	16,000千円	
			アウトプット	指標名	スーパーアプリ利用促進施策実施回数		
				基準値（R7）	R8	R9	R10
-	5回	5回		5回			
アウトカム	指標名	スーパーアプリ利用率（人口比）					
	基準値（R7）	R8	R9	R10			
	-	20%	25%	30%			

【(28)地域ICT化】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
6	情報公開・個人情報保護制度運営事務	広報情報推進課	40	40	40

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

挑戦5 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり

〔2〕暮らしに根ざした行財政改革の推進

(29) 行財政運営

目指す姿	◆多様化する市民ニーズや人口減少等の変化を的確に捉え、市民との共創を基本とした透明性の高い行政運営により、未来の世代からも信頼される自治体となっています
------	--

	指標名	指標の説明	現状値	目標値
成果指標	税金の使われ方に対する市民満足度	まちづくり市民アンケート調査において、将来を見据えた行政運営や財政運営に対して、税金が有効に活用されていると評価している市民の割合。		令和8年度より向上
	経常収支比率	財政の硬直度を示し、自由に使える財源の余裕を表す指標	92.6%	90.0%を超えない

施策の展開方向

① 効率的・効果的な行政運営の推進

最小の経費で最大の効果を生み出す、賢い行政運営が行われるよう、施策・事務事業の成果の検証と見直しによる「選択と集中」を進めます。

② 健全な財政運営

安定した行政サービスを提供し続けられる、持続可能な財政基盤が確立されるよう、中長期的な財政見通しに基づく計画的な財政運営を行うとともに、市税等の自主財源の確保に努め、国・道支出金やふるさと納税等を効果的に活用します。

③ 広域行政の推進

一つの自治体では解決が困難な課題に対応し、圏域全体で質の高い行政サービスが安定的・効率的に提供されるよう、空知管内や南空知圏域の各自治体との連携のもと、広域的な行政課題の解決や地域振興に向けた取組を進めます。

④ 組織運営の最適化と人材育成

職員一人ひとりが意欲と能力を発揮できるよう、能力の習得に必要な研修を体系的に定め、時代の変化や市民ニーズに迅速かつ的確に対応できる人材育成を進めます。

⑤ 公共施設マネジメントの推進

人口構造や市民ニーズの変化に対応し、総量とコストが最適化された公共施設が、効果的・効率的に運営されるよう、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化や計画的な統廃合を着実に推進します。

■ 令和8年度～令和10年度に取り組む主な事業

展開方向		① 効率的・効果的な行政運営の推進			
事業名	第7期総合計画進行管理事務		担当課	企画財政課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
第7期美唄市総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、行政評価制度を通じて各施策の成果と課題を客観的に分析・検証し、限られた経営資源の最適配分と事務事業の不断の見直しを行うことで、質の高い行政経営を推進する。	事業計画	・全事務事業・施策評価の実施 ・市民アンケートによる満足度分析 ・地方創生推進会議の開催	・全事務事業・施策評価の実施 ・市民アンケートによる満足度分析 ・地方創生推進会議の開催	・全事務事業・施策評価の実施 ・市民アンケートによる満足度分析 ・地方創生推進会議の開催	
事業の内容	事業費	3,235千円	3,235千円	3,235千円	
全事務事業及び施策を対象とした行政評価を毎年度実施し、市民アンケートによる満足度調査の結果を反映させ、地方創生推進会議での評価を経て次年度予算編成や次期実施計画へ反映させる。	アウトプット	指標名	主な事業の2次評価実施率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%
	アウトカム	指標名	主な事業の目標達成率		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		100%	100%	100%	100%

展開方向		② 健全な財政運営			
事業名	ふるさと応援寄附金事業		担当課	企画財政課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
ふるさと納税制度を戦略的に活用し、財政基盤の強化と返礼品を通じた地場産品の販路拡大・ブランド化を推進することで、持続可能な行政運営の確保と地域経済の活性化が図られている状態を目指す。	事業計画	・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の進捗管理 ・ふるさと納税の寄附拡大に向けた見直し ・企業版ふるさと納税の寄附拡大に向けたPR	・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の進捗管理 ・ふるさと納税の寄附拡大に向けた見直し ・企業版ふるさと納税の寄附拡大に向けたPR	・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の進捗管理 ・ふるさと納税の寄附拡大に向けた見直し ・企業版ふるさと納税の寄附拡大に向けたPR	
事業の内容	事業費	632, 066千円	1, 000, 000千円	2, 000, 000千円	
ポータルサイト等を活用し本市の魅力在全国へ発信することで、個人及び企業からの寄附金（ふるさと納税）を募る。寄附者に対し地場産品の返礼品を提供するとともに、収受した寄附金を総合計画に掲げる主要施策の財源として活用し、寄附金受入から事業執行までの適切な管理・運用を行う。	アウトプット	指標名	寄附件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	60, 000件	90, 000件	180, 000件
	アウトカム	指標名	ふるさと納税寄附金額		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		-	1, 200, 000千円	2, 000, 000千円	4, 000, 000千円

展開方向		③ 広域行政の推進		
事業名		広域行政推進事業		
事業の目的		区分	R8	R9
南空知圏域等の近隣自治体や連携協定締結自治体との広域的な相互補完体制を構築し、事務の共同化による行政コストの抑制と、地域資源を相互活用した交流人口の拡大を図ることで、持続可能な行政サービスの提供と地域活力の維持を両立を図る。		事業計画	・南空知ふるさと市町村圏組合の取組推進 ・南空知定住自立圏の取組推進 ・連携協定事業の推進	・南空知ふるさと市町村圏組合の取組推進 ・南空知定住自立圏の取組推進 ・連携協定事業の推進
事業の内容		事業費	753千円	800千円
南空知ふるさと市町村圏組合及び定住自立圏を通じた事務の共同処理を推進する。また、東川町や山ノ内町との連携協定に基づき、特産品の相互販売や職員派遣等による人材育成、災害時の相互応援体制の運用を行い、単独自治体では困難な行政課題の解決と都市間交流の深化を図る。		指標名	定住自立圏の専門部会の開催状況（累計）	
		基準値（R7）	R8	R9
		-	15回	35回
		指標名	協議・検討により実現した具体的な取組（累計）	
		基準値（R7）	R8	R9
		-	5個	10個

展開方向		③ 広域行政の推進		
事業名		職員研修事務		
事業の目的		区分	R8	R9
組織全体のマネジメント力とコンプライアンス意識の向上を図る。併せて、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応できる専門知識と政策形成能力を備えた自律型人材を育成し、質の高い行政サービスの提供を実現する。		事業計画	・職員研修計画の策定 ・階層別・専門研修等の企画立案及び実施	・職員研修計画の策定 ・階層別・専門研修等の企画立案及び実施
事業の内容		事業費	4,051千円	4,051千円
人材育成基本方針に基づき、新規採用から管理職までの階層別研修や、コンプライアンス・法務・ハラスメント防止等の課題別専門研修を体系的に実施する。また、eラーニング等の多様な学習機会を提供し、職員の実践力強化と意識改革を促進する。		指標名	研修数	
		基準値（R7）	R8	R9
		35講座	35講座	35講座
		指標名	研修受講者数	
		基準値（R7）	R8	R9
		240人	240人	240人

展開方向		④ 組織運営の最適化と人材育成			
事業名	人事管理一般事務		担当課	総務課	
事業の目的	区 分	R8	R9	R10	
人事評価制度の運用により、職員の能力開発と組織の活性化を図る。併せて、人材確保と労働安全衛生法に基づく健康管理を徹底し、持続可能で活力ある組織体制を確立する。	事業計画	・ 職員採用試験の計画実施 ・ 人事評価制度の運用管理 ・ 職員健康診断・ストレスチェック及び服務規律の確保	・ 職員採用試験の計画実施 ・ 人事評価制度の運用管理 ・ 職員健康診断・ストレスチェック及び服務規律の確保	・ 職員採用試験の計画実施 ・ 人事評価制度の運用管理 ・ 職員健康診断・ストレスチェック及び服務規律の確保	
事業の内容	事業費	15, 134千円	16, 314千円	16, 314千円	
職員の人事管理全般（任免、組織、服務等に関すること）を行うとともに、職員の能力や可能性を引き出し、効率的かつ有効的な人材育成を図るため、人事評価制度を円滑に行う。	アウトプット	指標名	定期健康診断実施		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		1回	1回	1回	1回
	アウトカム	指標名	正常（ほぼ正常）の人の割合		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		65%	65%	65%	65%

展開方向		⑤ 公共施設マネジメントの推進			
事業名		公有財産管理事務		担当課	総務課
事業の目的		区 分	R8	R9	R10
公有財産の適正な管理、保全を行い有効活用を図る。		事業計画	・ 未利用財産の活用・処分 ・ 指定管理者制度の運用 ・ 普通財産の保全（草刈、維持修繕等）	・ 未利用財産の活用・処分 ・ 指定管理者制度の運用 ・ 普通財産の保全（草刈、維持修繕等）	・ 未利用財産の活用・処分 ・ 指定管理者制度の運用 ・ 普通財産の保全（草刈、維持修繕等）
事業の内容		事業費	17,627千円	21,100千円	21,100千円
未利用財産の積極的な売却・貸付による歳入確保、指定管理者制度の厳格な評価によるコスト縮減とサービス向上及び普通財産の適切な維持保全による法的リスクの低減を図り、持続可能な財政基盤の確立に寄与する。	アウトプット	指標名	公有財産売払件数		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		4件	4件	4件	4件
	アウトカム	指標名	公有財産売払金額		
		基準値（R7）	R8	R9	R10
		43,096千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円

【(29) 行財政運営】のその他の事業

No.	事務事業名	担当課	事業費（千円）		
			R8予算	R9推計	R10推計
7	財政管理事務	企画財政課	4,229	4,229	4,229
8	企画一般事務	企画財政課	4,298	4,298	4,298
9	会計年度任用職員給与費	総務課	424,916	424,916	424,916
10	自衛隊協力会補助事業	危機管理対策室	50	50	50
11	基地対策事業	危機管理対策室	231	231	231
12	職員等給与費	総務課	2,407,090	2,407,090	2,407,090
13	車両運行管理事務	総務課	9,517	10,000	10,000
14	入札契約管理事務	総務課	542	542	542
15	公平委員会事務	総務課	201	201	201
16	庶務一般管理事務	総務課	2,416	2,416	2,416
17	訴訟事務	総務課	1,060	1,060	1,060
18	庁舎維持管理事務	総務課	48,683	48,683	48,683
19	統計調査管理事務	総務課	2,171	2,171	2,171
20	文書收受発送等事務	総務課	9,370	9,370	9,370
21	法制事務	総務課	2,530	2,530	2,530
22	市長会事務	総務課	3,008	3,253	3,253
23	秘書交際事務	総務課	4,136	4,722	4,722
24	栄典事務	総務課	656	670	670
25	国民年金一般管理事務	国保年金課	81	81	81
26	戸籍住民登録等事務	市民課	37,109	52,250	52,250
27	固定資産標準地評価事務	税務課	3,816	1,400	6,313
28	市税賦課徴収事務	税務課	13,159	13,200	13,200
29	税務管理事務	税務課	10,627	10,763	10,763
30	地籍管理事務事業	税務課	1,771	1,771	702
31	議会一般管理事務	議会事務局	99,276	102,000	104,000
32	議会活動広報事業	議会事務局	1,794	1,800	1,800
33	監査執行事務	監査事務局	4,043	4,043	4,043
34	選挙管理委員会運営事務	選挙管理委員会	1,730	1,826	1,826
35	選挙常時啓発事業	選挙管理委員会	135	135	135
36	北海道議会議員及び同知事選挙事務	選挙管理委員会	12,605	12,623	0
37	出納事務	選挙管理委員会	6,855	5,000	5,000

※ 施設の状況等を把握しながら改修等の実施を判断していきます。

空白のページ

第7期美唄市総合計画

市民と一緒にいるまちづくりの取組一覧 第Ⅲ期
(事務事業インデックス)

令和8年3月発行
編集・発行／美唄市総務部企画財政課

〒072-8660

美唄市西3条南1丁目1番1号

電話 0126-35-7751 ファックス 0126-62-1088

メール kikaku@city.bibai.lg.jp